

湖国の感動 未来へつなぐ

第79回国民スポーツ大会

わたSHIGA輝く国スポ

2025



バドミントン競技会

開催日 2025年9月28日(日)～10月1日(水)
会場 滋賀ダイハツアリーナ
主催 公益財団法人日本スポーツ協会
文部科学省 滋賀県
公益財団法人日本バドミントン協会
大津市



国民スポーツ大会



国民スポーツ大会(国スポ)は、広く国民の間にスポーツを普及し国民の体力向上を図るとともに、地方スポーツの振興と地方文化の発展に寄与することを目的として、毎年開催される国内最大の総合スポーツ大会です。

都道府県対抗で行われる正式競技・特別競技・公開競技のほか、年齢・性別・障害のあるなしを問わず、誰もが参加することができるデモンストラレーションスポーツが実施されます。

第79回国民スポーツ大会

大会愛称

わたSHIGA輝く国スポ

選手、ボランティアをはじめ、滋賀県で開催するこの大会に関わるすべての人が、様々な場面で主役として光り輝き、夢や感動、連帯感を共有できる大会を目指します。

大会スローガン

湖国の感動 未来へつなぐ

「琵琶湖」を擁する湖国滋賀で生まれた感動が、この大会に関わるすべての人の心に刻まれ、明日への活力、未来への希望として将来にわたって引き継がれるようにとの願いが込められています。

大会マスコットキャラクター

琵琶湖に生息する固有種「ビワコオオナマズ」をモチーフにしたキャラクターです。



■ キャッフィー

どんくさいわりにチャレンジ精神が旺盛で何事にも一生懸命。子ども好きで人を楽しませることが大好きです。



■ チャッフィー

「キャッフィー」の幼なじみで、昔から仲の良い友達です。泳ぐことは得意ですが、陸のスポーツは少し苦手で「キャッフィー」に教えてもらっています。

「キャッフィー」と「チャッフィー」を合わせて「キャッチ」。人の心をキャッチする、という意味が込められています。

目 次

あいさつ

公益財団法人日本スポーツ協会 会長 遠藤 利明	4
文部科学大臣 あべ 俊子	5
公益社団法人日本バドミントン協会 会長 村井 満	6

歓迎のことば

わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ実行委員会会長 滋賀県知事 三日月 大造	7
わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ大津市実行委員会会長 大津市長 佐藤 健司	8
滋賀県バドミントン協会 会長 藤原 健二	9
国民スポーツ大会天皇杯・皇后杯授与規程	10
国民スポーツ大会会長トロフィー授与規程	11
大会役員	12
競技会役員	16
競技役員	18
競技補助員・競技会係員・競技会補助員	22
総則	23
実施要項	42
開始式次第	46
表彰式次第	47
競技日程	48
タイムテーブル	49
バドミントン競技 組合せ表	50
バドミントンを楽しく見るために	53
都道府県別参加人数一覧表	55
都道府県別出場監督・選手一覧	56
競技成績決定方法	63
総合成績（天皇杯・皇后杯）一覧表	64
過去の成績一覧表	65
競技会場案内図	90
練習会場案内図	91
競技会場配置図	92
競技上の注意	94
審判上の注意	97
輸送について	98
関係機関連絡先一覧	99

敷 地 内 全 面 禁 煙

ただし、望まない受動喫煙防止のため喫煙所を設置しています。

喫煙される方は、指定された喫煙所をご利用ください。

わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ大津市実行委員会



あいさつ

公益財団法人日本スポーツ協会

会 長 遠 藤 利 明

約 400 万年の歴史を持つ日本最大で最古の湖である琵琶湖を中心に雄大な風景が広がり、古くから日本の文化や経済の先進地として栄えたここ滋賀県において、第 79 回国民スポーツ大会が開催されますことは、誠に喜ばしい限りです。

大会愛称である「わた SHIGA 輝く国スポ」のとおり、大会に関わる全ての方々が主役となり、光り輝くことができる大会となることを願っております。

スポーツは、目標に向かっての努力と達成感、そして観戦する人をワクワクさせ、楽しく、心を動かすものであるからこそ、人々を、社会を元気にする力を持ちます。

本年 6 月、14 年ぶりに改正されたスポーツ基本法では、スポーツを「する」「みる」「ささえる」に加え、「集まる」「つながる」として明示されています。

厳しい予選を勝ち抜き、郷土の代表として集まったアスリートの皆様には、フェアプレーを通じて友情を深め、つながり、スポーツが楽しいものであることを体現いただき、開催地の皆様とも交流を深め、全国にスポーツの力と滋賀県の魅力を発信する伝道者になっていただければ幸いです。

さて、昭和 21(1946)年にスタートした「国民体育大会」は、昨年「国民スポーツ大会」へ名称を変えて新たなスタートを切るなど、大きな変革期にあります。

日本スポーツ協会では、本年 3 月、「今後の国民スポーツ大会の在り方を考える有識者会議」から示された「提言」に基づき、国民の皆様がこれまで以上にワクワクし持続可能な魅力ある大会となるよう、様々な改革に取り組んでいくこととしています。

結びに、本大会の開催にあたり、長年諸準備にご尽力いただきました、地元滋賀県をはじめ関係の皆様方のご支援、ご協力に対し心から深く感謝申し上げます。



あいさつ

文 部 科 学 大 臣

あ べ 俊 子

天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、ここ滋賀県において第 79 回国民スポーツ大会「わた SHIGA 輝く国スポ」が盛大に開催されますことを、誠に喜ばしく存じます。

滋賀県は、日本最大の湖である「琵琶湖」、四季折々の表情を見せる「伊吹山」等、美しく彩りある豊かな自然の魅力にあふれ、世界文化遺産である「比叡山延暦寺」や国宝「彦根城」等、歴史と文化が息づく県です。

昭和 56 年のびわこ国体以来 44 年ぶりの滋賀県での開催となり、「湖国の感動 未来へつなぐ」をスローガンに、県全域を舞台に熱戦が繰り広げられます。

また、本大会は、様々な場面で環境に配慮した取組を行い、スポーツの力を活用し、持続可能な社会づくりに貢献していく素晴らしい大会となっています。「わた SHIGA 輝く国スポ」が、国民に夢と感動、連帯感を共有できる大会、また、開催地である滋賀県の活性化に資する大会となりますことを心から願っております。

郷土の代表として参加される選手の皆さんが、これまで積み重ねてこられた練習の成果を思う存分発揮され、我が国の国際競技力の向上が図られるとともに、この機会に全国の仲間や滋賀県民の皆さんとの交流の輪を広げられ、思い出に残る大会となりますことを期待しております。

昨年度は、パリオリンピック・パラリンピック競技大会が、今年度は東京 2025 世界陸上競技選手権大会、第 25 回夏季デフリンピック競技大会東京 2025、ミラノ・コルティナ 2026 冬季オリンピック・パラリンピック競技大会が開催され、国民のスポーツへの関心はますます高まっているところです。

文部科学省としても、アスリートや子供たちの活動の機会を確保し、スポーツの持つ力やすばらしさが社会の活力につながるよう関係の皆様と一丸となって取組を進めてまいります。

結びに、「わた SHIGA 輝く国スポ」の開催に当たり御尽力いただいた地元滋賀県、会場となる各市町をはじめとする関係の皆様のお支援、御協力に対し、心から敬意と感謝の意を表しまして、御挨拶いたします。

令和 7 年 7 月 31 日



あいさつ

公益財団法人日本バドミントン協会

会 長 村 井 満

国民スポーツ大会へ2年目を迎えて・・・

滋賀県での開催は、昭和56年（1981年）の「びわこ国体」以来44年ぶりとなります。昨年の名称変更初年度の記念すべき大会「SAGA2024 新しい大会へ。すべての人に、スポーツのチカラを。」から2年目の「わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ 2025」へ、バドミントン競技会が県庁所在地である大津市において再び開催されますことは、誠に喜びに堪えないところであり、心からお喜び申し上げます。

今回の大会スローガンは、「湖国の感動 未来へつなぐ」です。「琵琶湖」を擁する湖国滋賀で生まれた感動が、両大会に関わるすべての人の心に刻まれ、明日への活力、未来への希望として将来にわたって引き継がれるようにとの願いを込めています。国内最高峰のスポーツの祭典としての感動を「琵琶湖」から発信されることを期待したいと思います。

選手の皆様には、郷土の代表としての誇りを胸に、最高のパフォーマンスを発揮されることを期待しています。それは、大会を支える関係者すべての願いであり、さらに観るものすべてに感動を与えることにつながると確信しています。

近年、日本のバドミントン競技レベルは世界のトップランクであり、ロサンゼルスオリンピックに向けて、メダル獲得できる選手が出ることを期待いたします。そして、その熱気が「わた SHIGA 輝く国スポ バドミントン競技会」につながるよう、地元の皆様のおおいなる盛り上げを期待しております。

結びに、開催にご尽力いただきました地元大津市と滋賀県の関係者、滋賀県バドミントン協会の皆様に、心から感謝申し上げますとともに、大会の成功と参加される皆様のご健闘を心からお祈り申し上げ、あいさつといたします。



歓迎のことば

わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ実行委員会会長

滋賀県知事 三 日 月 大 造

天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、全国から選手・役員の皆様をはじめ多くの方々をお迎えし、ここ滋賀県において「わた SHIGA 輝く国スポ」を開催できますことは、この上ない喜びであり、県民を代表して心から歓迎申し上げます。

また、本大会の開催にあたり多大な御支援と御協力を賜りました関係者の皆様に心から感謝を申し上げます。

本大会は、「湖国の感動 未来へつなぐ」をスローガンに掲げ、年齢、性別、障害のあるなしを問わず、すべての人が様々な場面で主役として光り輝くとともに、大会を通じて湖国滋賀で生まれた夢や感動、連帯感が、大会に関わるすべての人の心に刻まれ、明日への活力、未来への希望として将来にわたって引き継がれることを目指しています。

大会における共生社会の実現に向けた取組や環境配慮の実践、さらには心のこもったおもてなしなど、長年培ってきた滋賀ならではの視点により、みんなが輝く大会にしてまいりたいと考えております。

本県は、我が国最大の湖である琵琶湖をはじめとする豊かな自然環境や、古くから交通の要衝として栄えてきた歴史を有するとともに、先人が人と人、人と自然のつながりの中で育んできた文化が今も脈々と息づいています。是非、滋賀のリズムに触れていただき、心のリズムを整え、本県での滞在を楽しんでください。

選手の皆様方におかれましては、日頃の練習の成果を存分に発揮されますとともに、地域をこえた交流に触れ、本大会を思い出に残る素晴らしい大会にさせていただきたいと存じます。

結びに、本大会に関わる皆様の御健勝と御多幸を心から祈念申し上げ、歓迎のことばといたします。



歓迎のことば

わたSHIGA輝く国スポ・障スポ大津市実行委員会会長

大津市長 佐藤 健司

わたSHIGA輝く国スポ「第79回国民スポーツ大会 バドミントン競技会」が、大津市にて盛大に開催できますことを大変嬉しく思います。全国各地より参加される選手・監督、大会関係者の皆様をはじめ、大津市にお越しいただく方々を、市民を代表して心から歓迎申し上げます。

わたSHIGA輝く国スポ「第79回国民スポーツ大会」は、昭和56年の「びわこ国体」以来、44年ぶりに滋賀県での開催となります。大津市では、選手の皆様が最大のパフォーマンスを発揮できるように会場の準備を整えるとともに、応援のぼり旗などの会場装飾づくりや地元食材を盛り込んだ「OTSU国スポこだわり弁当」の献立づくり、市内にちりばめられた歓迎装飾など大津市民をあげたおもてなしでお迎えできるように取り組んでまいりました。

また、各会場では、ボランティアによる大津の銘菓などのふるまいのほか、特に子どもたちが様々なスポーツに興味を持ってもらえるように、選手の皆様の競技を観戦することに加え、競技体験などの企画も準備いたしました。スポーツの素晴らしさを体現・体感し、皆様の記憶に残るような大会となりますことを、心より願っております。

さて、琵琶湖の恵みと比良・比叡の山々の緑に囲まれた大津市は、紫式部ゆかりの地である石山寺や三井寺、世界遺産比叡山延暦寺などの自然と歴史が調和した、豊かな文化が息づく地域です。今年は琵琶湖疏水施設が国宝・重要文化財に、坂本城跡が国史跡にそれぞれ指定されるなど、改めてその魅力が注目されています。また、近江牛や文化庁の「100年フード」の認定を受けた大津のうなぎなどの滋賀県・大津市の特産品や郷土料理に加え、琵琶湖でのクルーズなどのアクティビティもお楽しみください。

結びに、本大会の開催にご尽力いただきました関係者の皆様に深く感謝申し上げますとともに、選手の皆様のご健闘を祈念申し上げまして、歓迎のことばといたします。



歓迎のことば

滋賀県バドミントン協会

会長 藤原 健二

ようこそ湖国滋賀へ。

全国各地から「ふるさと」を代表して出場される選手、監督、役員の皆様を県都大津市にある滋賀ダイハツアリーナへお迎えし、第79回国民スポーツ大会バドミントン競技会を開催できますことは、この上ない喜びであり、心から歓迎申し上げます。

さて、前回の滋賀国体も県都大津市にある皇子が丘公園体育館で開催され、44年の時が経ちました。その間、スポーツをとりまく環境や人々のスポーツへの関心やかかわり方も大きく様変わりしてまいりました。

大会の名称も国民体育大会から国民スポーツ大会へと変わり、今年で2回目となります。多くの人々がスポーツや大会の持つ本来的な価値に注目するようになってまいりました。

近年、バドミントン競技会にもオリンピック選手をはじめ、成年、少年ともに国内トップレベル選手の出場により、人々の関心は高まるばかりです。コートで繰り広げられる質の高いプレーは言うまでもなく、コート内外での選手の立ち居振る舞いからも、人々に与える影響は計り知れないものがあります。

選手ならびにチームの皆さんには、一丸となって勝利を目指しバドミントンを大いに楽しんで頂き、観ている人々の心に皆さんの姿や気迫などを刻み付けてくださるよう心から健闘を祈っています。そして本競技会を機にバドミントンやスポーツを好きになってくれる人が一人でも増えることを願って止みません。

また、滋賀には豊かな自然、彩にあふれた歴史や文化もあり、お時間の許す限り心を癒し、食やお酒、おしゃべりも大いに楽しんでいただければ幸いです。

結びに、本競技会開催にあたり格別のご理解、ご支援、ご協力、ご指導を賜りました全ての関係者の皆様に心から深く感謝申し上げ、歓迎の言葉といたします。



天皇杯

皇后杯

国民スポーツ大会天皇杯・皇后杯授与規程

第1条 国民スポーツ大会開催基準要項第11項に基づき、天皇杯は、男女総合成績第1位の都道府県、皇后杯は、女子総合成績第1位の都道府県に授与する。

2 第1位が2都道府県以上の場合は、当該都道府県で共有する。

第2条 天皇杯及び皇后杯は、総合閉会式に授与し、次回の総合開会式において返還する。

第3条 天皇杯又は皇后杯を授与された都道府県は、次の各項の義務を有する。

- (1) 信託会社又は確実な金庫に保管する。
- (2) 破損、紛失等の場合は、当該都道府県の責任とする。
- (3) 公益財団法人日本スポーツ協会が優勝都道府県名刻印のため又はその他の必要により一時返還を求めた場合は、これに応じなければならない。

第4条 本規程の改廃は、国民スポーツ大会委員会の決議を経て行う。

附 則 本規程は、昭和41年4月1日制定

昭和45年1月22日一部改定

昭和48年7月10日一部改定

昭和54年5月9日一部改定

平成17年6月16日一部改定

平成22年3月17日一部改定

本規程は、公益財団法人日本体育協会の設立の登記の日（平成23年4月1日）から施行する。

平成30年4月1日一部改定

令和6年1月1日一部改定



大会会長トロフィー

国民スポーツ大会会長トロフィー授与規程

第1条 国民スポーツ大会開催基準要項第11項に基づき、国民スポーツ大会会長トロフィー(以下「大会会長トロフィー」という。)は、正式競技別男女総合成績第1位の都道府県に授与する。

2 第1位が2都道府県以上の場合は、当該都道府県で共有する。

第2条 大会会長トロフィーは、競技会表彰式に授与し、次回競技会において返還する。

第3条 大会会長トロフィーを授与された都道府県は、次の各項の義務を有する。

- (1) 責任をもって保管する。
- (2) 破損、紛失等の場合は当該都道府県の責任とする。
- (3) 優勝の刻印を次回大会までに行なうものとする。ただし、第1条第2項の場合は、当該都道府県で協議して決めるものとする。
- (4) 公益財団法人日本スポーツ協会が必要により一時返還を求めた場合は、これに応じなければならない。

第4条 本規程の改廃は、国民スポーツ大会委員会の決議を経て行う。

附 則 本規程は、昭和41年4月1日制定

昭和45年1月22日一部改定

昭和48年7月10日一部改定

昭和54年5月9日一部改定

平成17年6月16日一部改定

本規程は、公益財団法人日本体育協会の設立の登記の日(平成23年4月1日)から施行する。

平成30年4月1日一部改定

令和6年1月1日一部改定

大会役員

2025年7月31日現在

(順不同・敬称略)

名誉会長	あべ 俊子				
会長	遠藤 利明				
副会長	益子 直美	田中 不二夫	三宮 恵利子	森岡 裕策	
	室伏 広治	三日月 大造	河本 英典		
顧問	伊藤 雅俊	森 喜朗	橋本 聖子	安西 孝之	
	岡崎 助一	越川 均	坂元 要	勝田 隆	
	室伏 由佳	村松 さやか	湯川 和之	植田 実	
	櫻井 由香	鹿島 丈博	吉岡 成子	石井 砂織	
	笠師 久美子	飯塚 悟	久保 正美	浦 美奈子	
	木平 芳定	中嶋 実	小寺 洋	桐木 陽子	
	旗生 康之	池田 めぐみ	工藤 保子	久保 直生	
	藤田 裕司	藤原 誠	室城 信之	金子 日出澄	
	貝瀬 智洋	森 晃	土橋 登志久	石丸 元国	
	多氣 洋平	井崎 洋志	鬼頭 有紀子	長谷川 洋子	
	吉田 長寿	齋木 尚子	多賀 恒雄	安藤 淳	
	上治 丈太郎	湧永 寛仁	上原 絵美	佐藤 健司	
	馬場 美香	山口 宏	南 和文	宮永 美寿津	
	千田 健一	中里 壮也	岡本 友章	大野 淳	
	加藤 出	田村 恒彦	蒔田 実	山崎 勝洋	
	浅見 敬子	山口 徹正	田中 伸周	村田 利衛	
	建部 彰弘	市野 保己	丸石 博	中村 ゆり子	
	齋藤 良太郎	谷田部 和彦	木村 博美	井上 弘	
	今川 啓一	近藤 重和	池谷 正成	大澤 明美	
	古城 資久	小野 賢二	園山 和夫	中山 俊行	
	田中 徹	知念 かおる	出口 弘之	田邊 哲人	
	城門 政文	前川 恵	上杉 晃央	布村 幸彦	
	茂野 直久	生島 典明	大沢 陽子	谷藤 節雄	
	熊谷 幸一	千葉 玲佳	奥山 雅信	酒井 祐一	
	藤田 知己	北條 俊明	田子 昌之	新井 彰	
	山崎 成夫	塩見 清仁	田名部 高雄	井出 仁	
	今西 博一	中村 宏平	松本 智広	森山 喜博	
	南部 則雄	福永 秀樹	高橋 繁浩	山本 健次	
	増田 和伯	猪飼 敏之	山本 誠三	松本 恭幸	

船田 一彦	奥田 晃	横尾 英治	小西 慎太郎
近藤 一幸	堂本 ひさ美	河村 祐一	渡邊 浩三
田中 稔	馬越 祐希	青木 章泰	城戸 英敏
藤本 武	小柳 勝彦	辛木 秀子	宮成 康蔵
藤本 格	岩元 幸成	平良 朝治	藤原 正樹
大河原 嘉朗	川上 隆弘	佐藤 廣子	奈良 隆
小菅 司	宇津木 妙子	菊 幸一	小林 久美
寺澤 正孝	山口 純子	武部 新	野中 厚
金城 泰邦	赤松 健	増子 宏	矢野 和彦
茂里 毅	浅野 敦行	有村 治子	上野 賢一郎
大岡 敏孝	嘉田 由紀子	北野 裕子	小寺 裕雄
こやり 隆史	斎藤 アレックス	武村 展英	宮本 和宏
目片 信悟	村井 泰彦	北村 嘉英	小椋 正清
伊藤 定勉	草野 聖地	杉浦 和人	永浜 明子
有森 裕子	鈴木 大地	宮本 恒靖	深澤 祐二
坂田 東一	三須 和泰	仲間 達也	川合 俊一
藤田 直志	三屋 裕子	富山 英明	馬場 益弘
砂岡 良治	金丸 恭文	安道 光二	河田 正也
豊田 章男	千 玄 室	中村 真一	牧島 かれん
村井 満	永谷 喜一郎	真砂 威	土田 雅人
町田 幸男	大野 正次	世耕 弘成	笹川 善弘
番匠 幸一郎	久保 素子	丹羽 秀樹	岩城 光英
寶 馨	荒川 裕生	小谷 知也	達増 拓也
鶴田 有司	吉村 美栄子	北村 清士	大井川 和彦
福田 富一	遠藤 祐司	大野 元裕	熊谷 俊人
山本 博	岡田 伸浩	花角 英世	新田 八朗
馳 浩	杉本 達治	高野 剛	阿部 守一
田口 義隆	中谷 多加二	大村 秀章	伊藤 歳恭
西脇 隆俊	高橋 知史	齋藤 元彦	池田 誠也
宮崎 泉	林 昭男	丸山 達也	越宗 孝昌
苅田 知英	村岡 嗣政	後藤田 正純	槇田 實
大塚 岩男	服部 誠太郎	山口 祥義	大石 賢吾
甲斐 隆博	麻生 益直	日隈 俊郎	塩田 康一
玉城 デニー			
粂井 圭子	大杉 住子	赤井 康彦	有村 國俊
井狩 辰也	今江 政彦	岩崎 和也	小河 文人

参

与

委員長
副委員長
総務委員

小川 泰江	奥村 芳正	海東 英和	加藤 誠一
河井 昭成	川島 隆二	河村 浩史	桐田 真人
九里 学	桑野 仁	駒井 千代	佐口 佳恵
重田 剛	柴田 栄一	柴田 清行	清水 鉄次
清水 ひとみ	白井 幸則	周防 清二	菅沼 利紀
田中 英樹	田中 誠	田中 松太郎	谷 成隆
谷口 典隆	富波 義明	中川 雅史	中沢 啓子
中山 和行	野田 武宏	節木 三千代	本田 秀樹
村上 元庸	木沢 成人	森重 重則	東 勝
岸本 織江	土井 真一	窪田 知子	野村 早苗
塚本 晃弘	森 和之	園田 三恵	松田 千春
東郷 寛彦	中村 守	中村 達也	山田 忠利
奥山 光一	岡田 暁人	中田 佳恵	伊吹 信人
白井 稔	藤原 久美子	正木 隆義	保田 誠
小林 雅史	池内 久晃	原 陽一	北川 純二
佐藤 健司	田島 一成	浅見 宣義	小西 理貴
橋川 渉	森中 高史	竹村 健	岩永 裕貴
櫻本 直樹	松浦 加代子	今城 克啓	角田 航也
堀江 和博	西田 秀治	有村 国知	寺本 純二
久保 久良	藤田 善久	甲津 和寿	堤 清司
高橋 祥二郎	市田 良夫	藤堂 寛	野村 昌弘
熊倉 正志	涌井 努	岸 智昭	武田 英明
山本 博一	寺村 義伸	金澤 博文	山本 順
杉原 真也	竹林 幸祥	山田 貴司	上西 保
一圓 泰成	石井 太	川戸 良幸	田畑 太郎
高橋 健太郎	草野 とし子	三木 恒治	市川 忠稔
上村 照代	富長 弘宣	佐野 智哉	太田 千恵子
赤井 弘和	大西 孝雄	崎山 美智子	
山本 浩			
岩田 史昭	田中 秀和	辻 睦弘	
松永 敬子	稲垣 公雄	笠野 英弘	加藤 光国
菅原 哲朗	田崎 博道	松田 基子	三ヶ田 礼一
山澤 文裕	吉田 崇誠	出崎 和夫	宇野 武
熊谷 利彦	佐橋 弘和	田内 慎也	山下 栄次
江橋 千晴	加藤 弘治	小澤 大樹	佐野 博之
青木 克憲	安井 和治	西島 義典	

委

員

平 野 了	高 橋 聖 一	吉 村 政 弘	若 月 等
松 本 康 夫	福 士 幸 洋	栗 原 崇	細 野 光 史
渡 邊 圭 太 郎	佐 久 間 裕 司	品 田 奥 義	濱 野 勉
寺 澤 淳	黒 川 重 男	舟 喜 信 生	高 野 修
中 梶 秀 則	安 藤 正 美	加 藤 憲 二	宮 川 良 輔
鈴 木 章 広	川 口 巖	和 田 潔	岡 泉 茂
田 口 大 祐	平 井 宏 治	岸 川 剛 之	西 原 斗 司 男
菅 原 正 幸	高 橋 昇	長 南 哲 生	衛 藤 敬 輔
渡 辺 久 雄	三 井 千 壽	鈴 木 信 吾	山 中 博 史
井 本 亘	関 根 明 子	中 山 二 三 男	越 前 浩 司
吉 田 由 美 子	杉 本 好 二	東 野 眞 理 子	川 口 雅 三
金 子 和 裕	野 口 友 里	品 治 恵 子	富 澤 佑 也
政 岡 航 大	坊 百 花	小 河 原 百 映	田 口 雅 紀
寺 垣 佑 介	田 中 遥 大	宇 高 章 広	近 藤 潤
南 野 芳 広	池 本 佳 子	横 江 弘 昭	沼 波 輝
門 久 仁 裕	清 水 直 子	高 井 和 紀	見 田 茂 紀
加 藤 雄 樹	鈴 木 敦	瀬 谷 尚 男	大 貫 大 輔
太 田 真 美	高 野 正 規	岩 埜 直 史	深 谷 祐 紀
金 田 貴 人	新 保 暢	戒 田 由 香 里	児 玉 晶 香
村 松 達 也	井 澤 克 行	林 剛 史	稻 葉 晴 伸
杉 浦 美 紀	藤 田 隆 司	曾 我 学	木 原 哲 也
高 橋 健 二	吉 村 宗 浩	中 嶋 純 也	前 田 康 博
松 本 守 正	松 本 綾 子	田 口 新 也	河 口 英 史
久 次 米 和 成	高 田 孝 行	辻 岡 英 幸	前 田 義 朗
笠 井 康 行	尾 鷲 一 成	松 山 度 良	濱 本 昌 宏
吉 野 賢 一 郎	横 山 美 和	山 元 尚 史	宮 城 直 人
高 野 瑞 洋	遠 藤 信 哉	千 葉 雅 也	菅 間 裕 晃
須 藤 勇 司	角 田 真 司	柄 澤 宏 之	竹 内 延 和
東 瀬 義 人	酒 井 雅 洋	碓 井 稔	武 田 知 巳
井 上 哲	今 後 元 彦	沼 田 守 弘	田 部 長 右 衛 門
竹 内 俊 勝	松 井 守	吉 岡 直 彦	刈 谷 好 孝
寺 崎 雅 巳	荒 木 健 治	平 江 公 一	黒 木 淳 一 郎
渡 嘉 敷 通 之	綾 部 吉 也		

競 技 会 役 員

2025年7月31日現在

(順不同・敬称略)

名 会 副 顧	譽 会 副 顧	長 長 長 問	佐藤健司	藤井満	司善淳	小野清司	藤原健二	伊藤義樹
			村井満	朝倉康善	花田康夫	伊藤張二	鈴木勇治	
参	与	問	川口新昇	伊藤新昇	鈴木隆一	山森登子	幡谷藤上	義定隆昭
			森田昇	森田昇	新木敬司	能登子	遠藤上	
参	与	問	荒井和人	荒井和人	堂故茂	砂塚隆広	中嶋光司	
			杉山敏充	杉山敏充	山田順一郎	平田欽也	杉山忠国	
参	与	問	田中鶴子	田中鶴子	銭谷欽治	浜田知昭	野村安忠	
			石田真敏	石田真敏	福浜隆宏	成相安信	荒木雷太	
参	与	問	中川彦彦	中川彦彦	平岡英雄	岡野佳浩	森田茂治	
			中村時広	中村時広	松井智治	矢治恵太郎	宮島潔	
参	与	問	里脇清隆	里脇清隆	木村洋一郎	佐藤英雄	相澤久利	
			藤本滋行	藤本滋行	新里登男	草野聖陽	島崎輝利	
参	与	問	細川靖七	細川靖七	細川三四郎	葉月元	浜奥村功	
			栞田肇	栞田肇	青山洋佑	井田修平	奥村正徳	
参	与	問	改川肇	改川肇	笠光正嗣	嘉小島義雄	川口弘久	
			杉浦智博	杉浦智博	竹内照夫	竹内明子	田中憲児	
参	与	問	田中寛	田中寛	谷川哲也	出田一昭	寺田英憲	
			林ま	林ま	中原優太	伴孝孝	日隈謙一	
参	与	問	福田晶二	福田晶二	船防美智子	森川えりな	森脇理子	
			國松一	國松一	北澗弘英	初田昌幸	内川由紀	
参	与	問	菊池宏幸	菊池宏幸	岡嶋堀弘	宿谷美清	三國坂則	
			小島早生	小島早生	南團初太郎	清水片村	弓安西	
参	与	問	高野敦三	高野敦三	野々口義房	北井上欣正	河本英康	
			津谷善夫	津谷善夫	松尾村芳	井上野正	前田佳樹	
参	与	問	荒谷一生	荒谷一生	奥宮康人	宇野正清	神野隆史	
			渡辺	渡辺	二宮	小	こやり	

委員長
副委員長

田 濃 良 和	石 井 智	久 保 洋 司	西 田 元
米 田 博 文	岸 智 昭	田 矢 隆 一	人 見 和 宏
杉 原 真 也	田 畑 太 郎	大 森 聖 一	八 木 正 樹
大 西 延 明	北 川 有 紀	田 中 勉	金 子 博 美
前 川 賢 慈	花 房 房 子	藤 上 良 信	濱 久 美 雄
谷 英 明	中 沢 啓 子	桑 野 仁	河 嶋 四 郎
大 野 淳			
大 塩 勲	森 豊 幸		
齊 藤 篤 司	中 村 忠 男	岡 井 信 太 郎	村 上 隆 三
村 井 健 郎	米 田 将 嗣	北 橋 進	村 山 弘 晃
小 梶 隆 司	山 田 悟 史	高 山 裕 行	大 岡 正 典
内 藤 真 仁	相 井 隆 寿	早 川 悦 宏	吉 森 貴 規
酒 井 良 之	谷 口 浩 一	川 井 亮 喜	葛 川 修
上 田 晋 也	今 井 啓 貴	小 田 知 則	杉 江 寿 彦
駒 井 久 夫	益 田 吉 基	吉 田 聡	打 谷 桂 子

競 技 役 員

2025年7月31日現在

(順不同・敬称略)

レフェリー	岩 城 圭 一			
デビュティーレフェリー (総務部長)	森 豊 幸			
総務副部長	大 野 淳	小 田 隆 司	村 井 健 郎	岡 井 信 太 郎
	村 上 隆 三			
総務主任	徳 重 和 代			
総務副主任	今 井 美 紀			
総務委員	杉 尾 伸 子	山 本 清 美	中 村 知 子	入 山 千 代 子
	富 岡 祐 子	森 由 美 子	中 野 久 代	亀 本 と し 子
	村 井 佳 奈 恵	大 山 康 子	望 月 美 寿 寿	横 井 裕 子
	高 田 麻 里	沢 田 真 紀		
デビュティーレフェリー (競技審判部長)	渡 邊 伸 也			
競技審判副部長	大 和 高 成	早 川 悦 宏		
競技主任	高 山 裕 行			
競技委員	松 居 文 彦	木 谷 美 枝	川 分 基 徳	松 村 政 幸
	梶 谷 明 美	東 野 昌 代	川 崎 順 子	
総合得点集計委員長	齋 藤 篤 司			
総合得点集計委員	中 村 忠 男	保 科 正 浩		
進行主任	米 田 将 嗣			
進行委員	吉 森 貴 規	小 山 定 寛	北 村 洋 介	久 郷 剛 基
記録主任	友 永 恵 子			
記録副主任	平 居 直 人			
記録委員	社 納 佳 美	中 村 昌 子	陸 川 恵	山 崎 範 子
	北 村 和 士	藤 岡 大 樹	北 條 祐 隆	
放送主任	西 村 昌 士			
放送委員	中 出 菜 月	長 谷 川 美 那	吉 森 加 奈	芝 崎 深 雪
	澤 井 祐 太			
会場主任	相 井 隆 寿			
会場委員	谷 建 太 朗	斎 藤 純 子	原 里 江	松 田 佳 世
	青 山 愛 子	爲 房 友 佳 子	吉 田 沙 樹	東 村 真 理
	向 恵 美	廣 瀬 美 香		
式典主任	榆 恵 子			
報道主任	北 村 英 仁			

報道委員	木村 雅一	中川 あかり		
シャトル主任	田村 友一			
シャトル係	西田 開威	藤野 明美	山本 淳子	岩朝 砂恵子
	河原田 直美	野木 秀樹	湯浅 賢一	
掲示主任	二井家 清香			
掲示委員	小柳 あい	中本 かおり	児玉 千明	竹村 かおり
	松ヶ枝 美晴	河合 真紀子	船川 美紀	松原 真由美
	藤本 岬	南 かおる	四谷 友紀	
招集主任	宮園 加愛			
招集委員	村北 互	岸部 あつみ	竹之内 奈都子	畑山 亜也加
	鈴木 華織	内川 厳志	大澤 由香	森 ちあき
	丸岡 綾子	小島 雅子	清水 亮一	鍋嶋 将之
	梅原 舞	橋本 恭平	藤田 卓也	前川 ひろ美
	飯田 敦樹	中江 悦子	篠田 亜希子	橋本 真理子
	佐野 充	藤原 玲奈		
主審主任	杉江 寿彦			
主審副主任	青山 好子	山田 紀子		
主審	阿部 卓	伊藤 知行	袖山 夏樹	小林 裕樹
	多田 達矢	森田 昌代	水舟 一郎	鍋島 弘之
	富山 育學	坂本 和也	松田 大輝	原文 俊
	原 正人	新井 博幸	川上 成彦	千葉 毅
	山口 律子	木谷 雅子	中川 敬子	加瀬 恵
	増田 幸子	大谷 留美	鈴木 英昭	茂田 公基
	渡邊 大樹	森原 義博	保科 真紀江	福田 栄記
	佐藤 恵美子	荒牧 奈美子	佐倉 和明	鈴木 高弘
	久原 寿之	原 賢一	荻野 佳宏	武藤 芳紀
	田野岡 賢	尾知 晴大	戸崎 義	森 直義
	山下 直也	田原 秀典	田原 順子	百野 郁子
	石川 亮子	米倉 恵里	福田 美絵	大和 伶
	南里 由美子	大森 真紀	西川 浩	上田 昇
	松岡 良英	天野 治	粟井 直子	吉村 祥吾
	玉久保 政巳	吉岡 和美	丸草 智明	堀田 真佑
	山根 健治	吉田 直斗	浦島 申次	早 香代
	水野 智子	川口 有里	中平 彩香	寺田 雅規
	西川 茂美	大辻子 了二	七里 真尚	谷口 浩一

線 審 主 任
線 審 副 主 任
線 審

井 上 知 香	林 雅 弘	上 田 真 康	内 林 拓
水 谷 貴 一	深 井 侑	豊 谷 康 一	谷 口 啓 子
藤 本 耕 治	南 田 寛		
小 田 知 則			
笠 原 浩 史			
福 本 祐 司	尾 形 広 大	永 田 優 輔	熊 木 和 幸
西 本 江 莉 加	葛 川 星 斗	宮 村 新 奈	奥 村 奈 未
堤 愛 花	松 井 大 輔	勝 洋 子	原 井 聡 史
小 澤 彩 知	樫 栄 祥 子	稲 葉 勇	遠 藤 彰
磯 田 智 行	森 本 夏 輝	渡 邊 大 智	入 口 大 樹
吉 富 景 陽	喜 多 亮	富 森 俊 貴	馬 籠 楓
土 田 琴 未	吉 成 悠	村 田 寛 知	喜 納 鈴
喜 納 幹	畑 有 紗	猪 野 祐 大	加 藤 悠 人
川 井 亮 喜	川 井 由 美 子	井 上 晋 作	岡 本 のぞみ
矢 部 恭 章	伊 崎 広 志	竹 村 一 真	石 川 彩
奥 村 理 恵	横 間 浩	広 部 和 成	広 部 有 美
川 崎 知 美	山 下 あゆ子	奥 典 久	中 島 純 子
金 澤 利 昭	脇 阪 美 紀 子	藤 本 剛 史	小 川 建 一
坂 手 俊 哉	岡 本 一 晃	佐 野 優 奈	田 部 淳 史
佐々木 百 合	大 澤 早 知 子	丹 原 脩 滋	鈴 木 奈 緒 美
前 田 秀 之	飯 田 哲 朗	井 口 基	酒 井 浩 子
花 田 正 喜	前 田 航 規	今 井 啓 貴	西 岡 紘 平
辻 正 和	真 下 ゆき乃	五 島 彩 夏	五 島 朝 子
村 上 潤 子	東 村 圭 二	林 智 也	山 名 義 則
今 村 敬 太	花 澤 誠	松 山 亜 紀	富 永 久 仁 子
古 川 悦 子	鷲 村 康 子	山 岸 美 代	吉 井 千 絵
島 田 祥 子	鍋 島 沙 知	井 上 十 志 子	将 野 綾
由 田 麻 美	山 多 恵	宮 田 和 代	臼 井 恵 美 子
河 瀬 ゆかり	佐 伯 愛	浜 田 華	松 下 淳 子
城 野 麻 里	小 林 恵 里	池 田 真 帆	大 川 弘 美
大 堀 佳 子	中 西 広 美	長 谷 川 由 紀 子	曾 我 純 子
中 島 知 子	田 岸 幸 子	岩 井 典 子	西 村 恵 子
佐 野 真 理	小 野 寺 久 美 子	平 井 亜 希	矢 野 礼 子
奥 富 美 子	堤 優 子	福 田 香 織	加 藤 佐 代 子
中 川 里 美	田 中 亜 季	渡 良 子	富 樫 友 美

練習会場主任

練習会場委員

乳 原 絢 子	野 口 弘 子	多 賀 玲	伏 木 春 奈
塩 治 恵	佐 治 暁 子	山 中 和 夫	内 藤 真 仁
山 本 凌 平	三 國 和	善 積 隆 都	明 石 怜 太
辻 川 心 結	宅 和 俊 輔	井 手 上 淳 哉	岡 村 飛 路
大 山 一 樹	古 西 葵 衣	東 玲 美	藤 堂 悠 菜
原 田 そよか	安 福 万 澄	笹 岡 由 莉	平 来 喜
加 藤 瑛 之	山 田 健 太	池 淵 百 恵	浦 島 快
佐 藤 玄 己	天 野 遥	加 藤 優 弥	藤 原 疾 風
谷 村 暖 忠	伊 藤 壮 平	中 谷 伊 吹	高 本 夏 菜
神 谷 風 汰	古 閑 大 瑤	植 木 遥 都	貴 堂 瑠 唯
飯 星 誠 啓	古 川 香 月		
上 田 晋 也			
道 分 元 樹	安 本 匡 志	北 川 穂	藤 居 巧
山 中 久 之	西 人 生	廣 松 賢 哉	白 土 博 之
福 井 容 示	上 坂 昌 也	今 村 直 貴	伊 藤 敦
大 友 陸 人	松 井 愛 美	北 村 昌 也	中 玉 利 千 晶
小 幡 未 来	南 恭 平	篠 田 優 治	相 井 亜 弥
中 村 光 宏	清 水 千 恵	田 淵 と も み	杉 山 亜 希 子
池 田 和 美	田 井 孝 子	井 上 昇	福 田 奈 美
益 田 吉 基	葛 野 直	本 郷 寿 美	勝 山 直 子
桂 田 依 子			

競 技 補 助 員

2025年7月31日現在

(順不同)

学校法人純美禮学園滋賀短期大学附属高等学校

滋賀県立彦根翔西館高等学校

学校法人松風学園彦根総合高等学校

滋賀県立能登川高等学校

競 技 会 係 員

わたSHIGA輝く国スポ・障スポ大津市実施本部職員一同

競 技 会 補 助 員

わたSHIGA輝く国スポ・障スポ大津市ボランティア一同

大会実施要項

総 則

開催の趣旨

国民スポーツ大会は、広く国民の間にスポーツを普及し、スポーツ精神を高揚して国民の健康増進と体力の向上を図り、併せて地方スポーツの推進と地方文化の発展に寄与するとともに、国民生活を明るく豊かにしようとする国内最大のスポーツの祭典である。

滋賀県で開催する第79回国民スポーツ大会「わた SHIGA 輝く国スポ」は「湖国の感動 未来へつなぐ」をスローガンに掲げ、年齢、性別、障害のあるなしを問わず、すべての人が様々な場面で主役として光り輝くとともに、大会を通じて湖国滋賀で生まれた夢や感動、連帯感が、大会に関わるすべての人の心に刻まれ、明日への活力、未来への希望として将来にわたって引き継がれる大会を目指して開催する。

実施方針

1 実施競技

(1) 正式競技（37 競技）

陸上競技、水泳、サッカー、テニス、ローイング、ホッケー、ボクシング、バレーボール、体操、バスケットボール、レスリング、セーリング、ウエイトリフティング、ハンドボール、自転車、ソフトテニス、卓球、軟式野球、相撲、馬術、フェンシング、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、ライフル射撃、剣道、ラグビーフットボール、スポーツクライミング、カヌー、アーチェリー、空手道、銃剣道、なぎなた、ボウリング、ゴルフ、トライアスロン

(2) 公開競技（7 競技）

綱引、ゲートボール、武術太極拳、パワーリフティング、グラウンド・ゴルフ、バウンドテニス、エアロビック

(3) デモンストラレーションスポーツ（26 競技）

インディアカ、ウォーキング、ウォーキングフットボール、小倉百人一首競技かるた、カローリング、還暦軟式野球、キンボールスポーツ・レクリエーション、里湖で地域を結ぶウォーキング、スポーツウエルネス吹矢、スポーツ鬼ごっこ、スポーツ拳法、スポーツチャンバラ、スリースマイルゴルフ、スローイングビンゴ、ソフトバレーボール、ネットでポンポイ、ノルディック・ウォーク、ひこねスーパーカラム、ビリヤード、フットサル、マリンスポーツフェスティバル、ミックスバレーボール、モルック、ユニカール、ユニホック、ラジオ体操第3（初代・二代目）

(4) 特別競技（1 競技）

高等学校野球

2 会期および会場地

(1) 正式競技・特別競技（15 市、4 町：計 19 市町）

会 期	会 場 地
2025年 9 月28 日（日） ～10月 8 日（水） 〔11日間〕	大津市、彦根市、長浜市、近江八幡市、草津市、守山市、栗東市、甲賀市、野洲市、湖南市、高島市、東近江市、米原市、日野町、竜王町、愛荘町、大阪府豊能郡能勢町、兵庫県三木市
2025年 9 月 6 日（土） ～ 9 月15 日（月） 〔10日間〕	大津市、長浜市、草津市 ※ 水泳、体操、バレーボール（ビーチバレーボール）競技会は上記会場地で実施
2025年 9 月21 日（日） ～ 9 月25 日（木） 〔 5 日間〕	東近江市、京都府向日市 ※ 自転車（トラック・レース、ロード・レース）競技会は上記会場地で実施

(2) 公開競技（7 市：計 7 市町）

会 期	会 場 地
2025年 8 月23 日（土） ～ 9 月21 日（日）	長浜市、近江八幡市、草津市、守山市、栗東市、甲賀市、野洲市

(3) デモンストレーションスポーツ（13 市、1 町：計 14 市町）

会 期	会 場 地
2025年 4 月12 日（土） ～ 9 月14 日（日）	大津市、彦根市、長浜市、近江八幡市、草津市、守山市、栗東市、甲賀市、野洲市、湖南市、高島市、東近江市、米原市、多賀町

(4) 文化プログラム

文化プログラムの実施については、「文化プログラム実施基準」に基づき、2025 年 1 月 1 日から 2025 年 12 月 31 日までの期間で、原則として、県内市町で開催する。

3 競技方法

各競技別実施要項に示す方法とし、正式競技は都道府県対抗で実施する。

4 ドーピング検査の実施

大会におけるアンチ・ドーピング活動（ドーピング検査およびアンチ・ドーピング教育活動）は、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構が定める「日本アンチ・ドーピング規程」および別に定める「国民スポーツ大会アンチ・ドーピング活動に関するガイドライン」に基づき実施する。

なお、治療の目的で禁止物質・禁止方法を用いる必要がある場合は、事前に「治療使用特例（TUE）の手続きを行うこと。

各都道府県の代表選手は、大会期間中は常に「国民スポーツ大会ドーピング検査同意書」を所持しなければならない。選手が 18 歳未満の場合、本人の署名および親権者の署名がある同意書を所持すること。

5 参加資格、所属都道府県および選手の年齢基準

選手および監督の参加資格、所属都道府県および選手の年齢基準は、次のとおりとする。

なお、参加資格については、「第 79 回国民スポーツ大会参加資格、所属都道府県および年齢基準等の解釈・説明」を併せて確認すること。

【 公益財団法人日本スポーツ協会ホームページ <http://www.japan-sports.or.jp/> 】

(1) 参加資格

ア 日本国籍を有する者であることとするが、選手および監督のうち、次の者については、日本国籍を有しない者であっても、大会に参加することができる。

(イ) 「出入国管理および難民認定法」に定める在留資格のうち「永住者」（「日本国との平和条約に基づき日本の国籍を離脱した者等の出入国管理に関する特例法」に定める「特別永住者」を含む。）

(ロ) 少年種別年齢域に該当し、次の要件をいずれも満たす者

a 「学校教育法」第 1 条に規定する学校に在籍する学生または生徒で、「8 参加申込方法」で定めた参加申込締切時に 1 年以上在籍していること。

b 「出入国管理および難民認定法」に定める在留資格のうち、「留学」、「家族滞在」または「定住者」に該当していること。

(ハ) 成年種別年齢域に該当し、次の要件をいずれも満たす者

a 少年種別年齢域にあった時点において前号(イ)に該当していた者であること。

b 「出入国管理および難民認定法」に定める在留資格のうち、大会参加時から終了時まで「留学」に該当しないこと。

[注] 上記(ハ)b について、大学および専修学校等に在籍する成年種別の年齢域に該当する者は、「出入国管理および難民認定法」に定める「留学」以外の在留資格を有する場合も「留学」と同等に扱う。

イ 選手および監督は、所属都道府県の当該競技団体会長（代表者）とスポーツ協会会長（代表者）が代表として認め、選抜した者であること。

ウ 2023 年開催の特別大会または第 78 回大会（都道府県大会およびブロック大会を含む）において選手または監督として参加した者は、次の場合を除き、2023 年開催の特別大会または第 78 回大会と異なる都道府県から参加することはできない。

(ア) 成年種別

a 「学校教育法」第 1 条に規定する学校を卒業した者

b 結婚または離婚に係る者

[注] a および b は当該要件発生後、初めて参加するものに限る。

c ふるさと選手制度を活用する者（別記 1 「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」による。）

[注] 別記 3 「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」の適用を受け、ふるさと選手として参加する者を含む。

d 東日本大震災に係る参加資格特例措置を活用する者（別記 5 「東日本大震災に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」による。）

e 能登半島地震に係る参加資格特別措置を活用する者（別記 6 「能登半島地震に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」による。）

(イ) 少年種別

- a 「学校教育法」第1条に規定する学校を卒業した者
- b 結婚または離婚に係る者
- c 一家転住に係る者（別記2「『一家転住等』に伴う特例措置」による。）
[注] aからcは当該要件発生後、初めて参加するものに限る。
- d JOCエリートアカデミーに在籍する者（別記3「JOCエリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」による。）
- e 東日本大震災に係る参加資格特例措置を活用する者（別記5「東日本大震災に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」による。）
- f 能登半島地震に係る参加資格特別措置を活用する者（別記6「能登半島地震に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」による。）

エ 選手と監督の兼任は、同一種別内に限る。

オ 選手および監督は、回数を同じくする大会において、冬季大会および本大会にそれぞれ1競技に限り参加できる。

カ 選手および監督は、回数を同じくする大会において、異なる都道府県から参加することはできない。

キ 選手、監督ならびに本部役員帯同のスポーツドクターおよびアスレティックトレーナーは、大会参加前の1年以内に公益財団法人日本スポーツ協会（以下「日本スポーツ協会」という。）が指定するアンチ・ドーピング教育を受講し、「国スポ本戦出場前のアンチ・ドーピング教育履歴」に記載した者であること。

ク 上記のほか、選手については次のとおりとする。

- (ア) 都道府県大会およびブロック大会に参加し、これを通過した者であること。
- (イ) 健康診断を受け、競技会への参加に支障がない者であること。
- (ウ) ドーピング検査対象に選定された場合は、検査を受けなければならない。

ケ 上記のほか、監督については日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく競技別指導者資格を有する者とし、監督が不在の場合選手は参加することができない。各競技における対象資格については当該競技実施要項によるものとする。

(2) 所属都道府県

所属都道府県は、当該競技団体が限定する場合を除き、次のいずれかが属する都道府県から選択することができる。

ア 成年種別

- (ア) 居住地を示す現住所
- (イ) 勤務地
- (ウ) ふるさと（別記1「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」による。）

[注] 別記3「JOCエリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」の適用を受け、ふるさと選手として参加する者を含む。

イ 少年種別

- (ア) 居住地を示す現住所
- (イ) 「学校教育法」第1条に規定する学校の所在地（以下「学校所在地」という。）
- (ウ) 勤務地
- (エ) 別記3「JOCエリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」に定める小学校

の所在地

※ 「居住地を示す現住所」、「勤務地」、「学校所在地」のいずれかから参加する場合は、2025年4月30日以前から本大会終了時（2025年10月8日）まで、引き続き当該地に、それぞれ居住、勤務、または通学していなければならない。ただし、次の者はこの限りではない。

[成年種別]

- a 別記4「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者
- b 別記5「東日本大震災に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者
- c 別記6「能登半島地震に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者

[少年種別]

- a 別記2「『一家転住等』に伴う特例措置」の適用を受ける者
- b 別記4「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者
- c 別記5「東日本大震災に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者
- d 別記6「能登半島地震に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者

(3) 選手の年齢基準

ア 選手の年齢基準については、下記を原則とする。

(ア) 成年種別に参加する者は、2007年4月1日以前に生まれた者とする。

(イ) 少年種別に参加する者は、2007年4月2日から2010年4月1日までに生まれた者とする。

(ウ) 年齢を区分している種別へ参加する者の年齢計算は、2025年4月1日を基準とする。

イ 日本スポーツ協会が特に認める場合は、上記アにかかわらず、競技ごとに年齢区分を設定することができる。ただし、年齢の下限は中学3年生（2010年4月2日から2011年4月1日までに生まれた者）とする。

(4) 前記の各事項に疑義のあるときは、日本スポーツ協会および当該競技団体が調査・審議のうえ、日本スポーツ協会がその可否を決定する

6 各正式競技の総合成績決定方法

各正式競技の総合成績決定方法は次のとおりとする。

(1) 次のア、イの得点を合計したものを男女総合成績（天皇杯得点）および女子総合成績（皇后杯得点）とする。

ア 競技得点

競技得点は、各種別、種目などの第1位から第8位までの都道府県に与え、次のとおりとする。ただし、同順位の場合は、次の順位のものを加え、当該都道府県で等分し、割り切れない場合は、小数第3位以下を切り捨てる。

		1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	6 位	7 位	8 位
種別	4 人以下	24 点	21 点	18 点	15 点	12 点	9 点	6 点	3 点
	5 人以上 7 人以下	40 点	35 点	30 点	25 点	20 点	15 点	10 点	5 点
	8 人以上	64 点	56 点	48 点	40 点	32 点	24 点	16 点	8 点
種目	—	8 点	7 点	6 点	5 点	4 点	3 点	2 点	1 点

〔注〕 「種別」：種別などを与える競技得点 「種目」：種目などを与える競技得点

イ 参加得点

参加得点は 10 点とし、大会（ブロック大会を含む。）に参加した都道府県に与える。

ただし、ブロック大会で本大会の出場権を獲得しながら、本大会に参加しなかった場合は与えない。

(2) 各競技の総合成績は、当該競技団体が決定する。

ただし、天候その他の事情により一部競技が中止になった場合は、当該競技団体と大会総務委員会が協議する。

(3) 参加資格違反等に関わる得点等の取り扱いについては、「国民スポーツ大会における違反に対する処分に関する規程」によるものとする。

7 表彰

(1) 冬季大会および本大会で実施した全正式競技の男女総合成績第 1 位の都道府県に天皇杯を、同じく女子総合成績第 1 位の都道府県に皇后杯をそれぞれ授与する。

(2) 冬季大会および本大会で実施した全正式競技の男女総合成績および女子総合成績の第 1 位から第 8 位までの都道府県に、それぞれ表彰状を授与する。

(3) 各正式競技の男女総合成績第 1 位の都道府県に、国民スポーツ大会会長トロフィーを授与する。

(4) 各正式競技の男女総合成績および女子総合成績の第 1 位から第 8 位までの都道府県に、それぞれ表彰状を授与する。

(5) 各競技の各種別および各種目などの第 1 位から第 8 位までに賞状を授与する。団体競技の場合は、その都道府県名とチーム全員（監督を含む）の氏名を記載したものを都道府県用に 1 枚、さらにその都道府県名と個人名を記載したもの、または都道府県名とチーム全員（監督を含む）の氏名を記載したものをチーム全員に授与する。

8 参加申込方法

(1) 参加申込

都道府県スポーツ協会会長（代表者）および競技団体会長（代表者）は、連署の上、都道府県大会またはブロック大会において選抜された者および公益財団法人日本高等学校野球連盟が選出したチームを、大会会長宛に申込みものとする。

(2) 参加申込締切

参加申込は、定められた締切日までに国民スポーツ大会参加申込システムにより行う。なお各競技別実施要項の「参加申込方法」を併せて確認すること。

(3) 参加申込締切日

締 切 日	競 技
2025 年 8 月 20 日 (水) 【12 競技】	水泳、ローイング、バレーボール（ビーチバレーボール）、体操、レスリング、セーリング、自転車、相撲、カヌー、ボウリング、ゴルフ、トライアスロン
2025 年 9 月 4 日 (木) 【27 競技】	陸上競技、サッカー、テニス、ホッケー、ボクシング、バレーボール（6人制）、バスケットボール、ウエイトリフティング、ハンドボール、ソフトテニス、卓球、軟式野球、馬術、フェンシング、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、ライフル射撃、剣道、ラグビーフットボール、スポーツクライミング、アーチェリー、空手道、銃剣道、なぎなた、高等学校野球

(4) 参加申込様式

参加申込様式は、日本スポーツ協会が実施競技団体と協議の上、作成する。

(5) 公開競技の参加申込

公開競技については、別途当該中央競技団体が定める所定の手続きにより行う。

(6) 選手の交代

参加申込締切後の選手の交代は、特別な事情がない限り認めない。特別な事情で選手を交代する場合は、所定の様式、方法により次のア～ウ宛に届け出なければならない。

ア 全国を統轄する各中央競技団体事務局

イ わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ実行委員会事務局

ウ わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ各競技会場地市町実行委員会事務局

なお、日本スポーツ協会に対しては、大会終了後、所定の手続きにより参加申込情報を修正すること。

9 棄権手続

参加申込締切後から競技初戦までの間において、特別な事情で選手が競技会を棄権する場合には、所定の棄権手続きをとらなければならない。

なお、棄権手続きに係る届出については選手交代届と同じ様式を用いること。

10 大会参加負担金

(1) 大会に参加選手団（視察員を除く）を派遣する都道府県スポーツ協会は、大会参加負担金を納入する。一人当たりの大会参加負担金の額は下記のとおりとする。

区 分	負 担 金
少年の種別に参加する選手	3, 0 0 0 円
上記以外の者（本部役員、監督、成年の種別に参加する選手等）	6, 0 0 0 円

〔注〕 地震、風水害、感染症およびその他主催者の責によらない事由により大会を中止した場合、大会参加負担金の返金を行わない。

(2) 大会参加負担金は、都道府県スポーツ協会に取りまとめ、次のとおり納入する。

ア 納入期限 2025 年 9 月 5 日（金）

イ 納入先 みずほ銀行 渋谷支店 普通預金口座 513729
公益財団法人日本スポーツ協会

11 宿泊申込

大会参加者は、わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ実行委員会が指定した所定の様式により、定められた締切日までに申込み。

12 都道府県選手団本部役員編成

- (1) 都道府県選手団本部役員は、次のとおりとする。
 - ア 参加選手 500 名以上の場合は、団長、総監督および総務ほか、計 20 名以内とする。
 - イ 参加選手 300 名以上 500 名未満の場合は、団長、総監督および総務ほか、計 15 名以内とする。
 - ウ 参加選手 300 名未満の場合は、団長、総監督および総務ほか、計 10 名以内とする。
- (2) 上記役員のほか、5 名以内の顧問を設けることができる。
- (3) 上記(1)および(2)による本部役員総数の範囲内で、スポーツドクターを帯同するものとする。
なお、帯同するスポーツドクターは日本スポーツ協会公認スポーツドクター資格を有する者とする。
- (4) 上記(1)および(2)による本部役員総数の範囲内で、原則としてアスレティックトレーナーを帯同するものとする。
なお、帯同するアスレティックトレーナーは日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー資格を有する者とする。
- (5) 都道府県選手団本部役員の 1 日あたりの編成人数については、上記(1)および(2)による人数を上限とする。
- (6) 都道府県選手団本部役員の参加申込は、2025 年 9 月 4 日（木）までに国民スポーツ大会参加申込システムにより行う。

13 視察員

- (1) 視察員は、1 都道府県 3 名以内とする。ただし、2026 年以降の国民スポーツ大会の開催が決定または内定している県については、青森県 100 名以内、宮崎県および長野県 60 名以内、群馬県および島根県 40 名以内とする。
- (2) 都道府県の視察員の参加申込は、2025 年 9 月 4 日（木）までに国民スポーツ大会参加申込システムにより行う。

14 AD カードの交付

都道府県選手団、公開競技に参加する選手・監督および役員、大会役員・競技会役員および競技団体が指定した競技役員、大会主催者および競技会主催者が認めた者には AD カード（Accreditation Card）を交付する。

15 参加上の注意

- (1) 大会期間中は、交付された AD カードを携帯しなければならない。
- (2) 各都道府県の代表選手は、競技に際し、「国民スポーツ大会ユニフォーム規程」に基づき、ユニフォームを着用しなければならない。

16 個人情報および肖像権に関わる取り扱い

日本スポーツ協会、わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ実行委員会、わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ各競技会場地市町実行委員会および国民スポーツ大会実施競技中央競技団体（以下「国スポ関係機関・団体」という。）は、参加申込等を通じて取得する個人情報および肖像権の取り扱いに関して以下のとおり対応するものとする。

(1) 個人情報の取り扱い

ア 利用目的

大会参加申込として国民スポーツ大会参加申込システムへ登録された個人情報は、国スポ関係機関・団体において、参加資格の確認や競技組合せなどをはじめとする大会運営業務のために利用し、目的以外に利用しない。

イ 公表の範囲と方法

個人情報のうち、所属都道府県、氏名、性別、年齢、学校名、チーム名等、所属と個人を識別するために必要な情報については、以下の方法等により公表することがある。

(ア) 総合プログラムおよび競技別プログラムへの掲載

(イ) 競技会場内におけるアナウンス等による紹介

(ウ) 競技会場内外の掲示板等への掲載

(エ) 大会関連ホームページへの掲載

(オ) 報道機関への提供

ウ 競技結果（記録）等

競技結果（記録）については、上記イで定めた個人情報とともに、以下の方法等により公表することがある。

(ア) わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ実行委員会が設置する記録本部を通じた公開

(イ) 国スポ関係機関・団体および報道機関等による新聞・雑誌および関連ホームページ等への掲載

(ウ) 国スポ関係機関・団体が作成する大会報告書等への掲載

(エ) 次回以降の大会プログラムへの掲載【新記録、優勝および上位入賞結果（記録）等】

(2) 肖像権に関する取り扱い

ア 写真

国スポ関係機関・団体またはこれらに認められた報道機関等によって撮影された写真が、新聞・雑誌・報告書および関連ホームページ等で公開されることがある。

イ 写真（写真撮影企業等）

国スポ関係機関・団体に認められた写真撮影企業等によって撮影された写真等が販売されることがある。

なお、各競技・会場における販売の有無等の詳細は、当該中央競技団体を中心に対応する。

ウ 映像

国スポ関係機関・団体またはこれらに認められた報道機関等によって撮影された映像が、中継・録画放映およびインターネットによって配信されることがある。また、DVD 等に編集され、販売・配付されることがある。

(3) 対応

ア 承諾の確認

大会参加申込として国民スポーツ大会参加申込システムへ登録された時点で、上記取り扱いに関する承諾を得たものとして対応する。

なお、各競技会における取り扱いに伴い、別途、当該中央競技団体等によって個別に承諾を確認することがある。

イ 役員等

大会役員、競技役員、運営役員、その他各種委員や補助員、国スポ関係機関・団体と大会に関する契約をしている者および大会運営関係者については、上記取り扱いに関する承諾を得たものとして対応する。

17 都道府県大会およびブロック大会

正式競技については、本大会の予選として次のとおり都道府県大会（ブロック大会）を開催しなければならない。

- (1) 都道府県の主催団体は、必要に応じて日本スポーツ協会および中央競技団体等関係団体と協議の上、本要項に基づき実施要項を作成する。

なお、日本スポーツ協会および中央競技団体は、その内容に不備がある場合、適宜指導を行うものとする。

- (2) 都道府県大会の実施にあたり、当該都道府県主催団体は、適正な手続きに則り決定した代表選手の選抜方法・選考基準について、予め関係者に周知徹底を図るものとする。

- (3) 参加者は、実施要項に基づき当該主催団体に申込み。

なお、参加は1人1競技に限る。

- (4) ブロック大会の申込みは、原則として国民スポーツ大会参加申込システムにより行い、様式は日本スポーツ協会および当該主催団体が協議の上、作成する。

なお、参加申込システムを使用しない場合の様式については、当該主催団体において別途作成する。

- (5) 都道府県大会の参加申込様式は、当該主催団体において作成する。

- (6) 参加料を徴収する場合の金額は、当該主催団体が中央競技団体と協議の上、定める。

- (7) 競技運営に差し支えない限り、滋賀県選手は当該競技ブロック大会を経ることなく本大会に参加することができる。

18 国民スポーツ大会参加者傷害補償制度

日本スポーツ協会および都道府県スポーツ協会は、国民スポーツ大会参加者に対する社会的責任体制を整えるとともに、大会参加者の相互扶助の精神に基づいた補償制度として大会参加者による国民スポーツ大会参加者傷害補償制度を運営する。

- (1) 本制度の対象となる参加者は、ブロック大会および本大会に参加する本制度給付規定に定められた選手、監督、選手団本部役員（顧問を含む）、視察員ならびにその他選手団役員とする。

- (2) 大会参加の都道府県スポーツ協会は、国民スポーツ大会参加者傷害補償制度の対象となる参加者数に応じた制度負担金（一人あたり1,000円）を、日本スポーツ協会に納入する。

- (3) 納入締切日および納入先については、別途日本スポーツ協会から都道府県スポーツ協会へ

通知する。

19 わた SHIGA 輝く国スポの取組

(1) 環境に配慮した大会の実施

スポーツの楽しさや感動を分かち合うとともに、滋賀県に受け継がれている身の回りの生活から自然環境を考える取組を県民や企業、大会に関わるすべての参加者が実践することで、「人と人、人と地域、人と自然」の繋がりを深めることができるよう取り組む。

(2) おもてなしと滋賀の魅力発信

豊かな自然や歴史、文化、芸術、祭り、伝統芸能、特産品などの地域資源、湖上スポーツをはじめとした滋賀ならではのスポーツ環境など、滋賀の魅力を発信し、来県者が滋賀での滞在を楽しむことができるよう取り組む。

(3) 誰もが主役として輝ける取組の推進

年齢や性別、障害の有無などを問わず、誰もが一層身近にスポーツを楽しむことができる環境をつくり、誰もがボランティアや大会関連行事等に積極的に参加できる環境をつくるなど、それぞれのスタイルで「する」「みる」「支える」の体験ができる大会となるよう取り組む。

20 その他

(1) 参加申込および宿泊申込が、定められた締切日までに行われない場合、または、参加負担金が定められた納入期限までに納入されない場合は、本大会への参加を認めない。

(2) 大会運営にあたり、選手・観客・大会関係者への安全を最優先に配慮し、気象状況・感染状況・交通状況・テロ行為等の各種災害に伴い、安全確保が見込めないと主催者が判断した場合は、主催者の指示に従うものとする。また、安全確保のために、参加申込システムに登録された以外の個人情報を取得する場合がある。取得した情報については、目的以外に利用しない。

(3) その他の事項については、国民スポーツ大会開催基準要項および同細則による。

別記 1 「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」

- 1 成年種別年齢域の選手は、国民スポーツ大会開催基準要項細則第 3 項〔国民スポーツ大会開催基準要項第 8 項第 1 号および第 10 項第 4 号（参加資格および年齢基準等）〕に基づき、下記のいずれかを拠点とした都道府県から参加することができる。
 - (1) 居住地を示す現住所
 - (2) 勤務地
 - (3) ふるさと
- 2 「ふるさと」とは、卒業小学校、卒業中学校または卒業高等学校のいずれかの所在地が属する都道府県とする。

ただし、JOC エリートアカデミーに係る選手については、別に定める「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」第 3 項により取り扱うものとする。
- 3 我が国の競技力向上を支援する観点より、日本国籍を有する者および「永住者」については、日本における滞在期間に関わらず、本制度を活用できるものとする。ただし、「日本国籍を有する者および『永住者』」に該当しない者であっても、当該大会年の 4 月 30 日（冬季大会は前年の 4 月 30 日）以前から本大会終了時（冬季大会は各競技会終了時）まで継続的に日本に滞在している場合は、本制度を活用できるものとする。なお、やむを得ない事情により、一時的に日本を離れる場合は、総日数の半数を超えて日本で滞在していること。
- 4 「ふるさと選手制度」を活用し参加を希望する選手は、予め所定の方法により「ふるさと」を登録しなければならない。なお、一度登録した「ふるさと」は変更できないものとする。
- 5 「ふるさと」から参加する選手は、国民スポーツ大会開催基準要項細則第 3 項－(1)－1)－③（国内移動選手の制限）に抵触しないものとする。
- 6 ふるさと選手制度の活用については、原則として、1 回につき 2 年以上連続とし、利用できる回数は 2 回までとする。
- 7 参加都道府県は「ふるさと選手」を所定の様式、方法により、当該大会実施要項で定めた参加申込締切期日までに、日本スポーツ協会宛に提出する。

別記2 「『一家転住等』に伴う特例措置」

転校への特例

- 1 次の内容をすべて満たすことにより、国内移動選手の制限（国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項－(1)－1－③）に抵触しないものとする。
 - (1) この特例の対象は、「少年種別」への参加者に限る。
 - (2) 本特例を受けることができるのは、一家転住等やむを得ない理由に限ることとする。
なお「一家転住等」とは概ね次のことを言う。
 - ア 親の転勤による一家の転居
 - イ 親の結婚、離婚による一家の転居
 - ウ 上記以外に、やむを得ない理由による一家の転居
 - (3) 転居した時点に応じて、以下の手続きを終了していること。
 - ア 本特例を受けようとする参加者は、下記2(1)の場合は転居元、下記2(2)の場合は転居先が属する都道府県スポーツ協会および都道府県競技団体に対し、その旨報告すること。
 - イ 報告を受けた都道府県スポーツ協会および都道府県競技団体は、下記2(1)の場合は転居先、下記2(2)の場合は転居元が属する都道府県スポーツ協会および都道府県競技団体に対し、その旨報告し了承を得ること。
- 2 本特例を受ける当該大会において、参加することができる都道府県は以下のとおりとする。
 - (1) 転居した時点において、以下に該当する場合は転居元が属する都道府県から参加することができる。
 - ア 転居先が属する都道府県の代表が既に決定している場合
 - イ 当該参加者が、転居元が属する都道府県の代表として既に決定している場合
 - ウ 当該参加者が、転居元が属する都道府県の代表選考過程にある場合
 - (2) 転居した時点において、以下に該当する場合は転居先が属する都道府県から参加することができる。
 - ア 転居元が属する都道府県において、当該大会における都道府県代表の選考が開始されていない場合

別記3 「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」

公益財団法人日本オリンピック委員会が実施する「JOC エリートアカデミー」に係る選手のうち、下記1に該当する者については、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項〔国民スポーツ大会開催基準要項第8項第1号および第10項第4号（参加資格および年齢基準等）〕および別記1「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」に関し、次の2～4の特例を適用する。

1 対象者

- (1) 少年種別年齢域の選手で JOC エリートアカデミーに在籍する者
- (2) 成年種別年齢域の選手で JOC エリートアカデミーを修了した者、または同アカデミーに在籍する者

2 少年種別年齢域の選手の所属都道府県

本特例第1項－(1)に定める少年種別年齢域の選手は、その所属都道府県について、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項－(1)－2)－②に定める「居住地を示す現住所」、「学校教育法第1条に規定する学校の所在地」、「勤務地」のほか、卒業小学校の所在地が属する都道府県を選択することができる。

なお、同アカデミーへの入校時において小学生であった場合には、入校する直前まで通学していた小学校の所在地が属する都道府県を選択することができる。

3 成年種別年齢域の選手の「ふるさと」

本特例第1項－(2)に定める成年種別年齢域の選手は、別記1「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」第2項に定める卒業小学校、卒業中学校または卒業高等学校のいずれかの所在地が属する都道府県のほか、同アカデミーでの入校時において小学生であった場合には、入校する直前まで通学していた小学校の所在地が属する都道府県を「ふるさと」とすることができる。

4 国内移動選手の制限に係る例外適用

本特例第1項－(1)に定める少年種別年齢域の選手が前回の大会（都道府県大会を含む）と異なる都道府県から参加する場合、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項－(1)－1)－③（国内移動選手の制限）に抵触しないものとする。

[注] 本特例第1項－(2)に定める成年種別年齢域の選手については、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項－(1)－1)－③（国内移動選手の制限）の規定に従い取り扱うものとする。

5 その他

中央競技団体が国際競技力向上施策として独自に実施するアカデミー事業については、当該中央競技団体からの申請を踏まえ、当該事業の内容が JOC エリートアカデミーに準拠し実施されていることが、公益財団法人日本オリンピック委員会により確認された場合に限り、当該事業を本特例の対象に加えることができる。

別記4 「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置」

我が国の競技力向上を支援する観点より、一定の競技力を有する選手に対して、「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置（以下「本特例」という。）」を下記のとおり定める。

1 特例の対象となる選手

本特例の対象となる選手は、下記の条件のいずれかを満たす者とする。

- (1) 第33回オリンピック競技大会（2024年・パリ）に参加した者。
- (2) 2025年4月30日時点で、下記のいずれかに該当し、各中央競技団体が本特例の対象として認めた者

ア JOC オリンピック強化指定選手

イ 各競技（種目）における国内ランキング上位10位以内の者

ウ 中央競技団体が定めた強化指定選手

※ 強化指定ランクについては、各競技における全日本選手権大会入賞レベル以上のカテゴリーを対象とする。

2 特例の内容

(1) 予選会の免除

本特例の対象となる選手については、都道府県予選会およびブロック大会を経ずに国民スポーツ大会本大会に参加することができるものとする。ただし、ブロック大会実施競技種目・種別においては、当該都道府県代表選手またはチームがブロック大会に参加し、本大会参加枠を獲得している場合とする。

(2) 資格要件（日数要件の緩和）

本特例の対象となる選手が所属都道府県として「居住地を示す現住所」または「勤務地」を選択する場合は、日数に関する要件を定めないこととし、以下のとおりとする。

ア 居住地を示す現住所

次の要件をいずれも満たすものとする。

- (ア) 2025年4月30日以前から大会終了時（2025年10月8日）まで引き続き、住民票記載の住所に存する都道府県において生活している実態があり、当該都道府県以外（海外を含む）において生活している実態がないこと。

なお、生活の実態については、下記要件により判断する。

- a 自ら所有する住居、または自らの名義で住居を賃借していること
- b 当該住居に生計を一にする家族と共に住んでいること
- c 当該住居の水道光熱費など費用を自ら負担していること
- d 当該住居に主要な家財道具が存すること

- (イ) 合宿、試合等により当該都道府県外で活動を行う場合、当該都道府県を移動の起点としていること。

イ 勤務地

次の要件をいずれも満たすものとする。

- (ア) 2025年4月30日以前から大会終了時（2025年10月8日）まで引き続き、雇用主と雇用契約を締結した上で、当該都道府県内に存する雇用主の会社や事業所等に現実に通勤し、勤務していること。
- (イ) 当該都道府県内で、競技普及活動等の事業に参加すること。

3 国内移動選手の制限

本特例の対象となる選手の国内移動選手の制限については、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項－(1)－1)－③のとおりとする。

別記5 「東日本大震災に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」

1 特例の対象となる被災地域都道府県

震災による被害状況および影響等を総合的に勘案し、青森県、岩手県、宮城県、福島県、茨城県、千葉県の6県を本特例の適用対象となる被災地域都道府県（以下「特例対象県」という。）とする。

なお、特例対象県以外の都道府県において対応が必要となった場合は、個別に取り扱うこととする。

2 特例の内容

(1) 特例対象県を所属都道府県とする場合の要件緩和

以下の選手および監督については、「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」の各要件を満たしていなくとも、当該特例対象県から参加することができる。

【特例の対象者】

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県における「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」の各要件を満たすことができなくなった者。

ただし、以下の事項のいずれにも該当していること。

ア 2011年3月11日（震災発生時）時点において、当該特例対象県内に居住または勤務していた者。もしくは当該特例対象県内の「学校教育法」第1条に規定する学校に在籍していた者であること。

イ 災害が発生しなかったと仮定した場合、2025年4月30日以前から大会終了時（2025年10月8日）まで継続して当該特例対象県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」とする要件を満たしていたと合理的に推測される者であること。

(2) 避難等による移動先の都道府県を所属都道府県とする場合の要件緩和

ア 被災地域からの避難等により、当該特例対象県と異なる都道府県に移動した以下の選手および監督については、移動先の都道府県から参加することができる。

なお、この場合、2023年開催の特別大会または第78回大会に当該特例対象県から参加していても、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項－(1)－1)－③（国内移動選手の制限）には抵触しないものとする。

【特例の対象者】

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県から移動せざるを得なかった者。

ただし、以下の事項のいずれにも該当していること。

(ア) 2011年3月11日時点において、当該特例対象県内に居住または勤務していた者。もしくは当該特例対象県内の「学校教育法」第1条に規定する学校に在籍していた者であること。

(イ) 移動先の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」とする要件を満たしていること。

なお、移動が生じた時期が2025年4月30日以降の場合は、移動先の都道府県の予選会開始までに要件を満たしていることとする。

[注] 「居住地を示す現住所」および「学校所在地」として参加を希望する者について

は、当該自治体への住所に関する届出または学籍に係る要件を満たしていなくとも、それに準ずる公的な証明書類を提出でき、かつ移動先の都道府県に居住あるいは通学している実態を有していると日本スポーツ協会が認めた場合、移動先の都道府県から出場することができる。

イ 本項アを適用して避難等による移動先の都道府県から第 78 回大会または第 79 回大会に参加した者が、第 80 回大会において、以下のような震災にかかる理由により再度都道府県を移動して参加する場合は、国民スポーツ大会開催基準要項細則第 3 項-(1)-1)-③（国内移動選手の制限）には抵触しないものとする。

＜例＞ ○ 避難先を離れ、当該特例対象県に戻る場合

○ 避難先を離れ、他の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」とする場合

○ 他の都道府県に避難先を移す場合

(3) 避難等による移動先の属する都道府県において学校を卒業した場合の「ふるさと」選択要件の緩和

避難等による移動先の属する都道府県において小学校、中学校または高等学校を卒業した者が、成年種別年齢域に達した際、「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」を活用して参加する場合、以下のいずれかを「ふるさと」として登録することができる。

ア 卒業小学校、卒業中学校または卒業高等学校の所在地

イ 災害の発生した時点で在籍していた小学校、中学校または高等学校の所在地

なお、本特例を適用して上記イの学校所在地を「ふるさと」として登録した場合についても、卒業小学校、卒業中学校または卒業高等学校の所在地を「ふるさと」とする場合と同様、一度登録した「ふるさと」は変更できない。

【特例の対象者】

2011年度から2012年度（小学校は2015年度）までに、避難等による移動先の属する都道府県において小学校、中学校または高等学校を卒業した者。

別記6 「能登半島地震に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」

1 特例の対象となる被災地域都道府県

震災による被害状況および影響等を総合的に勘案し、新潟県、富山県、石川県、福井県の4県を本特例の適用対象となる被災地域都道府県（以下「特例対象県」という。）とする。

なお、特例対象県以外の都道府県において対応が必要となった場合は、個別に取り扱うこととする。

2 特例の内容

(1) 特例対象県を所属都道府県とする場合の要件緩和

以下の選手および監督については、「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」の各要件を満たしていなくとも、当該特例対象県から参加することができる。

【特例の対象者】

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県における「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」の各要件を満たすことができなくなった者。

ただし、以下の事項のいずれにも該当していること。

ア 2024年1月1日（震災発生時）時点において、当該特例対象県内に居住または勤務していた者。もしくは当該特例対象県内の「学校教育法」第1条に規定する学校に在籍していた者であること。

イ 災害が発生しなかったと仮定した場合、2025年4月30日以前から当該大会終了時（2025年10月8日）まで継続して当該特例対象県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」とする要件を満たしていたと合理的に推測される者であること。

(2) 避難等による移動先の都道府県を所属都道府県とする場合の要件緩和

ア 被災地域からの避難等により、当該特例対象県と異なる都道府県に移動した以下の選手および監督については、移動先の都道府県から参加することができる。

なお、この場合、2023年開催の特別大会または第78回大会に、当該特例対象県から参加していても、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項－(1)－1)－③（国内移動選手の制限）には抵触しないものとする。

【特例の対象者】

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県から移動せざるを得なかった者。

ただし、以下の事項のいずれにも該当していること。

(ア) 2024年1月1日時点において、当該特例対象県内に居住または勤務していた者。もしくは当該特例対象県内の「学校教育法」第1条に規定する学校に在籍していた者であること。

(イ) 移動先の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」とする要件を満たしていること。

なお、移動が生じた時期が2025年4月30日以降の場合は、移動先の都道府県の予選会開始までに要件を満たしていることとする。

〔注〕 「居住地を示す現住所」および「学校所在地」として参加を希望する者については、当該自治体への住所に関する届出または学籍に係る要件を満たしていなくとも、それに準ずる公的な証明書類を提出でき、かつ移動先の都道府県に居住あるいは通学して

いる実態を有していると日本スポーツ協会が認めた場合、移動先の都道府県から出場することができる。

イ 本項アを適用して避難等による移動先の都道府県から第 78 回大会または第 79 回大会に参加した者が、第 80 回大会において、以下のような震災に係る理由により再度都道府県を移動して参加する場合は、国民スポーツ大会開催基準要項細則第 3 項－(1)－1)－③（国内移動選手の制限）には抵触しないものとする。

- ＜例＞
- 避難先を離れ、当該特例対象県に戻る場合
 - 避難先を離れ、他の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」とする場合
 - 他の都道府県に避難先を移す場合

(3) 避難等による移動先の属する都道府県において学校を卒業した場合の「ふるさと」選択要件の緩和

避難等による移動先の属する都道府県において小学校、中学校または高等学校を卒業した者が、成年種別年齢域に達した際、「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」を活用して参加する場合、以下のいずれかを「ふるさと」として登録することができる。

ア 卒業小学校、卒業中学校または卒業高等学校の所在地

イ 災害の発生した時点で在籍していた小学校、中学校または高等学校の所在地

なお、本特例を適用して上記イの学校所在地を「ふるさと」として登録した場合についても、卒業小学校、卒業中学校または卒業高等学校の所在地を「ふるさと」とする場合と同様、一度登録した「ふるさと」は変更できない。

【特例の対象者】

2024年度から2025年度（小学校は2028年度）までに、避難等による移動先の属する都道府県において小学校、中学校または高等学校を卒業した者。

実 施 要 項

1 期 日 2025 年 9 月 28 日（日）から 10 月 1 日（水）まで（4 日間）

種 別	9 月 28 日（日）	9 月 29 日（月）	9 月 30 日（火）	10 月 1 日（水）
成年男子	1 回戦	2 回 戦	準々決勝・準決勝	3 位決定戦・決勝
成年女子		1 回 戦	準々決勝・準決勝	3 位決定戦・決勝
少年男子		1 回 戦	準々決勝・準決勝	3 位決定戦・決勝
少年女子	1・2 回戦	3 回 戦	準々決勝・準決勝	3 位決定戦・決勝

2 会 場 大津市 滋賀ダイハツアリーナ（滋賀アリーナ）

3 種別及び参加人員

種 別	監 督	選 手	参加都道府県	小 計	合 計(人)
成年男子	1	3	32	128	444
成年女子	1	3	16	64	
少年男子	1	3	16	64	
少年女子	1	3	47	188	

※ 成年選手は監督を兼任することができる。

4 競技上の規程及び方法

- (1) 2025 年度の公益財団法人日本バドミントン協会競技規則、同大会運営規程及び同公認審判員規程による。
- (2) 各種別とも 1 複 2 単による都道府県対抗トーナメント方式とし、うち 2 試合を得た方を勝ちとし、勝敗決定後の試合は打ち切る。また、3 位決定戦を行う。
- (3) 組合せは、公益財団法人日本バドミントン協会指名のレフェリー（競技役員長）もしくは、デピュティレフェリー（競技審判部長）の指示及び公益財団法人日本スポーツ協会国スポ委員の立会いの下、主管団体役員との間で厳正に執り行う。

5 予選方法

ブロック大会を通過したチームが本大会に出場する。（少年女子は全都道府県が参加）
ブロック大会区分及び選出チーム数は、下表のとおりとする。

ブロック名	都 道 府 県 名	成年男子	成年女子	少年男子
北 海 道	北海道	1	1	1
東 北	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島	4	2	2
関 東	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨	6	2	2
北 信 越	新潟、長野、富山、石川、福井	3	2	2
東 海	静岡、愛知、三重、岐阜	2	1	1
近 畿	京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山	4	2	2
中 国	鳥取、島根、岡山、広島、山口	3	2	2
四 国	香川、徳島、愛媛、高知	2	1	1

九 州	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄	6	2	2
開 催 県	滋賀	1	1	1
計		32	16	16

6 参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準

総則 5 に定めるところによる。

- (1) 少年種別に参加できる選手は、2010 年 4 月 2 日から 2011 年 4 月 1 日までの間に生まれた中学 3 年生を含むものとする。
- (2) 監督は、公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく公認バドミントンコーチ 1、公認バドミントンコーチ 2、公認バドミントンコーチ 3、公認バドミントンコーチ 4 の有資格者であることとする。
- (3) 参加選手は、全期間出場できるものとする。

7 総合成績決定方法

男女総合成績（天皇杯得点）及び女子総合成績（皇后杯得点）は、競技得点と参加得点の合計とし、その得点の多い都道府県順に第 1 位から第 8 位までを決定する。

ただし、同点の場合は、その順位を共有し、次の順位を欠位とする。

(1) 競技得点

天皇杯対象種別	皇后杯対象種別	競 技 得 点
成 年 男 子 成 年 女 子 少 年 男 子 少 年 女 子	成 年 女 子 少 年 女 子	各種別とも 1 位 24 点、2 位 21 点、3 位 18 点、4 位 15 点、5 位（4 チーム）各 7.5 点の競技得点を与える。

(2) 参加得点

大会（ブロック大会を含む）に参加した都道府県に 10 点を与える。ただし、ブロック大会で本大会の出場権を獲得しながら、本大会に参加しなかった場合は与えない。

8 表 彰

- (1) 男女総合成績及び女子総合成績第 1 位から第 8 位までの都道府県に、表彰状を授与する。
- (2) 男女総合成績第 1 位の都道府県に、大会会長トロフィーを授与する。
- (3) 各種別の第 1 位から第 5 位（4 チーム）までに、賞状を授与する。

9 参加申込み方法

- (1) 所定の Web ページ(国民スポーツ大会参加申込システム)へアクセスし、必要項目を入力の上、所属都道府県スポーツ協会を通じて、2025 年 9 月 4 日（木）までに申込み手続きを完了すること。
- (2) 締切期限以降は所定の Web ページ(国民スポーツ大会参加申込システム)へアクセスできなくなるので、締切期限を厳守すること。
- (3) 参加申込み締切後の選手変更は、疾病、傷害、一親等内の親族の弔事などの特別な事情の場合のみ認めるものとし、その場合は、下記のア、イ、ウの事務局宛に文書で届け出なければならない。疾病、傷害などによる変更の場合は医師の診断書の添付が必要となる。また、監督変更については正当な理由がある場合は認められるが、選手変更と同様に下記のア、イ、

ウの事務局宛に文書で届けなければならない。その場合、監督交代の理由書の添付が必要となる。ただし、いずれの文書の提出も監督会議開催前までとする。

ア 〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE
公益財団法人日本バドミントン協会
TEL 03-6434-5141 FAX 03-6434-7715

イ 〒520-0807 滋賀県大津市松本一丁目2番1号
わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ実行委員会事務局
(滋賀県国スポ・障スポ大会局 競技運営室 競技第一係)
TEL 077-528-3324 FAX 077-528-4836
MAIL kokusupo-sanka@pref.shiga.lg.jp

ウ 〒520-0805 滋賀県大津市石場10番53号
わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ大津市実行委員会事務局
(大津市国スポ・障スポ大会局 大会競技課)
TEL 077-528-0310・0320 FAX 077-522-7766
MAIL koku-spo.badminton@city.otsu.lg.jp

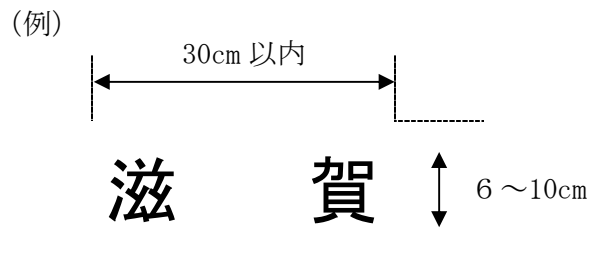
なお、イ、ウについては原則メールにて提出とする。また、公益財団法人日本スポーツ協会に対しては、大会終了後、別途、所定の手続きにより参加申込情報を修正すること。

10 参加上の注意

競技に際しては、上衣背面中央に縦6～10cm、横30cm以内の範囲に都道府県名を明示すること。文字は、上衣背面の都道府県名明示部分の色と明確に区別できる文字色の漢字とする。

また、ゼッケンを使用する場合には、縦15cm、横30cmを基準とし、必ず四隅を固定すること。

なお、文字列の大きさについては公益財団法人日本バドミントン協会大会運営規程第24条による。



11 その他

(1) 組合せ抽選会

日 時 2025年9月8日(月) 午後1時

場 所 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE

〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE

TEL 03-6434-5141 FAX 03-6434-7715

(2) 監督会議

日 時 2025年9月27日(土) 午後2時30分

場 所 滋賀ダイハツアリーナ(滋賀アリーナ)

〒520-2164 滋賀県大津市上田上中野町779番地

TEL 077-545-0108 FAX 077-572-5376

(3) 審判会議

日 時 2025 年 9 月 27 日（土） 午後 1 時
場 所 滋賀ダイハツアリーナ(滋賀アリーナ)
〒520-2164 滋賀県大津市上田上中野町 779 番地
TEL 077-545-0108 FAX 077-572-5376

(4) 開始式

日 時 2025 年 9 月 27 日（土） 午後 4 時
場 所 滋賀ダイハツアリーナ(滋賀アリーナ)
〒520-2164 滋賀県大津市上田上中野町 779 番地
TEL 077-545-0108 FAX 077-572-5376

(5) 表彰式

日 時 2025 年 10 月 1 日（水） 午後 2 時 30 分
場 所 滋賀ダイハツアリーナ(滋賀アリーナ)
〒520-2164 滋賀県大津市上田上中野町 779 番地
TEL 077-545-0108 FAX 077-572-5376

開始式次第

- 1 日 程 2025年9月27日（土） 16時00分
- 2 場 所 滋賀ダイハツアリーナ メインアリーナ
- 3 式次第

順序	次第	予定時刻
	招集放送	15 : 45
	出席者・関係役員着席開始	15 : 50
	式典準備・着席完了	15 : 55
1	開式通告	16 : 00
2	競技会開始宣言	16 : 01
3	国旗・諸旗儀礼	16 : 04
4	大会会長トロフィー返還	16 : 06
5	競技会会長あいさつ	16 : 08
6	大津市長歓迎のことば	16 : 11
7	滋賀県バドミントン協会会長歓迎のことば	16 : 14
8	来賓紹介	16 : 17
9	感謝状贈呈	16 : 20
10	閉式通告	16 : 30
	選手団解散	16 : 31

表彰式次第

1 日 程 2025年10月1日（水） 14時30分

2 場 所 滋賀ダイハツアリーナ メインアリーナ

3 式次第

順序	次第	予定時刻
	競技（決勝戦）終了	13：30
	選手団集合・関係役員整列完了	14：25
1	開式通告	14：30
2	成績発表	14：31
3	表彰	14：34
4	競技会会長あいさつ	15：09
5	歓送のことば	15：12
6	競技会終了宣言	15：15
7	閉式通告	15：16
	選手団・関係役員解散	15：17

競 技 日 程

審 判 会 議	9 月 27 日 (土) 13時00分	滋賀ダイハツアリーナ (滋賀アリーナ)
監 督 会 議	9 月 27 日 (土) 14時30分	滋賀ダイハツアリーナ (滋賀アリーナ)
開 始 式	9 月 27 日 (土) 16時00分	滋賀ダイハツアリーナ (滋賀アリーナ)

	9 月 28 日 (日)	9 月 29 日 (月)	9 月 30 日 (火)	10 月 1 日 (水)
滋 賀 ダ イ ハ ツ ア リ ー ナ (滋 賀 ア リ ー ナ)	9:00			
	9:30			
	10:00	少年男子 (B) 1 回戦 (8 試合) 成年女子 (W) 1 回戦 (2 試合) 9:30～	少年男子 (B) 準々決勝 (4 試合) 成年女子 (W) 準々決勝 (4 試合) 9:30～	成年男子 (M) 成年女子 (W) 少年男子 (B) 少年女子 (G) 3 位決定戦 10:00～
	10:30			
	11:00	少年女子 (G) 1 回戦 (5 試合) 成年男子 (M) 1 回戦 (5 試合) 10:45～	成年女子 (W) 1 回戦 (6 試合) 成年男子 (M) 2 回戦 (4 試合) 11:00～	成年男子 (M) 成年女子 (W) 少年男子 (B) 少年女子 (G) 決勝戦 11:00～
	11:30		少年女子 (G) 準々決勝 (4 試合) 成年男子 (M) 準々決勝 (4 試合) 11:15～	
	12:00	成年男子 (M) 1 回戦 (10 試合) 12:00～		
	12:30			
	13:00	成年男子 (M) 2 回戦 (4 試合) 少年女子 (G) 3 回戦 (6 試合) 13:30～	少年男子 (B) 準決勝 (2 試合) 成年女子 (W) 準決勝 (2 試合) 13:00～	
	13:30	成年男子 (M) 1 回戦 (1 試合) 少年女子 (G) 2 回戦 (9 試合) 13:15～		
	14:00	少年女子 (G) 3 回戦 (2 試合) 15:00～	少年女子 (G) 準決勝 (2 試合) 成年男子 (M) 準決勝 (2 試合) 14:45～	
	14:30			
	15:00			
	15:30			
	16:00			
	16:30			
	17:00			
	17:30			
	18:00			

表 彰 式	10 月 1 日 (水) 14時30分	滋賀ダイハツアリーナ (滋賀アリーナ)
-------	---------------------	---------------------

※ Mは成年男子、Wは成年女子、Bは少年男子、Gは少年女子

タイムテーブル

競技会場		滋賀ダイハツアリーナ（滋賀アリーナ）									
月 日	コート 番号 開始時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
第 1 日目 9 月 28 日 (日)	9:30	G 1	G 2	G 3	G 4	G 5	G 6	G 7	G 8	G 9	G 10
	10:45	G11~15 M 1~5									
	12:00	M 6~M15									
	13:15	M16 G16~G24									
	14:30	G25~G31									
第 2 日目 9 月 29 日 (月)	9:30	B 1	B 2	B 3	B 4	B 5	B 6	B 7	B 8	W 1	W 2
	11:00	W 3~W 8 M17~M20									
	13:30	M21~M24 G32~G37									
	15:00	G38~G39									
第 3 日目 9 月 30 日 (火)	9:30	B 9	B 10	B 11	B 12		W 9	W10	W11	W12	
	11:15	M25~M28					G40~G43				
	13:00	B 13~B 14					W13~W14				
	14:45	M29~M30					G44~G45				
第 4 日目 10 月 1 日 (水)	10:00	<u>M31</u>		<u>W15</u>				<u>B15</u>		<u>G46</u>	
	11:00		<div>M32</div>		<div>W16</div>		<div>B16</div>		<div>G47</div>		
	14:30	表 彰 式									

* Mは成年男子、Wは成年女子、Bは少年男子、Gは少女女子

* は決勝戦、 は 3 位決定戦

* 第 1 日目、第 2 日目、第 3 日目の 2 段目以降については流し込み方式で進行します。

【 少年女子 (G) 】

–50–

バドミントン競技 組合せ表

【 成 年 男 子 (M) 】

都道府県名		9月28日 1 回戦	9月29日 2 回戦	9月30日 準々決勝 準決勝		10月1日 決勝	9月30日 準決勝 準々決勝		9月29日 2 回戦	9月28日 1 回戦	都道府県名
東 京 都	1	1 10:45									17 滋 賀 県
宮 城 県	2		17 11:00						21 13:30	9 12:00	18 福 岡 県
長 崎 県	3	2 10:45								10 12:00	19 熊 本 県
新 潟 県	4			25 11:15				27 11:15			20 北 海 道
石 川 県	5	3 10:45								11 12:00	21 山 梨 県
青 森 県	6		18 11:00					22 13:30			22 山 口 県
岡 山 県	7	4 10:45								12 12:00	23 秋 田 県
奈 良 県	8			29 14:45		32 11:00	30 14:45				24 佐 賀 県
大 阪 府	9	5 10:45									25 富 山 県
栃 木 県	10		19 11:00						23 13:30	13 12:00	26 千 葉 県
宮 崎 県	11	6 12:00						28 11:15		14 12:00	27 福 島 県
愛 知 県	12			26 11:15							28 神 奈 川 県
鳥 取 県	13	7 12:00									29 京 都 府
鹿 児 島 県	14		20 11:00						24 13:30	15 12:00	30 愛 媛 県
香 川 県	15	8 12:00									31 兵 庫 県
岐 阜 県	16					3 位 決 定 戦 31 10:00				16 13:15	32 埼 玉 県

バドミントン競技 組合せ表

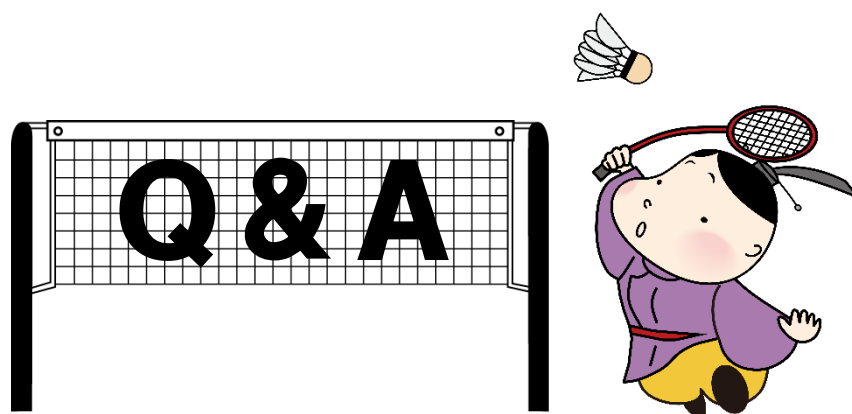
【 成 年 女 子 (W) 】

都道府県名		9月29日	9月30日		10月1日	9月30日		9月29日	都道府県名			
		1 回戦	準々決勝	準決勝	決勝	準決勝	準々決勝	1 回戦				
熊 本 県	1	1 9:30	9 9:30	13 13:00	16 11:00	14 13:00	11 9:30	5	9 岐 阜 県			
北 海 道	2							10 秋 田 県				
長 崎 県	3	2 9:30					6 11:00	11 滋 賀 県				
富 山 県	4							12 香 川 県				
島 根 県	5	3 11:00	10 9:30			7 11:00	13 茨 城 県					
石 川 県	6						14 京 都 府					
東 京 都	7	4 11:00				8 11:00	15 兵 庫 県					
山 口 県	8						16 福 島 県					
						3 位 決 定 戦						
						15 10:00						

【 少 年 男 子 (B) 】

都道府県名		9月29日	9月30日		10月1日	9月30日		9月29日	都道府県名					
		1 回戦	準々決勝	準決勝	決勝	準決勝	準々決勝	1 回戦						
福 島 県	1	1 9:30	9 9:30	13 13:00	16 11:00	14 13:00	11 9:30	5 9:30	9 大 阪 府					
茨 城 県	2							10 愛 知 県						
鳥 取 県	3	2 9:30					10 9:30	6 9:30	11 新 潟 県					
滋 賀 県	4								12 長 崎 県					
富 山 県	5	3 9:30	13 13:00					7 9:30	13 青 森 県					
愛 媛 県	6								14 兵 庫 県					
北 海 道	7	4 9:30					12 9:30	8 9:30	15 岡 山 県					
福 岡 県	8								16 埼 玉 県					
								3 位 決 定 戦						
								15 10:00						

バドミントンを楽しく見るために



一般的な質問

Q. バドミントンとは、どんなスポーツですか？

A. ネットを挟んでラケットでシャトル（羽根）を打ち合うスポーツです。決められた相手コート内にシャトルを落とすか、相手がフォルト（反則）を取られた場合、点数が入ります。

試合には、1対1のシングルス（単）と2対2のダブルス（複）があり、ダブルスには、男性同士、女性同士でペアを組むものと、男女でペアを組むミックスダブルスがあります。

競技としてのバドミントンは、緩急を使い分ける様々なショットやフットワーク、対戦相手との駆け引き、ダブルスの場合、ペアとのコンビネーションなど多岐にわたる技術を必要とし、パワーや瞬発力とともに持久力の優劣も勝負を左右する、複雑で非常に激しいスポーツです。

Q. シャトル（羽根）とはどんなものですか？

A. コルクの台にガチョウまたはアヒルの羽根を16枚取り付け付けています。重さは5g程しかありません。

Q. ラケットの重さや長さはどれくらいですか？

A. 規定ではフレームの全長が68cm以内、幅23cm以内と決められています。重さは80～86gが主流で、材質はカーボンやチタン等が使われています。

プレーヤーはそれぞれ自分に合わせてラケットを選んだり、ストリング（ガット）の張りの強さを変えたりして使っています。

Q. 打たれた時のシャトルのスピードはどれ位ですか？

A. 全ての球技の中で打球の初速が最も速いことで、ギネスブックに認定されています。下向きに強く打つスマッシュのとき、世界の一流選手の初速は400kmを超え、世界記録はなんと493km（2013年7月28日ギネス世界記録認定）にもなり、その速度は瞬間的には新幹線より速いスピードです。

Q. 新幹線より速いシャトルをどうして打ち返すことができるのですか？

A. ラケットから離れる時の速度は速いのですが、シャトルは羽根がついているので空気抵抗を受けやすいため、打球がネットを越えてある距離になると減速します。初速と終速の差が一番大きいスポーツでもあります。また、慣れてくると飛んでくるシャトルのコースを予測できるようになります。

Q. どうすれば得点（ポイント）になりますか？

A. 試合は3ゲーム行い（1ゲーム21点）、2ゲーム先取した方が勝ちとなります。

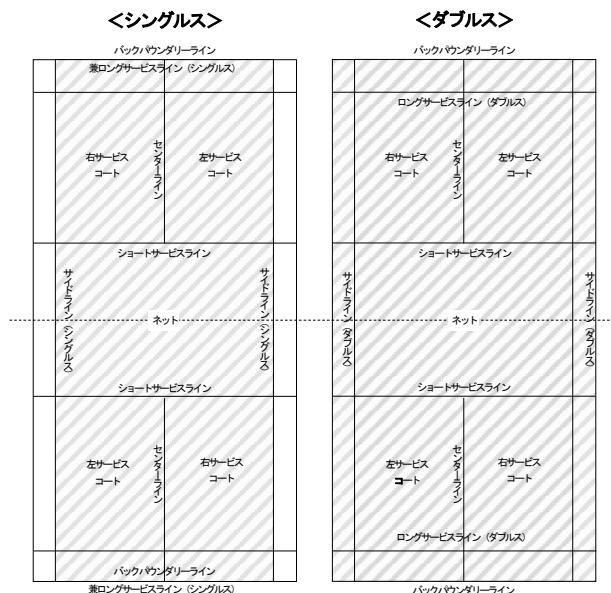
また、両者が20点になった場合は、その後最初に2点差をつけた方、もしくは先に30点に達した方が勝ちとなります。

Q. ラリーポイント制とは何ですか？

A. サービス権の有無にかかわらず、ラリーに勝ったときに得点になるのがラリーポイント制です。

Q. シングルスとダブルスでコートの使い方は違うのですか？

A. 下の図のとおりロングサービスラインやサイドラインの位置が異なります。斜線で塗りつぶしている部分が使用する範囲になります。



国スポに特化した質問

Q. 種別はどのようなものがありますか？

A. 成年男子・成年女子・少年男子・少年女子の4種別があります。

Q. 参加都道府県はどうやって決めるのですか？

A. ブロック大会を通過したチームが国スポに出場できます。

第79回国民スポーツ大会では少年女子は47都道府県全てが出場できます。

成年男子、成年女子、少年男子、は全国を9ブロックに分けて、各ブロック大会を勝ち抜いた都道府県が出場でき、成年女子と少年男子は開催県（滋賀県）を含む16チーム、成年男子は開催県（滋賀県）を含む32チームの参加となります。

Q. 試合はどのようにして行いますか？

A. すべて都道府県対抗の団体戦トーナメント方式で行います。

試合は、ダブルス（複）ーシングルス（単）ーシングルス（単）の順で行い、先に2勝したチームが勝ちとなります。なお、勝敗決定後のゲームは行いません。

Q. 天皇杯得点・皇后杯得点は、どのようにして決まるのですか？

A. 得点には、競技得点と参加得点があります。競技得点は、各種別ともに1位24点、2位21点、3位18点、4位15点、5位（4チーム）各7.5点です。参加得点は、大会（ブロック大会を含む）に参加した都道府県に10点を与えるものです。ただし、ブロック大会で本大会の出場権を獲得しながら、本大会に参加しなかった場合は与えられません。

男女総合成績を競う天皇杯の対象種別は全種別となり、女子総合成績を競う皇后杯の対象種別は成年女子・少年女子になります。

【二次元コード】

○スコア配信（BIRD SCORE）

<https://www.birdscore.live/web/shiga2025-badminton/>



都道府県別参加人数一覧表

ブ ロ ッ ク	都 道 府 県	監 督	成 年 男 子	成 年 女 子	少 年 男 子	少 年 女 子	計	ブ ロ ッ ク	都 道 府 県	監 督	成 年 男 子	成 年 女 子	少 年 男 子	少 年 女 子	計
北 海 道	北 海 道	4	3	3	3	3	16	近 畿	滋 賀 県	4	3	3	3	3	16
									京 都 府	3	3	3		3	12
東 北	青 森 県	3	3		3	3	12		大 阪 府	3	3		3	3	12
	岩 手 県	1				3	4		兵 庫 県	4	3	3	3	3	16
	宮 城 県	2	3			3	8		奈 良 県	2	3			3	8
	秋 田 県	3	3	3		3	12		和 歌 山 県	1				3	4
	山 形 県	1				3	4		鳥 取 県	3	3		3	3	12
	福 島 県	4	3	3	3	3	16		島 根 県	2		3		3	8
関 東	茨 城 県	3		3	3	3	12	中 国	岡 山 県	3	3		3	3	12
	栃 木 県	2	3			3	8		広 島 県	1				3	4
	群 馬 県	1				3	4		山 口 県	3	3	3		3	12
	埼 玉 県	3	3		3	3	12		香 川 県	3	3	3		3	12
	千 葉 県	2	3			3	8	四 国	徳 島 県	1				3	4
	東 京 都	3	3	3		3	12		愛 媛 県	3	3		3	3	12
	神 奈 川 県	2	3			3	8		高 知 県	1				3	4
	山 梨 県	2	3			3	8		福 岡 県	3	3		3	3	12
北 信 越	新 潟 県	3	3		3	3	12	九 州	佐 賀 県	2	3			3	8
	長 野 県	1				3	4		長 崎 県	4	3	3	3	3	16
	富 山 県	4	3	3	3	3	16		熊 本 県	3	3	3		3	12
	石 川 県	3	3	3		3	12		大 分 県	1				3	4
	福 井 県	1				3	4		宮 崎 県	2	3			3	8
									鹿 児 島 県	2	3			3	8
東 海	静 岡 県	1				3	4		沖 縄 県	1				3	4
	愛 知 県	3	3		3	3	12								
	三 重 県	1				3	4		総 計	111	96	48	48	141	444
	岐 阜 県	3	3	3		3	12								

都道府県別出場監督・選手一覧 【少年女子】

都道府県	監督・選手名		勤務先・学校名
北海道	監督	竹内 雅明	北翔大学（教）
	選手	藤川 千愛	北海道旭川商業高等学校
		山本 希乃花	北海道旭川商業高等学校
		豊嶋 彩衣心	北海道旭川商業高等学校
青森県	監督	藤田 真人	青森山田高等学校（教）
	選手	東谷 悠妃	青森山田高等学校
		浅野 真央	青森山田高等学校
		徳永 結妃	青森山田高等学校
岩手県	監督	渡邊 清一	岩手県立花北青雲高等学校（教）
	選手	菅原 光	岩手県立花北青雲高等学校
		麥倉 花	岩手県立花北青雲高等学校
		寺林 琴実	岩手県立花北青雲高等学校
宮城県	監督	崎原 太陽	聖ウルスラ学院英智高等学校（教）
	選手	千葉 瑠愛	常盤木学園高等学校
		木村 ひなの	聖ウルスラ学院英智高等学校
		山辺 彩由里	聖ウルスラ学院英智高等学校
秋田県	監督	原田 利雄	株式会社北都銀行
	選手	児玉 莉愛	秋田県立能代松陽高等学校
		佐藤 俐緒	秋田県立秋田北高等学校
		鈴木 由藍	秋田県立秋田北高等学校
山形県	監督	丸山 勝美	鶴岡市民健康スポーツクラブ
	選手	上野 優花	新庄東高等学校
		池田 花保	山形県立致道館高等学校
		鈴木 蘭音	新庄東高等学校
福島県	監督	今野 菜摘	福島県立ふたば未来学園高等学校（教）
	選手	畠山 想来	福島県立ふたば未来学園高等学校
		山北 莉緒	福島県立ふたば未来学園高等学校
		芳賀 凜歩	福島県立ふたば未来学園高等学校
茨城県	監督	羽生 美恵	茨城県バドミントン協会
	選手	樋口 丹里	常総学院高等学校
		富田 桃愛	常総学院高等学校
		高玉 幸佳	常総学院高等学校
栃木県	監督	遠藤 敦史	作新学院高等学校（教）
	選手	山下 真依	作新学院高等学校
		川村 令奈	作新学院高等学校
		鈴木 彩乃	作新学院高等学校
群馬県	監督	加賀美 隼人	高崎商科大学附属高等学校（教）
	選手	相川 和葉	高崎商科大学附属高等学校
		磯野 友香	高崎商科大学附属高等学校
		関口 心椰	伊勢崎市立あずま中学校
埼玉県	監督	滝内 亮	埼玉栄高等学校（教）
	選手	阿部 果凛	埼玉栄高等学校
		河村 実里	埼玉栄高等学校
		星野 結衣	埼玉栄高等学校
千葉県	監督	有川 友理奈	西武台千葉高校（教）
	選手	田中 ひよ莉	西武台千葉高校
		生井 穂乃果	西武台千葉高校
		沼田 妹子	西武台千葉高校
東京都	監督	関根 忠	淑徳巣鴨高等学校（教）
	選手	高橋 乃愛	淑徳巣鴨高等学校
		江頭 柚風	淑徳巣鴨高等学校
		佐藤 帆志乃	淑徳巣鴨高等学校
神奈川県	監督	齋藤 嘉貴	川崎市立川崎総合科学高等学校（教）
	選手	井澤 璃音	川崎市立川崎総合科学高等学校
		飯島 槇	川崎市立川崎総合科学高等学校
		高野 真衣	横浜高等学校
山梨県	監督	菅澤 伸哉	甲斐清和高等学校（教）
	選手	阿部 唯愛来	甲斐清和高等学校
		竹本 月渚	甲斐清和高等学校
		東里 桜	山梨学院高等学校
新潟県	監督	吉田 亜土夢	新潟青陵高等学校（教）
	選手	渡邊 暖花	新潟青陵高等学校
		木下 梨	開志国際高等学校
		瀬野 ひばり	開志国際高等学校

都道府県別出場監督・選手一覧 【少年女子】

都道府県	監督・選手名		勤務先・学校名
長野県	監督	須賀 健太郎	文化学園長野高等学校（教）
	選手	光 沢 真 桜	文化学園長野高等学校
		青木 りりか	蘇南高等学校
		下 島 結 羽	蘇南高等学校
富山県	監督	河 合 昭 博	富山国際大学付属高等学校（職）
	選手	森 さ くら	富山国際大学付属高等学校
		若田 このみ	富山国際大学付属高等学校
		安 村 紗 来	富山国際大学付属高等学校
石川県	監督	車 浩 明	石川県立金沢向陽高等学校（教）
	選手	榮 代 結 子	石川県立金沢向陽高等学校
		澤 村 実 玖	石川県立金沢向陽高等学校
		浦 上 蒼 彩	金沢学院大学附属高等学校
福井県	監督	大 石 宏	福井工業大学附属福井高等学校（教）
	選手	浦 野 唯 愛	福井工業大学附属福井高等学校
		寺 尾 美 咲	福井工業大学附属福井高等学校
		山 田 奈 南	福井工業大学附属福井高等学校
静岡県	監督	河 野 洋 平	星陵高等学校（教）
	選手	佐々木 美羽	加藤学園高等学校
		勝 又 咲 陽	加藤学園高等学校
		村 井 怜 未	星陵高等学校
愛知県	監督	菅 野 俊 助	名古屋経済大学市邨高等学校（教）
	選手	伊藤 菜央加	名古屋経済大学市邨高等学校
		稲 垣 凜	名古屋経済大学市邨高等学校
		馬場 こころ	岡崎城西高等学校
三重県	監督	槇 野 貴 行	皇學館高等学校（職）
	選手	稲 吉 礼 有	皇學館高等学校
		世古口 来海	皇學館高等学校
		相 原 乙 芭	四日市市立南中学校
岐阜県	監督	黒 田 匠 馬	岐阜県立岐阜商業高等学校（教）
	選手	中山 舞悠香	岐阜県立岐阜商業高等学校
		井 上 梨 海	岐阜県立岐阜商業高等学校
		松 永 紗 南	池田町立池田中学校
都道府県	監督・選手名		勤務先・学校名
滋賀県	監督	鈴 木 草 麻 生	滋賀短期大学附属高等学校（職）
	選手	山 田 唯 葉	滋賀短期大学附属高等学校
		天 野 祐 希	滋賀短期大学附属高等学校
		辻 村 心 菜	滋賀県立守山高等学校
京都府	監督	川 下 剛 士	京都成章高等学校（教）
	選手	岡 本 芽	京都明德高等学校
		小 山 心 愛	京都明德高等学校
		大 平 彩 詠	京都明德高等学校
大阪府	監督	藤 原 英 佳	四天王寺高等学校（教）
	選手	神 尾 朱 理	四天王寺高等学校
		米 本 宙 那	四天王寺高等学校
		小 林 茉 央	四天王寺高等学校
兵庫県	監督	友 金 美 佐	彩星工科高等学校（職）
	選手	玉 置 由 芽	親和女子高等学校
		礪 元 ら ら	親和女子高等学校
		山 本 纏	親和女子高等学校
奈良県	監督	堀 嵩	奈良大学附属高等学校（教）
	選手	野口 望心子	奈良大学附属高等学校
		加納 早柚美	奈良大学附属高等学校
		園 田 愛 絆	奈良大学附属高等学校
和歌山県	監督	黒 瀬 尊 敏	和歌山県立耐久高等学校（教）
	選手	松 野 妃 葵	和歌山県立耐久高等学校
		尾 崎 千 花	和歌山県立耐久高等学校
		岡 田 琴 羽	和歌山県立耐久高等学校
鳥取県	監督	清 水 隆 志	鳥取敬愛高等学校（教）
	選手	森 本 新 絆	鳥取敬愛高等学校
		米 山 結 葵	鳥取敬愛高等学校
		山 崎 南 実	米子北高等学校
島根県	監督	金 山 紀 幸	島根県立松江商業高等学校（教）
	選手	桑 垣 舞	島根県立松江商業高等学校
		山 本 茉 奈	松徳学院中学校
		川 上 紗 矢	島根県立松江商業高等学校

都道府県別出場監督・選手一覧 【少年女子】

都道府県	監督・選手名		勤務先・学校名
岡山県	監督	尾崎 勝久	倉敷中央高等学校（教）
	選手	石井 空	倉敷中央高等学校
		北村 菜帆	倉敷中央高等学校
		金森 愛里紗	倉敷中央高等学校
広島県	監督	富永 克典	安田女子中学高等学校（教）
	選手	小松木 望愛	安田女子高等学校
		板野 瑠衣	安田女子高等学校
		山下 梢	安田女子高等学校
山口県	監督	重信 萌夏	山口県立柳井商工高等学校（教）
	選手	松本 紗季	山口県立柳井商工高等学校
		白川 菜結	山口県立柳井商工高等学校
		鎌田 虹花	山口県立柳井商工高等学校
香川県	監督	山本 敏雄	県立高松商業高等学校（教）
	選手	山川 唯奈	県立高松商業高等学校
		間島 ちひろ	県立高松商業高等学校
		西山 心音	県立高松商業高等学校
徳島県	監督	平岡 友望	鳴門病院
	選手	青木 愛歩	城東高等学校
		舩田 結愛	城東高等学校
		赤澤 凜虹	城東高等学校
愛媛県	監督	久枝 ゆい	新田高等学校（教）
	選手	佐々木 弥都	新田高等学校
		橋田 七海	新田高等学校
		篠原 楓恋	新田高等学校
高知県	監督	松田 壮平	ワールドスポーツ（株）
	選手	安岡 七瀬	土佐女子高等学校
		呉田 真央	土佐女子高等学校
		西森 夕華	土佐女子高等学校
福岡県	監督	吉森 司	九州国際大学（職）
	選手	津山 心	九州国際大学付属高等学校
		福原 安祐美	福岡常葉高等学校
		斉藤 凪沙	福岡常葉高等学校

都道府県	監督・選手名		勤務先・学校名
佐賀県	監督	多田 美紀	佐賀女子短期大学付属佐賀女子高等学校（教）
	選手	高田 亜美	佐賀女子短期大学付属佐賀女子高等学校
		木下 柚葵	佐賀女子短期大学付属佐賀女子高等学校
		金岡 薫	佐賀女子短期大学付属佐賀女子高等学校
長崎県	監督	茂見 祥平	向陽高等学校（教）
	選手	藤原 菜桜	向陽高等学校
		前山 夏里奈	向陽高等学校
		藤本 華菜	長崎県立諫早商業高等学校
熊本県	監督	永松 勇一郎	玉名女子高等学校（教）
	選手	塩山 あさひ	玉名女子高等学校
		小松 桃子	玉名女子高等学校
		上村 藍梨	玉名女子高等学校
大分県	監督	高椋 規照	大分県立由布高等学校（教）
	選手	松浦 かえで	大分県立大分西高等学校
		中尾 美結	大分県立大分西高等学校
		人見 美琴	大分県立大分西高等学校
宮崎県	監督	長友 翔	県立宮崎工業高等学校（教）
	選手	安藤 七音	聖心ウルスラ学園高等学校
		緒方 憂七	聖心ウルスラ学園高等学校
		城村 沙都	聖心ウルスラ学園高等学校
鹿児島県	監督	寺師 駿	鹿児島市立鹿児島女子高等学校（教）
	選手	迫田 若奈	鹿児島市立鹿児島女子高等学校
		草道 彩羽	鹿児島市立鹿児島女子高等学校
		伊藤 亜衣佳	鹿児島育英館中学・高等学校
沖縄県	監督	宮良 耕太郎	沖縄電力
	選手	島袋 麟	那覇高校
		多和田 穂乃花	普天間高校
		平良 優奈	琉球JBC

都道府県別出場監督・選手一覧 【成年男子】

都道府県	監督・選手名		勤務先・学校名
北海道	監督	松 本 章	北海道旅客鉄道(株)
	選手	渡 部 大	北海道旅客鉄道(株)
		光 島 理 貴	北海道旅客鉄道(株)
		柴 田 拓 実	コンサドーレ
青森県	監督	佐 藤 伴 哉	東奥保育・福祉専門学院 (教)
	選手	三 上 楓	三菱自動車京都
		角 田 洸 介	敬和学園大学
		柳 川 瑠 生	敬和学園大学
宮城県	監督	諸 多 大 輔	テルウェル東日本株式会社
	選手	深 井 俊 椰	中央大学
		千 葉 倫 也	日本大学
		後 藤 拓 人	日本大学
秋田県	監督	平 山 政 史	株式会社北都銀行
	選手	紺 野 智 也	株式会社北都銀行
		成 田 行 磯	株式会社北都銀行
		甲 谷 望	株式会社北都銀行
福島県	監督	二 瓶 良	帝京安積高等学校 (教)
	選手	大 畑 龍 平	有限会社ウエンブレー
		仁 平 玖 央	有限会社ウエンブレー
		高 橋 功 大	会津オリンパス株式会社
栃木県	監督	會澤 真之介	(株)ラケットショップ イースト
	選手	大 堀 新	宇都宮南高等学校(教)
		寺 田 真 也	鹿沼商工高等学校(教)
		北 川 史 翔	電通
埼玉県	監督	山 田 秀 樹	BIPROGY株式会社
	選手	小野寺 雅之	BIPROGY株式会社
		遠 藤 彩 斗	NTT東日本株式会社
		川 本 拓 真	BIPROGY株式会社
千葉県	監督	川 嶋 太 郎	佐倉市八街市酒々井町消防組合
	選手	齋 藤 謙 太	東京地下鉄株式会社
		安 保 瑠 城	旭工芸
		福 田 廉 太	BC千葉
都道府県	監督・選手名		勤務先・学校名
東京都	監督	落 合 久 夫	東京都バドミントン協会
	選手	森口 航士朗	BIPROGY株式会社
		谷岡 大后	BIPROGY株式会社
		中 静 悠 斗	NTT東日本
神奈川県	監督	鰐 川 朗	日立情報通信エンジニアリング
	選手	岩 野 滉 也	日立情報通信 エン지니어リング
		川 邊 悠 陽	日立情報通信 エン지니어リング
		松 川 健 大	日立情報通信 エン지니어リング
山梨県	監督	伊 東 雅 俊	THK (株)
	選手	輿 石 涼	東京地下鉄株式会社
		滝 川 亮 太	株式会社ヴァーテックス
		古 屋 樹	旭工芸
新潟県	監督	竹 村 祥 吾	白根羽球連盟
	選手	柴 田 陽 登	ヨネックス新潟
		武 田 航 太	大同特殊鋼
		佐々木 大樹	敬和学園大学
富山県	監督	安 村 康 介	トナミ運輸株式会社
	選手	大 林 拓 真	トナミ運輸株式会社
		秦 野 陸	トナミ運輸株式会社
		目 崎 駿 太 郎	トナミ運輸株式会社
石川県	監督	長 谷 川 進	(有)ハセガワスポーツ
	選手	浦 隆 斗	石川県立明和特別支援学校 (教)
		内 野 陽 太	金沢学院大学 (職)
		福 田 祐 弥	ワタキューセイモア (株)
愛知県	監督	小 林 瑛 二 郎	東海興業株式会社
	選手	江 藤 佑 太	東海興業株式会社
		林 寿 輝 弥	東海興業株式会社
		大 関 修 平	大同特殊鋼株式会社
岐阜県	監督	今 井 彰 宏	株式会社岐阜Bluvic
	選手	佐 藤 雄 輝	株式会社丸杉
		小 川 桂 汰	株式会社岐阜Bluvic
		竹 内 宏 気	株式会社岐阜Bluvic

都道府県別出場監督・選手一覧 【成年男子】

都道府県	監督・選手名		勤務先・学校名
滋賀県	監督	村 上 俊	滋賀県立彦根翔西館高等学校（教）
	選手	西川 裕次郎	比叡山高等学校（教）
		常 山 幹 太	北都銀行
		藤 原 圭 祐	株式会社ジェイテクト
京都府	監督	高木 孝一郎	三菱自動車京都
	選手	笹 井 力 斗	立命館大学
		常 塚 光	三菱自動車京都
		上 田 康 誠	三菱自動車京都
大阪府	監督	井 谷 和 弥	WAKOKAI
	選手	山 下 蒼 羽	WAKOKAI
		佐 藤 瑠 活	明治大学
		川 畑 史 吹	法政大学
兵庫県	監督	川 口 佳 介	三菱電機株式会社
	選手	戸 内 佑 亮	豊田通商
		友 金 利 玖 斗	ヨネックス株式会社
		小 網 勇 馬	京都産業大学
奈良県	監督	森 田 正 秀	奈良県立添上高等学校（教）
	選手	水 井 響 己	龍谷大学
		西 前 和 真	立命館大学
		山 田 麟	奈良中央郵便局
鳥取県	監督	花 本 大 地	株式会社LIMNO
	選手	福 原 忠 宣	米子北高等学校（教）
		林 谷 理 貴	鳥取県地域社会振興部スポーツ振興局スポーツ課
		花 本 風 軌	敬和学園大学
岡山県	監督	中須賀 祥雅	岡山市立瀬戸中学校（教）
	選手	一 井 亮 太	三菱自動車京都
		藤 井 湧 也	J F E プラントエンジ（株）
		山 川 碧	J F E プラントエンジ（株）
山口県	監督	松 尾 光 平	MUセメントサービス(株)
	選手	壇 隆 介	UBE(株)
		望 月 健 太	UBE(株)
		永 田 拓 己	立命館大学
都道府県	監督・選手名		勤務先・学校名
香川県	監督	三 井 秀 隆	県立坂出工業高等学校（教）
	選手	猪熊 心太朗	金沢学院クラブ
		藤 井 湧 真	香川県庁
		小 畑 洸 稀	同志社大学
愛媛県	監督	濱 中 裕 太	ラケットショップハマナカ株式会社
	選手	長谷部 伸洋	株式会社アーガス・ビー・エム・シー
		甲斐 聡一郎	株式会社アーガス・ビー・エム・シー
		河 内 達 哉	株式会社アーガス・ビー・エム・シー
福岡県	監督	原 田 和 憲	株式会社ハローライフ
	選手	武 生 卓 也	株式会社ハローライフ
		棚 原 蓮	トヨタ自動車九州株式会社
		荒 木 絢	株式会社ACE
佐賀県	監督	田 中 賢 一	佐賀県立佐賀東高等学校（教）
	選手	小野 麟太郎	TOTOアクアテクノ株式会社
		川 原 怜 也	旭工芸株式会社
		阿 部 允 耶	立命館大学
長崎県	監督	小 川 量 平	鶴鳴学園長崎女子高等学校(教)
	選手	村 本 竜 馬	㈱ジェイテクト
		滝 口 友 士	豊田通商(株)
		中 島 天	金沢学院大学
熊本県	監督	橋 本 博 旦	株式会社再春館製薬所
	選手	野 田 統 馬	株式会社 日立情報通信エンジニアリング
		池 端 元 哉	(株) プロスチール
		花 田 彬	トナミ運輸株式会社
宮崎県	監督	大 島 一 央	日章学園高等学校（教）
	選手	春 成 星 哉	トヨタ自動車九州(株)
		森田 新太郎	綾町役場
		串 間 太 紀	九州国際大学
鹿児島県	監督	野久尾 英俊	鹿児島県立鶴翔高等学校（教）
	選手	山 元 拓 摩	旭工芸（株）
		吉 松 基	トヨタ自動車九州（株）
		阿比留 弘平	国立鹿児島工業高等専門学校

都道府県別出場監督・選手一覧 【成年女子】

都道府県	監督・選手名		勤務先・学校名
北海道	監督	村 井 秀 樹	NTT東日本
	選手	内 山 真 希	北海道バーバリアンズ
		江見 日和菜	北翔大学
		小 原 陽 夏	明治大学
秋田県	監督	野 呂 誠 幸	シャトルガーデン
	選手	舩木 さくら	株式会社北都銀行
		永 渕 妃 香	株式会社北都銀行
		小 松 ゆ い	株式会社北都銀行
福島県	監督	竹 俣 洋 平	尚志高等学校（教）
	選手	水 井 ひらり	NTT東日本株式会社
		川 田 百 華	日本体育大学
		小 野 涼 奈	ふたば未来学園OG会
茨城県	監督	磯 部 和 弘	常総学院高等学校（教）
	選手	杉 山 未 来	株式会社レゾナック
		染 谷 菜々美	株式会社レゾナック
		水 井 寿々妃	株式会社レゾナック
東京都	監督	内 村 実	有限会社 岩手屋
	選手	木 村 百 伽	ヨネックス株式会社
		砂 川 温 香	BIPROGY株式会社
		須 藤 海 妃	ヨネックス株式会社
富山県	監督	荒 木 純	トナミ運輸株式会社
	選手	向 井 仁 那	株式会社七十七銀行
		木 林 千 耀	東海興業株式会社
		中 出 すみれ	龍谷大学
石川県	監督	気 谷 篤 人	金沢学院大学（職）
	選手	釜 谷 知 佳	石川県立いしかわ特別支援学校（教）
		吉 田 茜夕美	金沢学院大学
		上 田 未 咲	金沢学院大学
岐阜県	監督	吉 富 桂 子	株式会社岐阜Bluvic
	選手	岩 戸 和 音	株式会社岐阜Bluvic
		小 西 春 七	株式会社岐阜Bluvic
		廣 田 彩 花	株式会社岐阜Bluvic
都道府県	監督・選手名		勤務先・学校名
滋賀県	監督	酒 井 良 之	株式会社近江兄弟社
	選手	石 橋 麻美子	公益財団法人滋賀県スポーツ協会
		二 村 ひとみ	公益財団法人滋賀県スポーツ協会
		松 川 華 実	龍谷大学
京都府	監督	村 尾 勉	同志社女子大学（職）
	選手	小 林 優 花	龍谷大学
		金 廣 真 季	龍谷大学
		向 井 温 菜	同志社大学
兵庫県	監督	酒 井 将 之	三菱電機株式会社
	選手	中 島 祐 月	三菱電機株式会社
		平 田 偲	三菱電機株式会社
		朝 倉 ひより	三菱電機株式会社
島根県	監督	丸 岡 智 子	（株）山陰合同銀行
	選手	田 部 真 唯	（株）山陰合同銀行
		三 輪 音 巴	（株）山陰合同銀行
		秋 田 ま な	（株）山陰合同銀行
山口県	監督	小 宮 山 元	（株）ACT SAIKYO
	選手	大 澤 陽 奈	（株）ACT SAIKYO
		水 津 愛 美	（株）ACT SAIKYO
		金 廣 美 希	（株）再春館製薬所
香川県	監督	小 泉 秀 登	株式会社百十四銀行
	選手	清 家 菜々子	株式会社百十四銀行
		十 亀 加奈江	株式会社百十四銀行
		片 山 琴 美	株式会社百十四銀行
長崎県	監督	西 山 勝 也	長崎県立諫早商業高等学校（教）
	選手	小 方 里 羽	無所属
		小 川 星 実	プレイング・ローバル・リンクス(株)
		工 藤 葉 那	立命館大学
熊本県	監督	池 田 雄 一	株式会社再春館製薬所
	選手	松 山 奈 未	株式会社再春館製薬所
		郡 司 莉 子	株式会社再春館製薬所
		栗 原 あかり	株式会社再春館製薬所

都道府県別出場監督・選手一覧 【少年男子】

都道府県	監督・選手名		勤務先・学校名
北海道	監督	吉 田 仁	コンサドーレ
	選手	木 村 友 翔	帯広大谷高等学校
		竹 村 怜 斗	帯広大谷高等学校
		小 川 颯 菜	帯広大谷高等学校
青森県	監督	戸 祭 潤	青森山田高等学校（教）
	選手	門 井 翔	青森山田高等学校
		古 川 湧 己	青森山田高等学校
		田 上 幹 太	青森県立浪岡高等学校
福島県	監督	本 多 裕 樹	福島県立ふたば未来学園高等学校（教）
	選手	増 田 遥	福島県立ふたば未来学園高等学校
		宮 下 翔 伍	福島県立ふたば未来学園高等学校
		山 城 政 人	福島県立ふたば未来学園高等学校
茨城県	監督	小 野 満 哲	茗溪学園中学校高等学校（教）
	選手	三 木 颯 斗	茗溪学園高等学校
		山 崎 耀 介	茗溪学園高等学校
		坪 井 太 志	常総学院高等学校
埼玉県	監督	大 屋 貴 司	埼玉栄高等学校（教）
	選手	山 崎 琉 生	埼玉栄高等学校
		五十田 敦晴	埼玉栄高等学校
		山 脇 弘 奨	埼玉栄高等学校
新潟県	監督	米 田 健 司	北越高等学校（教）
	選手	遠 藤 史 哉	北越高等学校
		矢 田 紬	北越高等学校
		橘 邦 斗	北越高等学校
富山県	監督	中 田 真 琴	高岡第一高等学校（教）
	選手	中 谷 勇 仁	高岡第一高等学校
		米 颯 斗	高岡第一高等学校
		奥 真 優	高岡第一高等学校
愛知県	監督	稲 垣 翔 悟	名古屋経済大学市邨高等学校（教）
	選手	渡 邊 楓 雅	名古屋経済大学市邨高等学校
		中 村 琉 音	名古屋経済大学市邨高等学校
		樋 彪 斗	名古屋経済大学市邨高等学校
滋賀県	監督	仲 尾 修 一	比叡山高等学校（教）
	選手	安 田 翔	比叡山高等学校
		藤 木 蓮	比叡山高等学校
		長 束 翔 太	比叡山高等学校
大阪府	監督	明 石 浩 和	東大阪大学柏原高等学校（教）
	選手	西 尾 寿 輝	東大阪大学柏原高等学校
		中 西 來 樹	東大阪大学柏原高等学校
		中 村 優 希	東大阪大学柏原高等学校
兵庫県	監督	友 金 幸 雄	彩星工科高等学校（教）
	選手	大 塚 悠 翔	彩星工科高等学校
		黒 田 紘 右	彩星工科高等学校
		前 田 晴 生	彩星工科高等学校
鳥取県	監督	杉 川 友 和	米子北高等学校（教）
	選手	上 田 大 和	米子北高等学校
		坪 井 悠 祐	米子北高等学校
		三 隅 蓮 生	米子北高等学校
岡山県	監督	関 啓 之	倉敷翠松高等学校（教）
	選手	戸 板 伊 吹	倉敷翠松高等学校
		窪 田 常 尚	倉敷翠松高等学校
		大 塚 哲 平	水島工業高等学校
愛媛県	監督	徳 永 督	新田高等学校（教）
	選手	野 中 翔 斗	新田高等学校
		福 本 桜 輝	新田高等学校
		牛 尾 涼 生	新田高等学校
福岡県	監督	原 口 拓 巳	自由ヶ丘高等学校（教）
	選手	松 永 稜 平	自由ヶ丘高等学校
		原 田 泰 地	自由ヶ丘高等学校
		岩 見 健 介	九州国際大学付属高等学校
長崎県	監督	片 岡 直 茂	諫早市立北諫早中学校（教）
	選手	草ノ瀬 悠生	瓊浦高等学校
		根 本 舜 生	瓊浦高等学校
		渡 邊 奏 介	瓊浦高等学校

競技成績決定方法

男女総合成績（天皇杯得点）及び女子総合成績（皇后杯得点）は、競技得点と参加得点の合計とし、その得点の多い都道府県に第1位から第8位までを決定する。
ただし、同点の場合は、その順位を共有し、次の順位を欠位とする。

1 競技得点

天皇杯対象種別	皇后杯対象種別	競 技 得 点
成 年 男 子	成 年 女 子	各種別とも1位24点、2位21点、3位18点、4位15点、5位（4チーム）各7.5点の競技得点を与える。
成 年 女 子		
少 年 男 子	少 年 女 子	
少 年 女 子		

2 参加得点

大会（ブロック大会を含む）に参加した都道府県に10点を与える。
ただし、ブロック大会で本大会の出場権を獲得しながら、本大会に参加しなかった場合は与えない。

總合成績（天皇杯・皇后杯）一覽表

都道府県名		成年男子		成年女子		少年男子		少年女子		男女總合成績（天皇杯）				女子總合成績（皇后杯）			
		順位	競技 得点	順位	競技 得点	順位	競技 得点	順位	競技 得点	競技 得点	参加 得点	合計	総合 順位	競技 得点	参加 得点	合計	総合 順位
1	北海道																
2	青森県																
3	岩手県																
4	宮城県																
5	秋田県																
6	山形県																
7	福島県																
8	茨城県																
9	栃木県																
10	群馬県																
11	埼玉県																
12	千葉県																
13	東京都																
14	神奈川県																
15	山梨県																
16	新潟県																
17	長野県																
18	富山県																
19	石川県																
20	福井県																
21	静岡県																
22	愛知県																
23	三重県																
24	岐阜県																
25	滋賀県																
26	京都府																
27	大阪府																
28	兵庫県																
29	奈良県																
30	和歌山県																
31	鳥取県																
32	島根県																
33	岡山県																
34	広島県																
35	山口県																
36	香川県																
37	徳島県																
38	愛媛県																
39	高知県																
40	福岡県																
41	佐賀県																
42	長崎県																
43	熊本県																
44	大分県																
45	宮崎県																
46	鹿児島県																
47	沖縄県																

過去の成績一覧表

第4回 昭和24年 東京都YMCA（個人戦オープン）

種 別 \ 順 位	1 位	2 位	3 位
一般男子 単	東 京 広 田 敏 秀	北海道 佐 藤 保	東 京 藤 井 光 男
一般男子 複	東 京 広 田 敏 秀 藤 井 光 男	神奈川 岡 淳 一 相 馬 万 吉	北海道 佐 藤 保 村 上 三 郎
一般女子 単	神奈川 吉 田 とよ子	愛 知 吉 沢 千 里	神奈川 遠 藤 文 子
一般女子 複	神奈川 吉 田 とよ子 遠 藤 文 子	神奈川 小 林 歌 子 中 村 多 喜	愛 知 吉 沢 千 里 後 藤 範 子

第5回 昭和25年 愛知県 白鷗小学校・東桜小学校（総合優勝 神奈川県）

種 別 \ 順 位	1 位	2 位	3 位
一般男子	東 京 広 田 敏 秀 藤 井 宮 宏 小 山 康 久 吉 遠 とよ子 小 荒 文 子 石 田 子 神 山 子 大 塚 裕 二 島 中 夫	神奈川 岡 相 大 馬 谷 本 松 本 武 水 堀 鈴 保 綾 子 伊 与 田 子 石 川 照 渡 辺 光 大 野 成 野 口 健 勇	北海道 佐 村 葛 三 藤 上 西 英 若 林 絹 伊 藤 信 安 佐 京 片 岡 道 岡 村 弘 江 井 昂 藤 井 一
一般女子	神奈川 吉 遠 小 荒 文 子 田 林 子 川 子 山 子 塚 子 中 子	愛 知 水 堀 保 伊 与 田 石 川 渡 大 野 勇	北海道 伊 藤 安 佐 片 岡 岡 村 江 藤
高校男子	北海道 石 神 大 島	愛 知 石 渡 大 野	神奈川 岡 村 江 藤

第6回 昭和26年 広島県 広大東雲分校・同大附属小学校（総合優勝 愛知県）

種 別 \ 順 位	1 位	2 位	3 位
一般男子	東 京 広 田 敏 秀 岡 道 明 山 田 康 久	岐 阜 玉 越 忠 治 大 竹 健 司 下 野 和 彦	愛 知 藤 井 光 男 渡 辺 成 雄 蟹 和 男
一般女子	愛 知 堀 江 綾 子 保 田 久 子 伊 与 田 照 子	石 川 登 悦 子 貝 原 まさえ 高 田 八重子	北海道 伊 藤 絹 代 片 岡 京 子 栗 原 澄 子
高校男子	愛 知 服 部 興 治 野 口 勇 市 立 松 健 市	石 川 東 正 直 西 貞 夫 諸 江 秀 一	岐 阜 後 藤 裕 八郎 林 金太郎 田 中 正 則

第7回 昭和27年 宮城県 東北大学体育館（総合優勝 神奈川県）

種別 \ 順位	1 位	2 位	3 位
一般男子	神奈川県 広岡敏秀 田井原秀明 吉原秀一 登高悦子 岩倉八重子 望月文雄 倉力石一 鈴木隆彦 瀨尾貞子 小笠原美津子 関一子	北海道 石神田 葛山 野坂 中裕二 田西豊三 坂中江子 谷成子 瀨教子 寺利男 倉根秀司 藤島光則 藤照子 五十弘子 佐久美子 明子	東京都 江井 小山崎 佐藤 堀江 保田 伊与田 水野 諸井 井上 山本 上大 竜川 藤野 中島 実敬茂 章芳綾 久照美 根子 秀晴圭 一夫三稔子 良美代子 光子 緑子
一般女子	石川	東京都	愛知県
高校男子	東京都	神奈川県	石川
高校女子	兵庫県	山形	神奈川県

第8回 昭和28年 香川県 善通寺体育館（総合優勝 神奈川県）

種別 \ 順位	1 位	2 位	3 位
一般男子	神奈川県 広佐田 敏秀 川治 順久 杉崎 順博 遠藤 文子 小荒林 歌とみ 小川野 智子 片石 兼敏 加藤川 正則 長谷川 龍男 井桁 啓充 西堀 富美子 谷津 京子 佐藤 範幸 松本幸子	東京都 藤井 諸江 相川 萩原 岡元 梅津 阿部 荒井 尻江 辻田 半外 岡崎 大西 秋山 真鍋 武寿子	岐阜県 大竹 松岡 丹波 林哲金 司三昭太郎 石川 原ま悦 谷須磨子 神奈川 川岡 越花 折井 藤弘 牧利 良子 神奈川 大川 藤田 竜野 波多澄子
一般女子	神奈川県	北海道	石川
高校男子	北海道	石川	神奈川県
高校女子	宮城	香川	神奈川県

第9回 昭和29年 北海道 札幌市（総合優勝 愛知県）

種別 \ 順位	1 位	2 位	3 位
一般男子	岐阜県 玉越 忠治 大竹 健司 松岡 龍三	愛知県 野口 興治 服部 貞夫 稲熊 貞夫	富山県 清水 正一 釣谷 友久 荒木 亥男
一般女子	宮城 西堀 富美子 佐藤 範子 谷津 京子	石川 登貝 悦子 澁原 まえ 谷信	愛知 保田 久子 伊与田 照子 堀江 綾子
高校男子	愛知 豊場 建正 御友 眩昭 伊藤 雅昭	石川 西村 嘉彦 江尻 桂三 島谷 昇	神奈川県 宮沢 健一 伊豆内 宏 渡辺 潔
高校女子	福島 武田 信子 伊藤 桂子 尾形 亨子	岡山 大森 嘉美 友野 文子 三宅 基子	愛知 大沢 節子 大室 久美子 大竹 泰子

第10回 昭和30年 神奈川県 神奈川県体育館・鶴見女高校体育館（総合優勝 神奈川県）

種 別 \ 順 位	1 位	2 位	3 位
一般男子	神奈川 広田敏秀 杉田博 岡道明	岐阜 大竹健司 松岡龍三 酒井弘	富山 釣谷友一 荒木亥久男 高木満
一般女子	福島 武田信子 伊藤桂子	神奈川 荒川とみ子 小林歌子 大川良子	北海道 梅津貴久江 阿部悦子 下山重子
高校男子	東京 永井栄一 北島克英 小野岡順一	石川 北方匡 関功 米谷外喜彦	山形 生田仁紀 板垣隆房 羽角至
高校女子	岡山 友野文子 権田節子 三宅基子	宮城 佐々木功子 三津節子 菅井静子	香川 永田豊子 藤田純代子 藤村怜子

第11回 昭和31年 兵庫県 神戸YMCA・生田中学校（総合優勝 岡山県）

種 別 \ 順 位	1 位	2 位	3 位
一般男子	神奈川 杉田博 佐藤芳朗 佐藤昌久	大阪 上田益弘 増木節男 武村俊平	岡山 毛利清志 前田俊一 石原利道
一般女子	宮城 西堀富美子 小野寺静江 佐藤範子	岡山 友野文子 権田節子 光本政子	兵庫 西尾貞子 加藤洋子 金森奎子
高校男子	神奈川 小宮好雄 中村智 齊藤裕之	北海道 四ツ柳邦夫 小田桐正徳 岩本竜一	山形 板垣隆房 山岸重孝 鍵水勝志
高校女子	香川 横井キ又工 井上桂子 山下衣子	岡山 小林桂子 戸田寿子 根岸純	宮城 三浦節 沼倉英子 三浦与志子

第12回 昭和32年 静岡県 富士市体育館・富士高講堂（総合優勝 神奈川県）

種 別 \ 順 位	1 位	2 位	3 位
一般男子	神奈川 佐藤芳朗 杉田博 新倉和男	東京 望月文雄 力石潔 鈴木峻三	北海道 島中貞夫 星野嘉雄 神山周二
一般女子	香川 横井キ又工 井上桂子 山下衣子	岡山 権田節子 光本政子 小林桂子	神奈川 大川良子 小林歌子 石川英子
高校男子	神奈川 小宮好雄 中村智 鈴木敏勝	石川 酒井明夫 村田和男 堀知章	島根 平野隆 森脇英裕 富田豊
高校女子	香川 田島外茂子 山下久子 宮川ツヤ子	静岡 掛橋良子 西村弘子 佐野禎子	石川 有田順子 長田悠喜子 松田富美子

第13回 昭和33年 富山県 高岡女子高校体育館・南星中学校体育館（総合優勝 東京都）

種別 \ 順位	1 位	2 位	3 位
一般男子	東京 片石兼敏 越川啓 花岡牧夫	神奈川 杉田博 佐藤芳朗 佐藤昌久	大阪 高谷芳弘 上田益弘 松王清志
一般女子	香川 横井キヌ工 山下久子 田島外茂子	神奈川 小林歌子 大川良子 二見文子	岡山 権田節子 光本政子 小林桂子
高校男子	山形 金森義弘 板垣義憲 小林賢	東京 鈴木幸春 宮永武司 貝戸肇	奈良 森晃一 榎高嗣 中川安正
高校女子	香川 藤本文子 有木とみ子 福本和子	富山 高島洋子 中島玲子 梅野尾桂子	石川 山崎紀久子 川節子 竹多光子

第14回 昭和34年 東京都 足立区体育館（総合優勝 神奈川県）

種別 \ 順位	1 位	2 位	3 位
一般男子	神奈川 佐藤芳朗 佐藤昌久 関口潔	石川 新田正治 酒井明夫 村田和男	大阪 松小清志 小松康博 小松貢
一般女子	神奈川 大川良子 二見文子 椎野みや子	香川 横井キヌ工 山宮久子 宮川ツヤ子	富山 大坪愛子 高島洋子 中島玲子
教員男子	神奈川 杉田博剛 山本塚義治 石塚義治	大阪 佐藤茂雄 宝来敏夫 北野敬四郎	東京 平市田登志郎 柳川和直 田直規
高校男子	宮城 渡部紘一 後藤忠広 甲斐昭宏	北海道 龍瀬康彦 竹中將晃 梅木聡	神奈川 山本洋彦 岡崎恵三 小坂拓充
高校女子	香川 藤本文子 有木とみ子 福本和子	静岡 伊沢利子 志村セツ子 石原待子	富山 梅野尾桂子 橘井美智子 酒井美智子

第15回 昭和35年 熊本県 菊池市体育館（総合優勝 富山県）

種別 \ 順位	1 位	2 位	3 位
一般男子	東京 永井栄一 北島克英 貝戸肇	神奈川 佐藤芳朗 遠藤啓 砥石勤	富山 荒木亥久 扇大野三 幸津雄
一般女子	富山 高島洋子 中島玲子 梅野尾桂子	秋田 脇木千子 横山政満 山田博子	静岡 野沢利子 伊志村セツ子 志津子
教員男子	石川 北河原晴夫 茂藤寛 岡崎恵三	神奈川 杉田義剛 山石塚治 佐藤彦男	秋田 宮脇竜安 脇鈴裕 坂本三隆
高校男子	神奈川 岡崎恵三 小坂拓充 長谷川敏彦	山形 佐藤勝彦 出高勇一 高橋清一	新潟 阿部原淳 笠藤洋 伊藤奉 高橋七子
高校女子	富山 橘井美智子 酒井美智子 平田敦子	香川 横林森 林森 森	秋田 高石長 石長 崎

第16回 昭和36年 秋田県 象潟町中学校体育館（総合優勝 秋田県）

種別 \ 順位	1 位	2 位	3 位
一般男子	東京 片永星 石井野 兼栄忠 敏一男子	神奈川 佐岡遠 藤崎藤 芳恵啓 朗三治	山形 板出北 垣沢村 隆勇 房男任
一般女子	富山 梅野尾 橘井美 美智子	秋田 木横高 杉田山 敬三郎	香川 宮福横 川本井 和文子
教員男子	石川 北河原 方山晴 匡夫三	神奈川 杉岡秋 田山捷 敬三郎	秋田 脇鈴高 坂木橋 安裕弘
高校男子	新潟 大安吉 沢野武 義昭子	北海道 中松浦 本直紀 博昭	山梨 平秋早 山川真 勲男博
高校女子	山形 佐藤弘 小笠原 詔淳子	静岡 高天影 木野山	秋田 伊藤大 藤山門 美津子

第17回 昭和37年 岡山県 県立倉敷青陵高校体育館（総合優勝 東京都、富山県）

種別 \ 順位	1 位	2 位	3 位
一般男子	東京 星富井 野田門 忠男 豊雄	神奈川 遠鈴岡 藤木崎 啓敏恵 治勝三	愛知 北小長 島宮川 克好陽 英雄一
一般女子	香川 福横森 本井文 和文子	富山 橘酒井 梅野尾 美智子	秋田 木横高 村山橋 政満奉
教員男子	石川 北河原 方山晴 匡夫三	神奈川 杉秋岡 田山捷 敬三郎	秋田 脇鈴真 坂木崎 安裕俊
高校男子	新潟 本荒阿 田川野 治善 男紀	東京 西須関 野田一 孝一誠	青森 奥長谷 谷川上 義淳子
高校女子	富山 橘室崎 河村和	秋田 大塚門 瀬幸子	岡山 高重七 塚政村 百泰子

第18回 昭和38年 山口県 下関市体育館（総合優勝 新潟県）

種別 \ 順位	1 位	2 位	3 位
一般男子	愛知 小坂稻 宮垣熊 好善文 雄憲隆	東京 井宮堺 門永武 鎮武栄 雄司一	島根 星富山 野田崎 忠春桂 男豊茂
一般女子	秋田 横高長 山橋崎 満奉文 子子子	香川 田横森 島井文 外茂子 子子子	富山 梅酒室 野尾井 桂美智 子子子
教員男子	石川 北河原 方山晴 匡夫三	神奈川 杉岡秋 田山捷 敬三郎	大阪 大北片 世野岡 吉敬輝 四郎明
高校男子	新潟 星裏樋 野田口 義光一 夫男春	東京 関中古 村屋和 一誠安 正子子	北海道 福林久 保田和 智守男
高校女子	栃木 前松小 沢本出 和昭千 子子子	新潟 後茂竹 藤沢内 純泰子	北海道 高森高 森田幸 裕裕子

第19回 昭和39年 新潟県 県立三条高校体育館（総合優勝 新潟県）

種別 \ 順位	1 位	2 位	3 位
一般男子	愛知 小宮好雄 板垣善憲 岩后隆昭 森井文子 田島外茂 森久子	東京 永井栄一 宮永武一 堺永満一 横山満子 高橋奉子 長崎文子	石川 新村田正治 松田下和男 高木紀子 天野博子 岩后蛭子 杉田敬三 岡田捷彦 秋立野正昭 立盛弘之 高林弘之 佐々木フミ 中川美枝 加賀谷ユミ子
一般女子	香川 渡部紘一 永井俊夫 佐藤正浩 鈴木木田和夫 神片山毅 片山夕子	秋田 北河原匡夫 江森芳夫 森橋本修一 真壁年一 竹内泰子 石本恵美子 高野八重子	岐阜 新田博 高木紀子 天野博子 岩后蛭子 杉田敬三 岡田捷彦 秋立野正昭 立盛弘之 高林弘之 佐々木フミ 中川美枝 加賀谷ユミ子
教員男子	新潟 渡部紘一 永井俊夫 佐藤正浩 鈴木木田和夫 神片山毅 片山夕子	石川 北河原匡夫 江森芳夫 森橋本修一 真壁年一 竹内泰子 石本恵美子 高野八重子	神奈川 新田博 高木紀子 天野博子 岩后蛭子 杉田敬三 岡田捷彦 秋立野正昭 立盛弘之 高林弘之 佐々木フミ 中川美枝 加賀谷ユミ子
高校男子	新潟 渡部紘一 永井俊夫 佐藤正浩 鈴木木田和夫 神片山毅 片山夕子	奈良 北河原匡夫 江森芳夫 森橋本修一 真壁年一 竹内泰子 石本恵美子 高野八重子	富山 新田博 高木紀子 天野博子 岩后蛭子 杉田敬三 岡田捷彦 秋立野正昭 立盛弘之 高林弘之 佐々木フミ 中川美枝 加賀谷ユミ子
高校女子	栃木 植木夕子 大島コ 武田初枝	新潟 北河原匡夫 江森芳夫 森橋本修一 真壁年一 竹内泰子 石本恵美子 高野八重子	秋田 新田博 高木紀子 天野博子 岩后蛭子 杉田敬三 岡田捷彦 秋立野正昭 立盛弘之 高林弘之 佐々木フミ 中川美枝 加賀谷ユミ子

第20回 昭和40年 岐阜県 富田学園体育館（総合優勝 岐阜県）

種別 \ 順位	1 位	2 位	3 位
一般男子	愛知 小宮好雄 板垣善憲 長谷川敏彦 谷川紀彦 木野博江 高田康子	東京 堺永栄一 宮永武一 田上文子 横井久子 森藤和子 加藤茂良	香川 東山条義昭 山牟礼立朗 牟礼礼子 後藤和子 石崎妙子 竹内泰子
一般女子	岐阜 高木紀博 天野康子 高田夫匡	香川 横井久子 森藤和子 加藤茂良	新潟 東山条義昭 山牟礼立朗 牟礼礼子 後藤和子 石崎妙子 竹内泰子
教員男子	石川 河原山方匡一 北村西昌一 村西昌一	北海道 堀杉山幸矩 中嶋弘志 幸修則	岡山 東山条義昭 山牟礼立朗 牟礼礼子 後藤和子 石崎妙子 竹内泰子
高校男子	富山 梅野尾昌一 寺前信之 中坪邦雄 近藤光枝 才脇妙子 池田栄子	岐阜 堀杉山幸矩 中嶋弘志 幸修則	奈良 東山条義昭 山牟礼立朗 牟礼礼子 後藤和子 石崎妙子 竹内泰子
高校女子	大阪 近才池 才脇妙子 池田栄子	岐阜 堀杉山幸矩 中嶋弘志 幸修則	栃木 東山条義昭 山牟礼立朗 牟礼礼子 後藤和子 石崎妙子 竹内泰子

第21回 昭和41年 大分県 日田林工高校体育館（総合優勝 新潟県）

種別 \ 順位	1 位	2 位	3 位
一般男子	愛知 長谷川敏彦 板垣善武司 安沢武司 高木紀子 高田康子	山梨 岡崎三恵三 崎山上真男 藤藤和子 妙子操	大分 宮田永武司 春中武俊 横山満一 高橋奉子 加賀谷ユミ子
一般女子	岐阜 高木紀博 天野康子 高田夫匡	新潟 横井久子 森藤和子 加藤茂良	秋田 東山条義昭 山牟礼立朗 牟礼礼子 後藤和子 石崎妙子 竹内泰子
教員男子	北海道 杉安達茂 安上山功 上間順次 高橋良秋	石川 河原山方匡一 北原栄一 原方一	岡山 東山条義昭 山牟礼立朗 牟礼礼子 後藤和子 石崎妙子 竹内泰子
高校男子	新潟 本高奥 高橋良秋 奥山登茂 小遠藤シゲ子	宮城 我妻川一 市寒河江一 本間悦子 日高下坂	香川 西小湯木博 西崎田博 小田博 湯浦佐藤
高校女子	山形 小遠藤シゲ子	新潟 横井久子 森藤和子 加藤茂良	岡山 東山条義昭 山牟礼立朗 牟礼礼子 後藤和子 石崎妙子 竹内泰子

第22回 昭和42年 埼玉県 越ヶ谷市立体育館（総合優勝 香川県）

種別 \ 順位	1 位	2 位	3 位
一般男子	愛知 板安小 垣沢林 善武一 憲司宏	神奈川 小山遠 島本藤 一洋啓 平彦治	東京 堺田本 上橋木 栄十平 一六八
一般女子	香川 有横山 木井本 ひとみ 子江隆	新潟 五十嵐 藤藤 明和 美子操	岐阜 高天虫 野賀雅 紀博雅 子江子
教員男子	富山 清正松 水木山 芳史信 隆郎之	北海道 杉安上 田達山 茂樵功 良彦夫	宮城 加渡菊 茂部地 和紘 夫一功
高校男子	富山 米松谷 田島口 実保寛 寛	奈良 滝小葛 野林輪 公正博 昭一	宮城 門山木 間田戸 幹哲純 夫夫一
高校女子	新潟 相金高 沢子坂 マチ子 美和子 薫	香川 小竹山 片森下 千恵子 子美	栃木 田枝印 仲美津 江加代 子子

第23回 昭和43年 福井県 県立勝山合同体育館（総合優勝 岐阜県）

種別 \ 順位	1 位	2 位	3 位
一般男子	山梨 岡秋田 崎山中 恵真三 男登	神奈川 小吉渡 島良辺 一悠直 平一人	東京 堺西関 野一 栄一一 一征誠
一般女子	岐阜 高天安 木野藤 紀博久 子江美	東京 高水田 橋野仲 とも子 小夜子 美津江	新潟 五十嵐 藤林利 明和邦 清志勝
教員男子	熊本 南工芦 藤原健 直勇敏 治参身	石川 北村原 方西 栄一 男一	岡山 毛三柳 宅本 堯 昇宏男
高校男子	富山 二草布 上島目 敏正茂 治茂子	山形 遠田伊 藤所藤 好光政 男男臣	岐阜 岩後足 田藤立 路守 宏男
高校女子	大阪 平柴高 山崎 泰きよ 子弘子	香川 宮福赤 武本沢 幸ひろ 子子	新潟 堀竹大 川中竹 栄美子 礼子 由里子

第24回 昭和44年 長崎県 諫早市体育館、県立諫早高校体育館（総合優勝 新潟県）

種別 \ 順位	1 位	2 位	3 位
一般男子	山梨 窪秋野 田山田 恵真秀 三男心	神奈川 小渡坂 島辺本 一直聖 平人二	東京 堺西関 野一 栄一一 一征誠
一般女子	岐阜 高天高 木野橋 紀博千 子江美	東京 高田水 橋仲野 とも子 美津江 小夜子	京都 永山岡 井下崎 かおり 三枝子 繁子
教員男子	熊本 西工芦 田藤原 壽勇健 明参身	岡山 毛三柳 利宅本 清堯 志勝敏	石川 北原村 方西 栄一一 一貴久
高校男子	新潟 本小九 泉原山 正きよ 子弘子	群馬 内桐渡 田生辺 惠和島 子子子	奈良 菅岡山 原田本 弘昇繁 久幸子
高校女子	大阪 柴高大 崎場 弘照 子美	岐阜 及脇紅 川田谷 子子子	栃木 望石阿 月崎久 じずか 茂まさ

種 別 \ 順 位	1 位	2 位	3 位
一般男子	山 梨 窪秋山 野田 恵真秀 三男 応	東 京 池 田 梅野尾 鈴木 孝一 二 昌健 子	神奈川 小渡坂 島辺本 一直聖 平人 二
一般女子	新 潟 竹中悦 相沢マ 後藤和 子子子	岐 阜 高天桑 野原方 紀博 富 子子子	栃 木 松石望 本崎月 昭喜し 代子 ず
教員男子	岩 手 佐々木 永沢 彦邦和 士夫彦 司真美	石 川 北原松 方 本 栄忠 欽 一之治 治治 吾	熊 本 西工芦 田藤原 壽勇健 信 信 夫壮雄
高校男子	奈 良 翼竹内 西川 繁 尾真理 本八幸 子美子	石 川 銭竹青 谷村山 林井田 敏幸 静	岩 手 高佐佐 橋藤藤 吉秀清 静 静
高校女子	大 阪 西秋秋 本本本	栃 木 小藤池	香 川 川森田 所 所

種 別	順 位	1 位				2 位				3 位					
一般男子	神奈川	渡小宮	辺島川	直一秀	人平樹	山 梨	窪秋岩	田山下	恵真一	三男雄子	岐 阜	森河安	田藤村	芳 義	夫満治子
一般女子	新 潟	鈴木後本	木藤間	明和恵美子	美子	神奈川	杉味秋	田蓼山	良とも陽	子子子	北海道	田高今	野川郷	静美喜	子千子
教員男子	滋 賀	久保田	藤原上	良健良	昌二信	和歌山	森中佐	西藤本	詳光茂	隆味伸樹	熊 本	本南工	藤川野	節直勇	生治参
高校男子	新 潟	土鈴佐	田木野	征直	雄裕行	和歌山	山倉岡	葉内村	忠陽	徹成子	奈 良	西佐中	井野	繁基	美弘夫
高校女子	大 阪	西秋秋	尾本本	真理子	八代美子	福 島	千宮木	葉内村	陽す瑞	子子江	岡 山	中林平	田宅	寿喜一	美子江美

種 別 \ 順 位	1 位	2 位	3 位
一般男子	神奈川 小渡宮 島辺川 一直秀 平人樹	東 京 鈴池 木田 健信昌 二孝一	山 梨 窪秋岩 田山下 恵真一 三男雄
一般女子	東 京 湯竹石 木中崎 博悦茂 江子子	愛 知 橋池富 本田居 香静康 一代江子	香 川 小小森 片西 千幸清 恵子代美
教員男子	和歌山 森中門 西間井 詳幹基 隆味夫	栃 木 齊森原 井藤田 敏敏助 晃佑昇	石 川 北原長 方谷川 栄 匡一進
高校男子	奈 良 中南辻 井田 基義敏 夫正弘	石 川 原山谷 下島 敏敏助 夫行男	岐 阜 古角後 西田藤 純尚美
高校女子	大 阪 秋高徳 本田田 幸幹敦 子子子	山 形 矢本今 口間田 洋浩真 子子子	千 葉 山平瀬 田野野 尚美清 子代美

第28回 昭和48年 若潮国体 千葉県 県立茂原高校体育館（総合優勝 東京都）

順位 種別		1 位				2 位				3 位			
一般男子	種別	神奈川	小宮	島川	一秀	平樹	東京	関野	尾田	一昌	誠一	愛知	本松
	順位	笠井	教博	行江	博子	子悦	池森	川東	長尾	清秀	美生	間島	順次
一般女子	種別	東京	湯相	木沢	マチ	子悦	香川	森川	東尾	秀弥	栄一	岐阜	天野
	順位	竹中	悦子	良信	二美	之雄	石川	原長	谷田	芳弘	尚子	永高	井山
教員男子	種別	滋賀	藤藤	上原	正博	治雄	福島	寺矢	五十嵐	千代	美子	山形	永高
	順位	西村	川上	博治	子悦	美子	石川	長谷	川田	芳弘	尚子	永高	井山
高校男子	種別	富山	高徳	植野	敦子	美子	千葉	山平	野瀬	野清	美子	奈良	池松
	順位	大阪	高徳	植野	敦子	美子	千葉	山平	野瀬	野清	美子	奈良	池松
高校女子	種別	大阪	高徳	植野	敦子	美子	千葉	山平	野瀬	野清	美子	山形	堀田
	順位	大阪	高徳	植野	敦子	美子	千葉	山平	野瀬	野清	美子	山形	堀田

第29回 昭和49年 水と緑のまごころ国体 茨城県 石岡小学校体育館、石岡二高校体育館（総合優勝 東京都）

順位 種別		1 位				2 位				3 位			
一般男子	種別	東京	池野	尾井	信昌	孝一	神奈川	小宮	島川	一秀	平樹	愛知	松本
	順位	東京	池野	尾井	信昌	孝一	神奈川	小宮	島川	一秀	平樹	愛知	松本
一般女子	種別	東京	石今	崎田	茂真	知子	香川	田山	所口	静秀	子美	北海道	田高
	順位	東京	石今	崎田	茂真	知子	香川	田山	所口	静秀	子美	北海道	田高
教員男子	種別	和歌山	門武	間藤	幹隆	志隆	石川	原長	谷川	秀夫	一進	茨城	佐関
	順位	和歌山	門武	間藤	幹隆	志隆	石川	原長	谷川	秀夫	一進	茨城	佐関
高校男子	種別	山形	米中	山島	孝俊	二彦	奈良	塚小	倉田	久信	和博	福井	長谷
	順位	山形	米中	山島	孝俊	二彦	奈良	塚小	倉田	久信	和博	福井	長谷
高校女子	種別	新潟	関大	根塚	和子	工喜	香川	牛片	田山	真千	由英	大阪	植石
	順位	新潟	関大	根塚	和子	工喜	香川	牛片	田山	真千	由英	大阪	植石

第30回 昭和50年 たくましくあすをひらこう みえ国体 三重県 県立松阪高校体育館（総合優勝 石川県）

順位 種別		1 位				2 位				3 位			
成年男子	一般	神奈川	小宮	島川	一秀	平樹	東京	池野	尾田	信昌	孝一	富山	河今
	教員	石川	原長	谷川	一進	修修	群馬	銭関	井生	欽勇	俊次	宮城	米渡
成年女子	種別	東京	湯池	木田	博美	恵加	香川	川田	東所	秀静	美子	岡山	石三
	順位	東京	湯池	木田	博美	恵加	香川	川田	東所	秀静	美子	岡山	石三
少年男子	種別	奈良	吉富	岡田	伸章	浩夫	石川	宮酒	森井	庄直	吉人	宮城	橘沼
	順位	奈良	吉富	岡田	伸章	浩夫	石川	宮酒	森井	庄直	吉人	宮城	橘沼
少年女子	種別	大阪	植北	野村	恵寿	美子	三重	谷榎	谷野	口野	い子	香川	前洪
	順位	大阪	植北	野村	恵寿	美子	三重	谷榎	谷野	口野	い子	香川	前洪

第31回 昭和51年 若楠国体 佐賀県 県立牛津高校体育館、町立牛津中学校体育館（総合優勝 石川県）

種 別		順 位				1 位				2 位				3 位			
成年男子	一 般	神奈川	小島一平	宮川秀樹	笠井教行	石川	原谷川	長谷川	和田	湯木博恵	石崎茂子	今田真知子	重森成生	坂本昌嗣	石川好子	平河久美子	村茂美
	教 員	石川	原谷川	長谷川	和田	湯木博恵	石崎茂子	今田真知子	重森成生	坂本昌嗣	石川好子	平河久美子	村茂美	石川	相米正進	堂谷内隆均	門間幹夫
成年女子		東京	湯石	木崎	博茂	恵子	香川	石田	原所	英静	子美	大坂	西谷	尾本	真理子	美津子	幸子
少年男子		石川	重森	山田	成生	均嗣	滋賀	北西	橋山	博司	進武	香川	平上	野原	勝明	彦二	敬明
少年女子		大阪	石平	川河	好子	久美子	新湯	青藤	木井	恵良子	子美	東京	徳松	永枝	順睦	子睦	心み子

第32回 昭和52年 あすなろ国体 青森県 浪岡町民体育館（総合優勝 青森県）

種 別		順 位				1 位				2 位				3 位			
成年男子	一 般	埼玉	尾飯崎	干佳	雄孝	東京	池田	信昌	孝一	神奈川	小笠	島井	一教	平	行	弘	平
	教 員	石川	原谷川	長谷川	吉進	群馬	栗桐	原生	恒次郎	和歌山	門山	間本	幹茂	夫樹	和	正	和
成年女子		東京	湯池	木田	博美	恵加子	大阪	西谷	尾本	真理子	美津子	香川	石田	原所	英静	子美	幸子
少年男子		滋賀	西矢山	山部	博忠	司樹	栃木	角久	郷根	光俊	永明	青森	丹楠	藤美	勇誠	一悦	二
少年女子		大阪	平河	村口	久美子	美子	高知	浜田	村圭	由圭	香枝	青森	葛山	西奈	明々	子々	々々

第33回 昭和53年 やまびこ国体 長野県 塩尻市立体育館（総合優勝 熊本県）

種 別		順 位				1 位				2 位				3 位			
成年男子	一 般	千葉	田大	所場	光和	男博夫	新潟	棒鈴	木山	法裕	勇男	石川	相米	川谷	正進	隆均	均
	教 員	石川	長谷川	和田	吉進	光修	群馬	今栗	井原	勇盛	司夫	熊本	工藤	藤中	勇芳	参悟	文
成年女子		大阪	谷秋	本林	幸文	子美	福岡	桶丸	本山口	百合	子江	栃木	沼日	能山	久裕	子枝	枝
少年男子		熊本	本権	石藤	俊浩	憲二	山形	桜五	井嵐	雅正	人弘	滋賀	保横	科田	正悟	司司	司
少年女子		新潟	月中	岡沢	広一	美枝子	栃木	上高	野田	加代	子美	大阪	合原	川口	裕恵	子子	子子

第34回 昭和54年 日本のふるさと宮崎国体 宮崎西都市民体育館（総合優勝 熊本県）

種 別 \ 順 位		1 位	2 位	3 位
成年男子	一 般	千 葉 田 所 光 男 大 織 本 和 博 長 谷 川 進	神奈川 小 島 一 平 高 橋 敏 明 菅 今 井 勇 司	北海道 遠 藤 好 男 木 久 村 敏 男 久 原 正 敏
	教 員	石 川 和 外 田 吉 和 外 田 修 和 外 田 光	群 馬 栗 原 恒 智 栗 原 恒 智 栗 原 恒 智	滋 賀 藤 脇 上 坂 藤 脇 上 坂 藤 脇 上 坂
成年女子		栃 木 日 山 裕 子 日向野 藤 枝 大 嶋 和 代	大 阪 東 海 林 文 子 葛 西 口 恵 子 岡 野 佳 浩	香 川 平 井 佐 代 山 前 川 高 子 馬 場 良 浩
少年男子		熊 本 権 村 上 英 二 井 上 哲 介 北 田 スミ子	香 川 岡 小 野 佳 浩 小 竹 西 田 太 史 藤 井 直 子	栃 木 馬 小 野 口 正 大 嶋 島 正 志 川 添 安 代
少年女子		大 阪 北 植 田 日 出 植 田 美 千 代	新 潟 藤 遠 富 藤 遠 富 藤 遠 富	熊 本 大 川 添 安 高 陣 内 貴 美 子

第35回 昭和55年 栃の葉国体 栃木県 真岡市総合体育館（総合優勝 富山県）

種 別 \ 順 位		1 位	2 位	3 位
成年男子		富 山 今 泉 勉 米 正 隆 二 上 敏 博	石 川 長 谷 川 進 外 田 吉 光 堂 谷 内 均	神奈川 小 島 一 平 池 田 隆 治 菅 敏 明
成年女子		東 京 端 渡 洋 護 渡 辺 多喜子 高 岸 陽 子	滋 賀 谷 美津代 若 村 弥 生 阪 口 典 子	愛 知 小 松 澄 子 渡 辺 喜 美 柳 田 智佳子
少年男子		滋 賀 山 本 裕 幸 竹 端 英 夫 松 浦 進 二	栃 木 大 島 正 志 大 堀 円 樹 戸 村 正 樹	熊 本 井 上 哲 章 伊 東 幸 男 福 田 和 幸
少年女子		熊 本 高 峯 和 子 陣 内 貴美子 森 山 弘 美	大 阪 松 田 全 代 新 木 千 織 尾 崎 升 美	新 潟 野 上 満 子 山 内 美 子 山 田 登美子

第36回 昭和56年 びわこ国体 滋賀県 大津市皇子が丘公園体育館（総合優勝 滋賀県）

種 別 \ 順 位		1 位	2 位	3 位
成年男子		富 山 今 泉 勉 米 正 隆 林 加 永	青 森 佐 藤 光 伸 須 藤 茂 村 元 英 美	群 馬 今 井 勇 司 秋 庭 克 行 鏑 木 智 博
成年女子		東 京 湯 木 博 恵 高 岸 陽 子 月 岡 広 美	滋 賀 谷 美津代 西 村 美千代 磯 野 恵理子	大 阪 河 村 茂 美 平 久美子 葛 西 明 子
少年男子		滋 賀 松 浦 進 二 片 岡 泰 昌 辻 田 泰 昌	山 梨 松 野 修 二 宮 健 次 宮 康 二	石 川 羽 田 義 仁 村 松 博 宮 本 照 啓
少年女子		熊 本 陣 内 貴美子 高 峯 尚 子 森 山 弘 美	香 川 山 内 佳 子 佃 貴 子 永 井 明 美	新 潟 山 内 美 子 石 崎 咲知子 本 田 佳代子

第37回 昭和57年 くにびき国体 島根県 大東町立体育館（総合優勝 滋賀県）

種別 \ 順位	1 位	2 位	3 位
成年男子	群馬 今井勇司 鎬木智博 秋庭克行	富山 今泉勉 米沢和男 米正隆	北海道 遠藤好男 米山孝二 千葉昌弘
成年女子	岡山 河本小織 高田幹子 小寺裕美	大阪 河村茂美 平久美子 国奥美智子	静岡 山本美津子 川島直子 原田純子
少年男子	滋賀 西川勉 辻田泰昌 杉本吉男	石川 山尾克則 岡島浩一 羽田憲治	埼玉 長内征美 新井利幸 大割誠一郎
少年女子	大阪 松田太嘉子 石井香澄 鴻原春美	熊本 森山弘美 高峰尚子 青木きよみ	栃木 三沢真奈美 岡崎仁子 小貫早苗

第38回 昭和58年 あかぎ国体 群馬県 桐生市民体育館（総合優勝 群馬県）

種別 \ 順位	1 位	2 位	3 位
成年男子	群馬 今井勇司 栗原恒夫 鎬木智博	新潟 鈴木裕 山下圭一 飯塚芳英	静岡 後藤和之 飯野佳孝 井出裕雄
成年女子	岡山 河本小織 高田幹子 中原裕美	静岡 川島直子 白松千加子 原田純子	東京 枝美代子 月岡広美 高峰尚子
少年男子	熊本 川本英明 林謙一 三次英昭	兵庫 佐藤浩 松本泰典 村山喜洋	奈良 見市昌弘 小野満哲 村山友二
少年女子	大阪 鴻原春美 新木貴子 宮崎正美	熊本 上村美香 平井真由美 青木きよみ	新潟 原田真理恵 本田みどり 川野名智美

第39回 昭和59年 わかくさ国体 奈良県 田原本町中央体育館（総合優勝 大阪府）

種別 \ 順位	1 位	2 位	3 位
成年男子	熊本 工士恭司 江藤正治 権藤浩二	群馬 今井勇司 栗原恒夫 鎬木智博	奈良 辻敏弘 中井基夫 吉岡伸浩
成年女子	大阪 葛西明子 星和枝 平山美恵子	石川 伊東ひとみ 小野順子 小路和代	東京 枝美代子 森山弘美 三田知佳子
少年男子	滋賀 江藤裕樹 中川健康 中川康	富山 平井保光 中嶋正男 室田繁行	埼玉 松元功一 生井沢勝美 石橋隆
少年女子	大阪 新木貴子 今村薫子 山田陽子	新潟 若井郁子 小池由扶子 青戸香織	青森 徳光由美子 谷地春子 西田美知子

第40回 昭和60年 わかとり国体 鳥取県 県立由良育英高校体育館（総合優勝 熊本県）

種別 \ 順位	1 位	2 位	3 位
成年男子	熊本 工 士 恭 司 権 藤 浩 二 堺 圭 一	群馬 今 井 勇 司 栗 原 恒 夫 竹 内 康 夫	愛知 坂 本 宏 志 古 賀 勝 志 坂 井 外喜男
成年女子	新潟 月 岡 広 美 野 上 満 子 山 内 美 子	大阪 高 峯 和 子 星 和 枝 平 山 美恵子	山形 東海林 文 子 佐 藤 栄美子 田 口 真由美
少年男子	埼玉 生井沢 勝 美 菊 地 修 石 橋 隆	石川 気 谷 篤 人 山 本 明 彦 中 川 守	熊本 浜 北 和 彦 中 村 徳 祐 小 本 義 久
少年女子	熊本 田 島 志 乃 田 代 美智世 松 尾 知 美	新潟 小 池 由扶子 青 戸 香 織 棒 匡 子	青森 横 手 智江美 平 間 由 紀 乳 井 智 秋

第41回 昭和61年 かいじ国体 山梨県 勝沼町民体育館（総合優勝 山梨県）

種別 \ 順位	1 位	2 位	3 位
成年男子	山梨 山 本 裕 幸 松 野 修 二 宮 健 次	大阪 森 下 一 夫 谷 田 尚 嗣 保 科 正 浩	熊本 工 士 恭 司 権 藤 浩 二 堺 圭 一
成年女子	新潟 月 岡 広 美 野 上 満 子 山 内 美 子	富山 今 川 真理子 大 谷 鶴 美 田 向 和 子	山梨 高 田 幹 子 野 口 英 代 清 藤 和
少年男子	熊本 久 住 猛 畑 野 宏 幸 本 山 秀 昭	山梨 内 田 高 史 興 石 努 岩 佐 延 寿	富山 吉 田 直 樹 越 田 芳 成 城 木 夢 高
少年女子	福岡 田 村 富士美 田 島 由 美 間 庭 由 美	熊本 松 尾 知 美 毛 利 千 秋 渡 辺 喜美子	埼玉 秋 元 美佐緒 太 田 悦 子 清 水 由紀子

第42回 昭和62年 海邦国体 沖縄県 糸満市西崎総合体育館（総合優勝 熊本県）

種別 \ 順位	1 位	2 位	3 位
成年男子	岐阜 蘭 和 真 木 内 広 史 横 尾 宣 幸	群馬 栗 原 恒 夫 竹 内 康 夫 片 桐 哲 也	熊本 工 士 恭 司 権 藤 浩 二 堺 圭 一
成年女子	富山 今 川 真理子 大 谷 鶴 美 伏 喜 由美子	愛知 宮 本 美津子 大 屋 幸 恵 松 本 清 美	石川 彼 島 佳 子 小 路 和 代 水 本 幸 代
少年男子	滋賀 鈴 木 草麻生 平 井 肇 小河原 崇	熊本 本 山 秀 昭 高 村 誠 也 廣 龍 宗 美	埼玉 関 根 英 勝 石 井 隆 二 鈴 木 秀 二
少年女子	熊本 中 原 敬 子 甲 斐 美 和 宮 村 愛 子	大阪 南 里 高 子 岩 田 良 子 水 井 妃佐子	新潟 棒 匡 子 高 橋 朱 美 加 賀 ゆかり

第43回 昭和63年 京都国体 京都府 長岡京市西山公園体育館（総合優勝 大阪府）

種別 \ 順位	1 位	2 位	3 位
成年男子	神奈川 長谷川 博 幸 石 場 隆 雄 細 谷 昇	京 都 村 尾 勉 山 本 裕 幸 杉 本 吉 男	群 馬 鎬 木 智 博 竹 内 康 夫 片 桐 哲 也
成年女子	富 山 今 川 真理子 大 谷 鶴 美 伏 喜 由美子	大 阪 今 村 薫 田 代 美智世 磯 崎 照 枝	愛 知 大 屋 幸 恵 丑 田 明 子 佐 々 恵 理
少年男子	埼 玉 大 谷 知 昌 内 村 剛 須 賀 隆 弘	北海道 工 藤 忠 和 藤 本 謙 治 村 井 秀 樹	滋 賀 平 井 肇 小 河 原 崇 中 橋 一 晃
少年女子	大 阪 岩 田 良 子 水 井 妃佐子 新 木 美志子	熊 本 中 原 敬 子 甲 斐 美 和 宮 村 愛 子	宮 城 立 花 久 枝 矢 野 直 子 伏 見 亜 古

第44回 平成元年 はまなす国体 北海道 日本工学院北海道専門体育館（総合優勝 熊本県）

種別 \ 順位	1 位	2 位	3 位
成年男子	神奈川 長谷川 博 幸 石 場 隆 雄 細 谷 昇	北海道 伊 藤 雅 弘 山 尾 克 則 角 谷 淳 一	京 都 村 尾 勉 山 本 裕 幸 杉 本 吉 男
成年女子	群 馬 野 口 英 代 中 島 真 美 藤 岡 美智子	大 阪 今 村 薫 奥 山 保 子 秋 元 美佐緒	東 京 都 木 弘 美 毛 利 千 秋 星 野 美智代
少年男子	北海道 佐 藤 嘉 伸 郷 路 一 郎 古 川 英 樹	埼 玉 片 山 卓 哉 久保田 雄 三 関 根 靖 則	熊 本 田 上 厚 志 本 田 和 裕 霜 上 和 宏
少年女子	熊 本 宮 村 愛 子 松 田 治 子 阪 本 雅 子	大 阪 水 井 妃佐子 利 川 三 貴 坂 田 美 佐	佐 賀 庄 島 由美子 寺 尾 美 紀 篠 原 久 子

第45回 平成2年 とびうめ国体 福岡県 筑紫野市農業者トレーニングセンター（総合優勝 大阪府）

種別 \ 順位	1 位	2 位	3 位
成年男子	三 重 福 田 実 中 川 健 常 山 兼 二	大 阪 辻 田 泰 昌 奥 野 勉 早 戸 敬 雄	福 岡 荒 木 秀 文 中 村 正 巳 石 井 正 行
成年女子	福 岡 清 水 尚 美 田 村 富士美 田 頭 美奈子	静 岡 金 丸 陽 子 横 手 智江美 山 田 美 紀	大 阪 今 村 薫 奥 山 保 子 三ツ川 貴 子
少年男子	大 阪 岸 田 明 宏 上 瀧 賢 二 片 岡 詔市郎	熊 本 本 田 和 裕 岡 部 英 朗 前 田 尚 史	埼 玉 関 根 靖 則 高 橋 真 増 田 直 樹
少年女子	埼 玉 井 田 貴 子 青 木 由美子 浜 崎 忍	大 阪 松 田 洋 子 杉 田 暢 子 大 田 貴 子	佐 賀 寺 尾 美 紀 篠 原 久 子 鬼 塚 知 美

第46回 平成3年 石川国体 石川県 美川町総合スポーツセンター（総合優勝 石川県）

種別 \ 順位	1 位	2 位	3 位
成年男子	三重 中川 健二 常山 兼一 山内 志	大阪 辻田 泰昌 奥野 勉 早戸 敬雄	石川 毛利 達彦 羽田 義仁 崎田 健一
成年女子	東京 田児 よし子 都木 弘美 立花 久枝	神奈川 青戸 香織 森 真由美 加賀 ゆかり	石川 小泉 陽子 上浜 陽子 中尾 仁美
少年男子	千葉 太田 慎二 石橋 秀法 佐藤 裕二	埼玉 増田 直樹 高橋 真 加賀谷 洋	石川 青木 康 竹鼻 拓也 石本 明男
少年女子	宮城 橋本 淳子 山田 裕美 貴田 泉	群馬 高野 八重 丹野 恭子 田部井 美奈	石川 津田 藍子 安田 香奈 丸山 実支子

第47回 平成4年 ベにばな国体 山形県 新庄市体育館（総合優勝 熊本県）

種別 \ 順位	1 位	2 位	3 位
成年男子	大阪 辻田 泰昌 今井 彰宏 鈴木 草麻生	山形 西山 博司 渡邊 清一 寺島 剛志	北海道 角谷 淳一 工藤 忠和 古川 英樹
成年女子	富山 大堀 麻紀 佐々木 忍 野々村 美春	熊本 林 美希 田畑 美香 上田 純子	東京 田児 よし子 岡山 登紀子 立花 久枝
少年男子	群馬 高橋 幸治 横山 秀之 坂入 秀貴	茨城 成島 瑞穂 樋渡 順也 矢部 正博	熊本 片岡 直茂 花田 政文 野田 亮介
少年女子	大阪 大田 貴子 水井 泰子 川口 桐香	埼玉 小室 恭子 伊藤 さおり 浅井 康代	熊本 宮村 亜貴子 村上 直美 伊藤 真由美

第48回 平成5年 東四国国体 香川県 坂出市立体育館（総合優勝 大阪府）

種別 \ 順位	1 位	2 位	3 位
成年男子	東京 高橋 英治 峯岸 康史 須賀 隆弘	大阪 谷田 尚嗣 植村 昭彦 常山 兼二	三重 中川 健 磯部 昌弘 吉田 義利
成年女子	大阪 西田 美由紀 村上 直美 大田 貴子	熊本 林 美希 田畑 美香 上田 純子	香川 中尾 仁美 川本 光佐子 磯崎 照枝
少年男子	茨城 樋渡 順也 矢部 正博 大橋 雅道	千葉 田中 肇一 池田 哲徳 小倉 伸彦	北海道 井野 嘉久 一宮 孝一 馬木 智一
少年女子	大阪 水井 泰子 川口 桐香 鬼池 めぐみ	北海道 増茂 孝枝 中山 智香子 田村 裕美	富山 山田 潤子 進藤 範子 山田 青子

第49回 平成6年 わかしやち国体 愛知県 大府市民体育館（総合優勝 大阪府）

種 別 \ 順 位	1 位	2 位	3 位
成年男子	東京 須賀隆弘 片山卓哉 久保田雄三	大阪 辻田泰昌 今井彰宏 植村昭彦	富山 気谷篤人 岩渕公一 本山秀昭
成年女子	東京 松尾知美 道上彰子 阪本雅子	富山 佐々木忍 渡辺真由美 高野八重	新潟 竹野景子 遠藤みゆき 亀田幸恵
少年男子	滋賀 酒井将之 諏訪良人 松本徹	北海道 一宮孝一 馬木智一 今西隆浩	石川 津田光一郎 奥森正志 舩田圭太
少年女子	大阪 福島由佳 鬼池めぐみ 市橋美紀	福岡 長谷部裕子 吉富明子 吉武由加里	群馬 中麻依子 岡田真紀 亀山貴代

第50回 平成7年 ふくしま国体 福島県 白河中央体育館（総合優勝 福島県）

種 別 \ 順 位	1 位	2 位	3 位
成年男子	福島 柳谷辰哉 大堀均 平野泰宏	富山 気谷篤人 本山秀昭 本田和裕	大阪 常山兼二 渡辺哲義 岸田明宏
成年女子	福島 棒匡子 大堀麻紀 寺尾美紀	大阪 中山智香子 増茂孝枝 田中美保	富山 佐々木忍 松田治子 高野八重
少年男子	滋賀 松本徹 向裕樹 川口馨士	福島 渡部訓生 沈逸文 竹俣洋平	石川 徳坂涉 栄代正男 舩田圭太
少年女子	石川 中島珠美 片糸由希子 堀哲子	富山 山田青子 石橋陽子 加藤真知子	福岡 吉富明子 大石瞳 稗田華子

第51回 平成8年 ひろしま国体 広島県 三原リージョンプラザ（総合優勝 熊本県）

種 別 \ 順 位	1 位	2 位	3 位
成年男子	富山 今井彰宏 谷内貴昭 本田和裕	熊本 霜上和宏 花田政文 福田茂	北海道 村井秀樹 佐藤嘉伸 水澤直哉
成年女子	富山 河口奈緒美 明石由美 市橋理恵	新潟 竹野景子 斎藤かおり 住矢直美	広島 福井奈美 吉川愛子 渡辺夕子
少年男子	石川 舩田圭太 車浩明 酒井忠相	埼玉 小吹公彦 中西洋介 長嶺宙	熊本 大束忠司 木下伸介 二瓶良
少年女子	埼玉 井川里美 岩脇史 李荔	熊本 杉浦美幸 永峰弘子 橋本純子	大阪 吉岡知香 鄭有璇 安城美華

第52回 平成9年 なみはや国体 大阪府 大東市立体育館（総合優勝 大阪府）

種別 \ 順位	1 位	2 位	3 位
成年男子	東京 児町須久保 嶋田賀田 文隆雄 昇彦弘三	大阪 松常植岸 井山村田 峰兼昭明 生二彦宏	福岡 森清棟五十 水居嵐一 裁文秀一 美武行智
成年女子	大阪 宮井中増 崎田山茂 克貴智孝 巳子枝寛	奈良 谷水渡権二 井井辺藤 妃佐子子 章子子子	富山 河高河市 合野口橋 昭八奈緒 重美紀
少年男子	大阪 和仲永福 尾谷川 泰修和 寛一也	熊本 大中和 藤束村 真寿 二良也	石川 彼車酒茶 井谷上 浩忠徳 範明相
少年女子	福岡 樽森中三 野内好 智かお 子り子緒	石川 和田舛田 美恵 修幸恵理	大阪 西福安速 永城水 正麻美 一美華子

第53回 平成10年 かながわ・ゆめ国体 神奈川県 大和市スポーツセンター体育会館（総合優勝 大阪府）

種別 \ 順位	1 位	2 位	3 位
成年男子	富山 今鈴今大 泉木井山 草紀宏 勉生夫司	東京 児町須渡 嶋田賀邊 文隆清和 昇彦弘一	大阪 松岸松川 井田井口 峰明 馨 生宏充
成年女子	奈良 大谷水松 井田橋 泰治理 子子恵二	茨城 磯米大岩 倉坂松根 奈子尋子 務彦史	富山 河高河明 合野口石 昭八奈緒 重美紀
少年男子	熊本 権大中茂 藤束村見 浩真寿祥 二也史平	埼玉 関橋平川 根村山崎 竜政和 彦史宗	石川 彼酒茶山 井谷下 重忠徳 範相靖
少年女子	福岡 樽中藤松 野内本尾 智景乃 子子恵子	大分 吉末赤赤 田綱尾尾 信聡美亜 子子代希	埼玉 加大山謝 藤熊口 倫絵婷 勝子美婷

第54回 平成11年 くまもと未来国体 熊本県 八代市総合体育館（総合優勝 熊本県）

種別 \ 順位	1 位	2 位	3 位
成年男子	熊本 石霜花大 黒上田束 之和政忠 久宏文司	富山 今今大吉 泉井山川 紀宏大三 勉夫司助	神奈川 石舛清古 場田水川 隆圭隆裕 雄太志
成年女子	大阪 大宮鬼森 崎池本谷 克めぐお 巳みり子	茨城 大中大権 塚倉島坂 加曉千浩 奈子子尋	富山 河山山岡 合本田田 昭静潤青 子子子子
少年男子	東京 洪安佐々 藤木神尾 康翔 憲美穂 一子恵郁	熊本 権茂池土 伊田松野 礼真幸千 緒義男晴子	香川 岡二前木 野宮田場 佳和文 正曉詩
少年女子	福岡 明松藤脇 神尾本坂 乃 美乃 子子恵郁	熊本 伊田松野 幸千舞理 加	埼玉 中陳大広 下岡 敏娜織香

第55回 平成12年 2000年とやま国体 富山県 高岡市民体育館（総合優勝 富山県）

種別 \ 順位	1 位	2 位	3 位
成年男子	富山 今谷大 泉井内山 紀貴宏 勉夫昭司 樹子子 奈佳子 美治翔一 仁子代琳	熊本 村花田古 中田上井 陽政良博 介文治高 努子晴予 明介夫遠 二幸代晶	神奈川 石舛清古 場田水川 隆圭隆裕 雄太志輔 博香子子 司平大純 三美子香
成年女子	茨城 今谷大 泉井内山 紀貴宏 樹子子 奈佳子 美治翔一 仁子代琳	大阪 村花田古 中田上井 陽政良博 介文治高 努子晴予 明介夫遠 二幸代晶	富山 石舛清古 場田水川 隆圭隆裕 雄太志輔 博香子子 司平大純 三美子香
少年男子	東京 今谷大 泉井内山 紀貴宏 樹子子 奈佳子 美治翔一 仁子代琳	富山 村花田古 中田上井 陽政良博 介文治高 努子晴予 明介夫遠 二幸代晶	北海道 石舛清古 場田水川 隆圭隆裕 雄太志輔 博香子子 司平大純 三美子香
少年女子	青森 今谷大 泉井内山 紀貴宏 樹子子 奈佳子 美治翔一 仁子代琳	富山 村花田古 中田上井 陽政良博 介文治高 努子晴予 明介夫遠 二幸代晶	長崎 石舛清古 場田水川 隆圭隆裕 雄太志輔 博香子子 司平大純 三美子香

第56回 平成13年 新世界・みやぎ国体 宮城県 塩竈市体育館（総合優勝 富山県）

種別 \ 順位	1 位	2 位	3 位
成年男子	富山 今吉舛大 泉川田東 大圭忠 勉助太司 一子美希 実仁一士 仁子琳子 代琳	熊本 村古花田 中井田上 陽博政良 介高文治 天子澄恵 司仲史也 二都晶代	埼玉 中中福加 條村井谷 憲剛昭潤 美知峰克 佳信麻一 麻衣子
成年女子	千葉 今吉舛大 泉川田東 大圭忠 勉助太司 一子美希 実仁一士 仁子琳子 代琳	茨城 村古花田 中井田上 陽博政良 介高文治 天子澄恵 司仲史也 二都晶代	富山 中中福加 條村井谷 憲剛昭潤 美知峰克 佳信麻一 麻衣子
少年男子	東京 今吉舛大 泉川田東 大圭忠 勉助太司 一子美希 実仁一士 仁子琳子 代琳	埼玉 村古花田 中井田上 陽博政良 介高文治 天子澄恵 司仲史也 二都晶代	青森 中中福加 條村井谷 憲剛昭潤 美知峰克 佳信麻一 麻衣子
少年女子	青森 今吉舛大 泉川田東 大圭忠 勉助太司 一子美希 実仁一士 仁子琳子 代琳	富山 村古花田 中井田上 陽博政良 介高文治 天子澄恵 司仲史也 二都晶代	大分 中中福加 條村井谷 憲剛昭潤 美知峰克 佳信麻一 麻衣子

第57回 平成14年 よさこい高知国体 高知県 南国市立スポーツセンター（総合優勝 東京都）

種別 \ 順位	1 位	2 位	3 位
成年男子	富山 今谷大 泉井内山 紀貴宏 勉夫太司 一子美希 実仁一士 仁子琳子 代琳	北海道 古水三長 川澤上原 英直裕正 樹哉司博 人子子子 司也祐巳 治侑舞佳	大阪 渡川一谷 辺口宮内 哲馨孝貴 久良奈子 幸信洋太 一裕美優 希
成年女子	千葉 今谷大 泉井内山 紀貴宏 勉夫太司 一子美希 実仁一士 仁子琳子 代琳	宮城 古水三長 川澤上原 英直裕正 樹哉司博 人子子子 司也祐巳 治侑舞佳	東京 渡川一谷 辺口宮内 哲馨孝貴 久良奈子 幸信洋太 一裕美優 希
少年男子	東京 今谷大 泉井内山 紀貴宏 勉夫太司 一子美希 実仁一士 仁子琳子 代琳	埼玉 古水三長 川澤上原 英直裕正 樹哉司博 人子子子 司也祐巳 治侑舞佳	滋賀 渡川一谷 辺口宮内 哲馨孝貴 久良奈子 幸信洋太 一裕美優 希
少年女子	青森 今谷大 泉井内山 紀貴宏 勉夫太司 一子美希 実仁一士 仁子琳子 代琳	岐阜 古水三長 川澤上原 英直裕正 樹哉司博 人子子子 司也祐巳 治侑舞佳	宮城 渡川一谷 辺口宮内 哲馨孝貴 久良奈子 幸信洋太 一裕美優 希

第58回 平成15年 NEW!!わかふじ国体 静岡県 富士宮市民体育館（総合優勝 東京都）

種別 \ 順位	1 位	2 位	3 位
成年男子	東京 児久保 嶋田雄 昇三哉裕一	岡山 藤松尾佐山 原川崎伯並 道大勝浩正 弘記久一人	宮城 原草山鈴 田井下木 利洋知 雄篤平道
成年女子	千葉 中寺松赤 新悦友垂 一子美希	宮城 山小長徳 永林木川 正尚美幸 住子子子	熊本 今末中今 大屋尾田 彰聡景幸 貴祐俊
少年男子	滋賀 藤数早 上野川崎 良健賢修 貴太一平裕優	東京 高堀林 屋柳澤 知美香 仁子紀里	埼玉 大黒宗工 吉前岡 勇征美ひとみ
少年女子	宮城 常平松麻 咲まさよ	青森 高小藤今 別府	熊本 熊本

第59回 平成16年 彩の国まごころ国体 埼玉県 久喜市総合体育館（総合優勝 埼玉県）

種別 \ 順位	1 位	2 位	3 位
成年男子	富山 今舛大 泉田圭 勉太司也	埼玉 中山福中 條田井西 彪孝士介	北海道 小松竹長 倉本村原 隆正 司章純博
成年女子	熊本 今末幡前 井綱谷田 宏子美順	宮城 山小長平 並川繩山 正尚美佳 子子優	東京 岩田媚今 別府 上川崎下 良賢修剛
少年男子	東京 茨藤堀高 谷田川階 真善知 仁里と希	埼玉 遠山松 倉橋上 康沙春舒	滋賀 藤早早川 常松麻大 貴咲ま
少年女子	青森 高本藤 別府間井 香ちさ瑞	埼玉 名高井李	宮城 田村植阪

第60回 平成17年 晴れの国おかやま国体 岡山県 岡山市総合文化体育館（総合優勝 埼玉県）

種別 \ 順位	1 位	2 位	3 位
成年男子	富山 荒舛大 木田束束 主忠真 純太司也	埼玉 中山福中 條田井西 英剛洋 彪孝士介	東京 町松川清 田本口内 文馨 貴 彦徹士裕
成年女子	岐阜 尾後脇吉 藤藤田村 征貴純智拓 治愛侑美	熊本 今末今前 西佐三米 井上永山 彰聡幸美 文祐達優 秀春翔智	大阪 谷脇多今 別府 上崎中下 浩麻亜 なつき
少年男子	埼玉 大林三上 橋田屋間井 ちさ瑞令	岡山 西佐三米 井上永山	滋賀 藤早田川 車浜樽南
少年女子	青森 高本藤垣	埼玉 田井富作	石川 中野出

第61回 平成18年 のじぎく兵庫国体 兵庫県 宝塚市立総合体育館（総合優勝 埼玉県）

種別 \ 順位	1 位	2 位	3 位
成年男子	富山 今外大劉 泉田束 主忠志 勉太司遠子史子香	埼玉 中仲井山今幡今岡 條尾上田井谷井 修知和彰好幸ひとみ 彪一也司宏美代み	秋田 鈴木西鈕 鈴木浦 理和佳伸 之翔広平治愛侑美
成年女子	埼玉 小岩大広 室脇熊岡屋田児木 貴拓賢 司馬一啓明恵菜き	熊本 熊本 今幡今岡 戸口川木村田井木岩 直里勝真瑞理令	岐阜 尾後脇古権武嘉園 藤藤田村藤山村田井森木森 征浩修健啓秀 佑里子
少年男子	埼玉 大上田佐々木 浩唯さ	福井 木松笹川藤藤佐垣 戸口川木村田井木岩 直里勝真瑞理令	熊本 権武嘉園 藤山村田井森木森 征浩修健啓秀 佑里子
少年女子	石川 車樽木南 野村出	青森 青森 藤藤佐垣	埼玉 田部井森木森 大三中

第62回 平成19年 秋田わか杉国体 秋田県 美郷総合体育館（総合優勝 秋田県）

種別 \ 順位	1 位	2 位	3 位
成年男子	秋田 鈴木菅鈕 木野 理俊佳 之翔助平修幸恵恵	富山 今平劉菊鈴三金下 泉田 典志健康奈路 勉靖遠一修緒子彩	滋賀 酒数早早 井野川崎 良健賢修和雅可真 之太一平彦美奈実
成年女子	石川 和田梅樽 田井津野屋丸児田 貴一賢 司輝一周人佳枝衣	秋田 鈴三金下 藤村田黎 浩健啓将浩みどり彩津	神奈川 鶴坂伊内 戸口浦京井神原田賀 正尚哲憲文 さやみ
少年男子	埼玉 大松田和 藤垣内橋	熊本 権嘉園今給黎 井上谷	福井 木松千坂明栗植古
少年女子	青森 青森 藤垣内橋	石川 車桜村三	福岡 明栗植古

第63回 平成20年 チャレンジ！おおいた国体 大分県 日田市総合体育館
（総合優勝 東京都・熊本県・富山県・青森県）

種別 \ 順位	1 位	2 位	3 位
成年男子	富山 荒平劉古 木田財井谷井岩島松野田所橋藤友 典志和彰好瑞令義 拓和光礼牙美佐紀 純靖遠輝宏美希佳浩純二憲男華香紀	東京 笹早廣岩 林坂部脇 義幸好峰 春平輝生雄緒子佳信也俊人人衣春楓	埼玉 中井上松 西上田丸 洋知拓一昌靖可匡 介也馬輝一代奈世潤翼弘貴嗣理み子
成年女子	熊本 今幡藤垣北末北原田高佐松	秋田 原三金楠藤矢村宇藤橋米佐	東京 堀野尻 尾府東野 祭島田庭田 後万
少年男子	福岡 北末北原田高佐松	滋賀 藤矢村宇藤橋米佐	青森 戸北吉櫻谷西久福
少年女子	宮城 宮城	青森 青森	大阪 大阪

第64回 平成21年 トキめき新潟国体 新潟県 五泉市総合会館（総合優勝 東京都）

種別 \ 順位	1 位	2 位	3 位
成年男子	東京 笹廣 岩山 林部 脇田 義好 峰和 春輝 生司 子愛 侑恵 司平 晃也 人楓 穗里	熊本 村武 園嘉 中山 田村 陽修 啓健 介三 悟士 雄子 緒佳 二俊 太介 明津 梨佳	宮城 草菊 佐木 井田 藤戸 健道 貴か おり 里由 徳介 平介 二子 加淑
成年女子	岐阜 山後 脇江 大星 小長 谷川 田藤 中丸 藤佐 田市	秋田 原金 三楠 権嘉 坂平 車三 平三 谷野 納	大阪 谷森 今別 府谷 林瀬 岡 谷西 橋尾
少年男子	埼玉 大星 小長 谷川 田藤 中丸 藤佐 田市	熊本 権嘉 坂平 車三 平三 谷野 納	東京 小間 高鄭 麦古 高中
少年女子	青森 藤佐 田市	石川 車三 平三 谷野 納	富山 谷西 橋尾

第65回 平成22年 ゆめ半島千葉国体 千葉県 野田市関宿総合公園体育館、野田市総合公園体育館（総合優勝 埼玉県）

種別 \ 順位	1 位	2 位	3 位
成年男子	千葉 野佐 山川 村藤 口内 和翔 公崇 弘治 洋士 子愛 侑恵 司久 気憲 夫沙 霞望	東京 坂廣 池佐 本部 田伯 修好 雄祐 一輝 一行 修幸 恵奈 均斗 一郎 佑司 美み 花	富山 荒古 橋黒 木財 本瀬 和博 尊将 早し の紀 ぶ加 一輝 也磨 二子 加淑
成年女子	岐阜 山後 脇江 大和 竹竹 大中小 奥	石川 和田 樽伊 大桃 松小 下峰 與城	兵庫 酒木 小大 有相 小佐 麦高 古中
少年男子	埼玉 大和 竹竹 大中小 奥	福島 大桃 松小 下峰 與城	大阪 田和 高野 谷橋 西尾
少年女子	埼玉 大中小 奥	愛知 猶口	富山 麦高 古中

第66回 平成23年 おいでませ！山口国体 山口県 光市総合体育館（総合優勝 埼玉県・東京都）

種別 \ 順位	1 位	2 位	3 位
成年男子	東京 坂池 藤埜 毛三 伊樽 大齋 桃松 藤福 篠窓	富山 荒小 黒銭 尾脇 梅江 大古 井金 大小 奥渡	山口 大山 松米 原楠 馬下 小関 森吉 車芝 木星
成年女子	石川 毛三 伊樽 大齋 桃松 藤福 篠窓	岐阜 尾脇 梅江 大古 井金 大小 奥渡	秋田 原楠 馬下 小関 森吉 車芝 木星
少年男子	福島 大齋 桃松 藤福 篠窓	埼玉 大古 井金 大小 奥渡	東京 林口 田川 野村
少年女子	青森 藤福 篠窓	埼玉 大小 奥渡	石川 野村

第67回 平成24年 ぎふ清流国体 岐阜県 池田町総合体育館（総合優勝 埼玉県）

種別 \ 順位	1 位	2 位	3 位
成年男子	埼玉 中山遠上 條田藤田 和大拓伸 彪司由馬	富山 荒園嘉武 木田村下 啓健利良 純悟士一	千葉 野竹大松 村内越丸 和宏一達 弘気泉輝
成年女子	岐阜 尾後脇江 藤藤田藤 理貴拓祐 治愛侑恵	東京 岩今田土 別府村井 子代秋奈 均斗郎朗	石川 毛伊樽三 利東野谷 美修駿剛 津一輔史
少年男子	埼玉 大井金西 屋上子本 貴拓祐拳 斗樹太樹	福島 大桃松保 堀田居木 賢圭卓真 一郎朗人	滋賀 仲河三宮 尾崎川津 修駿剛雄 輔史大幸
少年女子	埼玉 山奥渡中 田原邊西 秀希あか 樹望ね映	青森 藤永中宮 田田村浦 恭玲奈	富山 松山松野 田口田上 高ソヨ碧 三力蒼水

第68回 平成25年 スポーツ祭東京2013 東京都 町田市立総合体育館（総合優勝 埼玉県）

種別 \ 順位	1 位	2 位	3 位
成年男子	富山 荒佐園嘉 木田村水 啓健文礼 純翔悟士	埼玉 中遠山和 西藤田田 洋大和桂 介由司周	東京 坂数上早 本野田川 修健拓賢 一太馬一
成年女子	東京 清高松土 水橋友井 文礼美杏 武華紀奈	熊本 吉峰福廣 島田農山 桂歩由彩 美紀花一	岐阜 山脇江山 田藤本富 理紗勝勇 子侑恵柳
少年男子	埼玉 大五中野 屋嵐里寺 裕裕真玲 司優貴介	大阪 下常正山 田農山田 幹聖秀貴 一走太也	福岡 成原馬越 富口場田 勇拓湧芳 成蒼樹幸
少年女子	青森 藤宮永永 田浦田原 和可那	埼玉 山中清川 田西水島 秀貴里	富山 越松金中 田浦村 紗

第69回 平成26年 長崎がんばらば国体 長崎県 長崎市民会館（総合優勝 埼玉県）

種別 \ 順位	1 位	2 位	3 位
成年男子	石川 長伊坂小 谷東井林 克一彰 進範将晃	北海道 小竹佐々 倉村木田 隆大將 司純翔輝	東京 坂数埤堀 本野畑内 修健亮研 一太太人
成年女子	熊本 今伊福廣 井東島田 彰可由彩 宏奈紀花	兵庫 酒大平杉 井迫野野 大将晴華 之加梨保	東京 内土鈴板 藤井木垣 祐杏温有 子紀均穂
少年男子	大阪 下小常本 田農倉山 圭由幹裕 一走嵩太	埼玉 大玉中渡 屋手田邊 貴勝政航 輝秀貴人	福島 大古渡三 堀賀辺橋 勇健智里 大也寛羅
少年女子	福島 多堀野上 有紗恵奈	青森 藤安園荒 田田木	埼玉 三堂川尾 下島崎口 里沙涼

第70回 平成27年 紀の国わかやま国体 和歌山県 岩出市立市民総合体育館（総合優勝 福島県）

種別 \ 順位	1 位	2 位	3 位
成年男子	福島 二内齋松 瓶藤藤居 浩太圭一 良司一郎	埼玉 田部井丸内雅 松堀古原楠米田 瀨元中川山下本 田藤畑島	宮城 諸堀鈴大内土鈴仲 大小森渡高荒岡小
成年女子	熊本 今伊福廣 大渡三山小鈴山西	秋田 宏奈紀花均大也貴年貴茜花	東京 大善大圭祐杏温由紀 貴佳秀航秀萌みなみ
少年男子	福島 堀辺橋澤林木口江	岡山 勇健直陽咲彩	埼玉 司汰斗貴雄恵天み
少年女子	福井 小鈴山西	埼玉 千葉	

第71回 平成28年 希望郷いわて国体 岩手県 北上総合体育館（総合優勝 熊本県）

種別 \ 順位	1 位	2 位	3 位
成年男子	富山 荒山常下 木口山農 容幹 純正太走	宮城 諸堀鈴佐 内土鈴高 大渡小岡車大楮南	熊本 井池権小山道川尾 権平山小高岡小有
成年女子	熊本 今伊福廣 本山金久保大仁吾高	東京 宏奈紀花樹貴大祐均月弥香	埼玉 秀京里沙浩拓大秀みなみ友理奈
少年男子	福島 多澤子田堀平妻橋	埼玉 貴航雅洋浩夏萌一	熊本 二透摩佑雄天み奈
少年女子	福島 菜咲明日香	石川	千葉

第72回 平成29年 愛顔つなぐえひめ国体 愛媛県 砥部町陶街道ゆとり公園体育館（総合優勝 埼玉県）

種別 \ 順位	1 位	2 位	3 位
成年男子	富山 荒西常下 木本山農 拳幹 純太太走	福島 渡松古三山川尾西井長小岩竹柳淺宮	埼玉 中竹小渡吉峰志松 林村辻滝滝正吉上
成年女子	秋田 原米田川 藤本中田部倉澤澤	埼玉 田島崎口出峰川切光井井内	熊本 義佳航桂步千奈貴竜凌友捺瑠
少年男子	熊本 権小田森磯島海老澤	宮崎	長崎
少年女子	茨城	山口	埼玉

第73回 平成30年 福井しあわせ元気国体 福井県 勝山市体育館「ジオアリーナ」 (総合優勝 埼玉県)

種別 \ 順位	1 位	2 位	3 位
成年男子	富山 荒保小常 木林山 卓優幹 純朗吾太緒佑那奈司貴輝基亮杏夏実瑠	埼玉 中井金渡三綿山西明宇佐高芝海佐興 條上子邊背矢口江石治野橋田原川石 拓祐航 汐 彩浩巧大洸由紀恵澄香江里香	北海道 吉東渡三横星小大松一藤山高山栗 田野部枝山 野家川井井川瀬田原原 圭 力康千葉夏大亮 秀あ琉 仁吾大起博智保稀記太凌翼雄楓り夏
成年女子	秋田 三松永川大 好本原上屋山川藤内杉藤田 奈麻和可恵貴裕大太	福井 三綿山西明宇佐高芝海佐興	石川 野家川井井川瀬田原原
少年男子	埼玉 大中緑加滝上齋吉	大阪 高芝海佐興	岡山 瀬田原原
少年女子	埼玉 滝上齋吉	栃木 高芝海佐興	千葉 瀬田原原

第74回 令和元年 いきいき茨城ゆめ国体 茨城県 石岡市石岡運動公園体育館 (総合優勝 熊本県)

種別 \ 順位	1 位	2 位	3 位
成年男子	富山 荒下武久保田 木農下田 純走一祐一美乃七浩大樹也人優羽奈	熊本 前山霜田 田田上中 尚和雄湧一恵利佳貴拓 史司一士ン奈望歩司海輝陸至希知美	東京 坂五小馬 本嵐寺場 修 裕湧明千葉夏貴祥 一和 明も 一優介生彦智保稀昭英巧樹弘彩華え
成年女子	熊本 池峰仲福奈良岡藤慈田橋田藤 雄歩由真恵功映友真美美佑	茨城 神谷ジャニー恵利佳貴拓 田水橋屋上口野光廣廻津	石川 星小大林中杉磯海小青
少年男子	青森 奈良岡藤慈田橋田藤 功映友真美美佑	埼玉 高芝海佐興	長崎 瀬田原原
少年女子	青森 藤高内加	山口 高芝海佐興	茨城 瀬田原原

第75回 令和2年 燃ゆる感動かごしま国体 鹿児島県 指宿総合体育館 (中止)

第76回 令和3年 三重とこわか国体 三重県 三重県営サンアリーナ (中止)

第77回 令和4年 いちご一会とちぎ国体 栃木県 栃木県立県北体育館 (総合優勝 埼玉県)

種別 \ 順位	1 位	2 位	3 位
成年男子	富山 荒金大奏吉古川今本岩谷崎藤石小清 木子林野富川添井多野岡野田川林瀬 真拓 桂佳麻莉裕滉大翔真心仪璃 純大真陸子奈子子樹也后太人菜花子	埼玉 山川河百名林上吉林櫻南奥高岡竹黒 田本村上倉 杉田 井本野瀬本澤川 秀拓 拓康 瑠貴煌和天秀萌み璃 樹真翼海弘樂杏実昭介哉斗雄未み子	愛知 平松村馬屋 典健竜大祐未 百真隼光知 夢未愛 靖太馬樹輔帆薫伽琴也河弘亮楓空花
成年女子	岐阜 吉古川今本岩谷崎藤石小清	埼玉 高芝海佐興	東京 瀬田原原
少年男子	福島 高芝海佐興	長崎 瀬田原原	富山 瀬田原原
少年女子	青森 高芝海佐興	千葉 高芝海佐興	埼玉 瀬田原原

特別国民体育大会 令和5年 燃ゆる感動かごしま国体 鹿児島県 指宿総合体育館 (総合優勝 埼玉県)

種別 \ 順位	1 位	2 位	3 位
成年男子	富山 荒金高大 木子橋林 真洸拓 純大士真子奈子七司大介志至彩花香	滋賀 村西藤増 上川原本 俊郎祐祐夫杏美楓潤大斗樹人子音菜	東京 上柴森武棟齋重久本谷松川西岸根西
成年女子	岐阜 大吉古川小大沖角澤竹田宮砂	埼玉 戸上宮石戸今菅田藤清横平	山口 田田口井居藤田湊多岡川野山本波田
少年男子	埼玉	青森	福島
少年女子	山口	青森	長崎

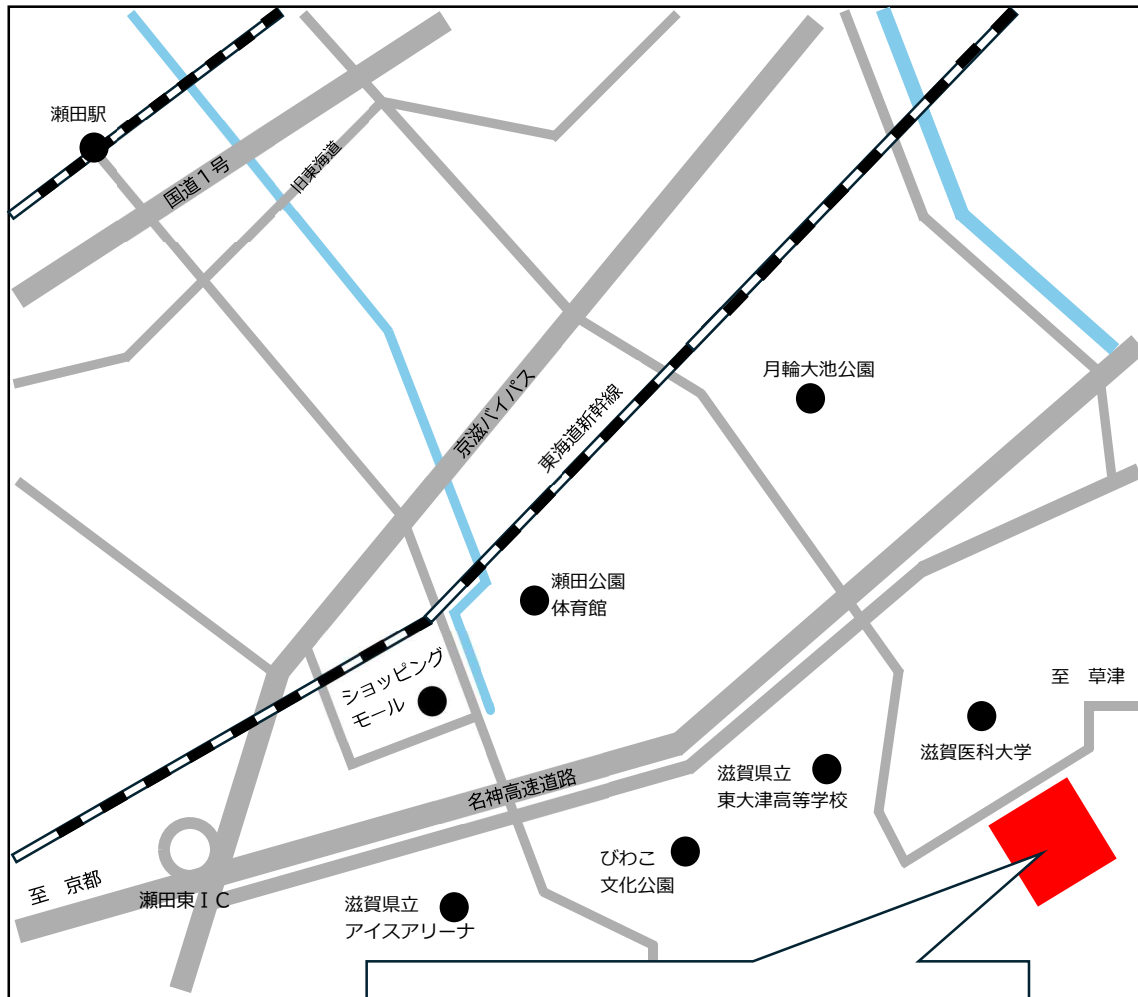
第78回 令和6年 SAGA2024 佐賀県 唐津市文化体育館 (総合優勝 埼玉県)

種別 \ 順位	1 位	2 位	3 位
成年男子	東京 落古武沖 合賀井本 久凜優雄奈莉陽友珠 夫輝生大一未子菜巨希李遙行香季優	埼玉 山小遠川 田寺藤本 秀雅彩拓洋ひ奈風智琥叶愛未紗	滋賀 村西増衣名上鈴小明大中眞藤東工浅
成年女子	熊本 池松郡明齋江藤増棟砂松中	福島 竹水山阿堂有高石滝高八榎	埼玉 上川本川倉杉木原石山塚砂田谷藤野
少年男子	福島	埼玉	大阪
少年女子	山口	埼玉	青森

第79回 令和7年 わたSHIGA輝く国スポ 滋賀県 滋賀ダイハツアリーナ

種別 \ 順位	1 位	2 位	3 位
成年男子			
成年女子			
少年男子			
少年女子			

競技会場案内図



会場：滋賀ダイハツアリーナ（滋賀アリーナ）
（大津市上田上中野町 779 番地）

◆会場へのアクセス

電車

JR 琵琶湖線「瀬田駅」からタクシーで約 15 分（バス停：滋賀アリーナ 降車）

路線バス

帝産湖南交通 / 大学病院（滋賀県）行「滋賀アリーナ」徒歩約 1 分

無料シャトルバス

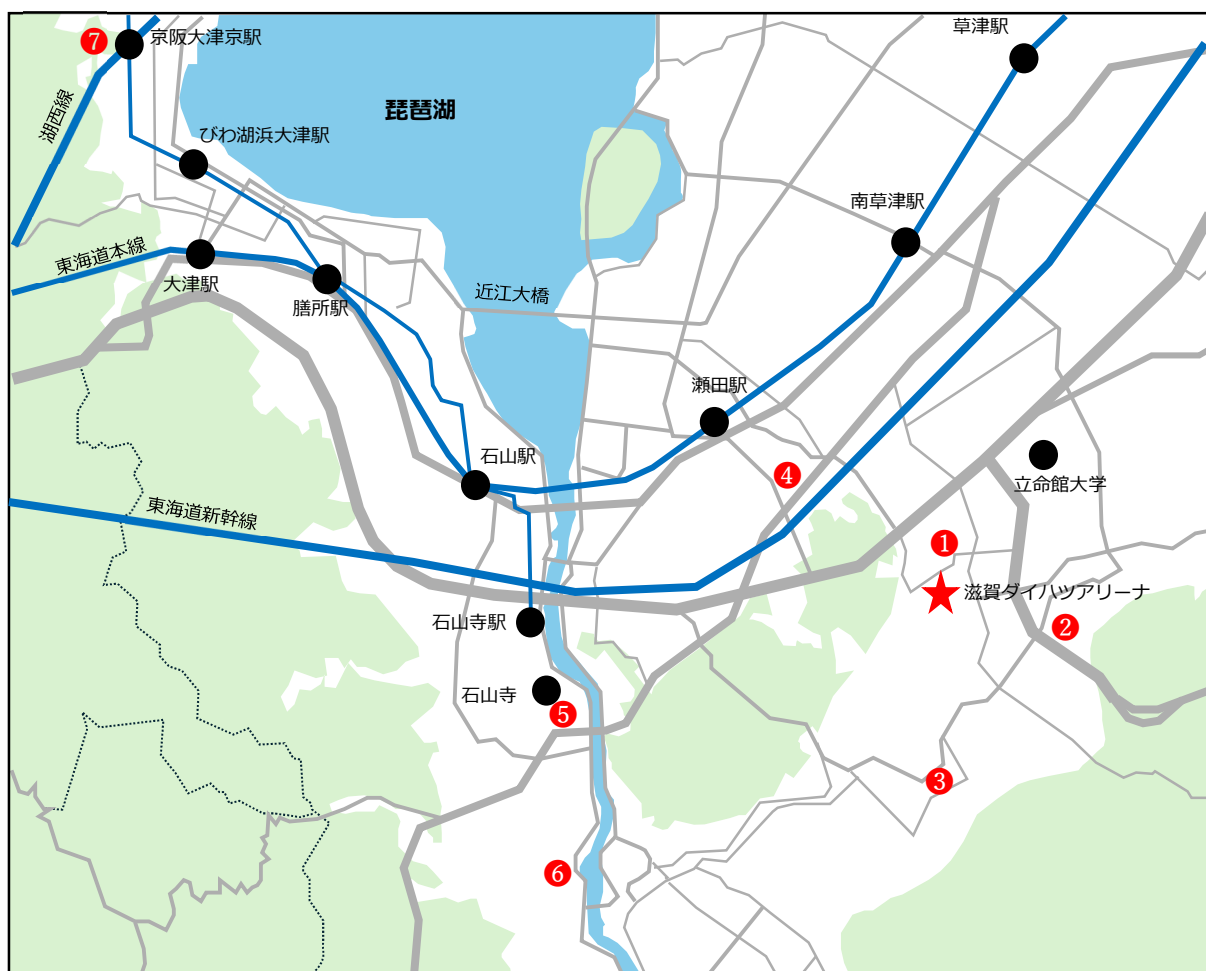
近江鉄道大津営業所（臨時駐車場）⇔滋賀ダイハツアリーナ（滋賀アリーナ） / 約 15 分

＜パークアンドバスライド＞ 9 月 28 日（日）～ 10 月 1 日（水）

【自家用車】

新名神高速道路「草津田上 IC」から約 5 分

練習会場案内図



【競技会場】

滋賀ダイハツアリーナ（滋賀アリーナ）

住所

大津市上田上中野町 779 番地

【練習会場】

競技会場までの所要時間は記載のとおり。

① 国立大学法人滋賀医科大学（徒歩 3 分）

大津市瀬田月輪町七丁目 6

② 大津市立上田上小学校（車 5 分）

大津市平野一丁目 18 番 5 号

③ 龍谷大学瀬田キャンパス体育館（車 6 分）

大津市瀬田大江町横谷 1 番 5 号

④ 瀬田公園体育館（車 8 分）

大津市一里山六丁目 9 番 1 号

⑤ 石山市民体育館（車 11 分）

大津市石山寺三丁目 10 番 35 号

⑥ 大津市立南郷小学校体育館（車 15 分）

大津市南郷一丁目 15 番 9 号

⑦ 皇子が丘公園体育館（車 35 分）

大津市皇子が丘一丁目 1 番 1 号

第79回国民スポーツ大会 バドミントン競技会

滋賀ダイハツアリーナ

競技会場 1 階



第79回国民スポーツ大会 バドミントン競技会

滋賀ダイハツアリーナ

競技会場 2 階



- | | |
|-----------------|----------------------|
| トイレ | 多目的トイレ |
| 売店・キッチンカー | 無料ドリンクコーナー・給水スポット |
| ふるまい | 休憩所 |
| きんまいブース (PRブース) | シャトルでダーツ・シャトルでキーホルダー |
| エレベーター | 車いす席 |
| 救護所 | AED |
| 授乳室・おむつ交換所 | カームダウンスペース |
| 筆談可能 | 思いやり駐車場 |
| 喫煙所 | シャトルバス乗降所 |
| ADチェック | ゴミ箱 |

競技上の注意

- 1 本競技会は、2025 年度公益財団法人日本バドミントン協会 競技規則・大会運営規程並びに公認審判員規程により実施します。
- 2 大会会場での服装については、公益財団法人日本スポーツ協会『国民スポーツ大会ユニフォーム規程』を優先適用します。規程に含まれない項目は、上記 1 に基づきます。従って、会場への入場から退場まで、マッチ前のウォームアップを含め、ベンチに控えている際にも都道府県名表示のある上衣を着用することになります。

なお、競技に際しては、上衣背面中央に縦 6～10cm、横 30cm 以内の範囲に都道府県名を単一色で明示してください。文字は、上衣背面の都道府県名明示部分の色と明確に区別できる色の漢字とします。また、ゼッケンを使用する場合には、縦 15cm、横 30cm を基準とし、必ず四隅を固定してください。文字列の大きさについては上記と同様大会運営規程第 24 条によります。
- 3 競技者は対抗戦開始予定の 1 時間前には会場に到着してください。
- 4 オーダー用紙は、当該対抗戦開始予定時刻 45 分前に、監督がオーダー交換所へ提出し、その場で対戦相手と交換してください。

ただし、45 分前の時点で前の対抗戦が継続している場合は、終了後ただちに提出してください。定時（指示のあった時刻）までに提出されない場合は「棄権」とみなします。

 - (1) オーダー交換は、オーダー交換所でデピュティレフェリーの立ち合いの下行います。

※ 予備のオーダー用紙は、オーダー交換所に用意してあります。
 - (2) オーダー用紙は、初回対抗戦分を監督会議時に配布します。
 - (3) 各対抗戦終了後、勝利チームに次対抗戦用のオーダー用紙を主審から配布します。
 - (4) 第 1 日目から 3 日目の第 1 試合（9 時 30 分開始）のオーダー交換は 8 時 45 分から行います。
 - (5) 第 4 日目の第 1 試合（10 時 00 分開始）のオーダー交換は 9 時 15 分から行います。
- 5 対抗戦は、ダブルス→第 1 シングルス→第 2 シングルの順で行います。対抗戦の勝敗は、先取マッチ方式で決定し、勝敗決定後の残りのマッチは打ち切りとします。
- 6 競技の進行状況に応じて、予定された開始時刻やコートを変更することや、コートを並行することがあります。放送には十分注意してください。
- 7 監督・プレーヤーは、対抗戦開始予定時刻 20 分前までに選手集合所に集合を完了して、招集委員の確認を受け、指示に従ってください。ただし、その時点で前の対抗戦が継続している場合は、放送の指示により選手集合所に集合してください。集合に際しては、『ID カード』を確認できる位置に表示（着用）してください。

勝ち上がったチームの対抗戦が連続する場合は、前の対抗戦終了 30 分後に次の対抗戦を開始します。
- 8 コートへの入場及び退場については、主審の指示に従ってください。対抗戦開始時、終了時とも、チームは指定コートのショートサービスライン上に整列してあいさつを行ってください。

- 9 マッチ開始前のウォームアップは、対戦チームとあいさつを交わした後、マッチ毎に主審が審判台に座った時から「(ラブオール) プレー」のコールまでの3分間としますが、主審の「レディー トゥ プレー (マッチ開始の準備をしてください。)」のコールでウォームアップを終了し、マッチ開始の準備をしてください。なお、当初から2コート以上を用いる場合も、同様に、マッチの開始前に3分間行ってください。
ウォームアップは、ダブルスではパートナーと、シングルスでは対戦者同士で行ってください。シャトルは本部で準備します。
- 10 コーチ席を各コート（主審側）に2席設置します。着席できるのは、監督・プレーヤーに限ります。プレーヤーが着席する場合にも、コーチの服装規定（公認審判員規程第5条第12項(8)(9)）が適用されますので、長ズボンまたはスカートの着用が必要です。
- 11 本競技会では、ステンシルマークは表示できません。
- 12 インターバルは、競技規則第16条第2項通り認めます。インターバル中、コートでアドバイスできるのは監督・プレーヤー（コーチの服装規定遵守者）で、同時に2名までとします。各ゲーム間と第3ゲームのインターバルでは、当該プレーヤーがエンドを替えた後にコートに入らなければなりません。主審が「○コート 20 秒」のコールを行ったら、当該プレーヤー以外は速やかにコートから離れなければなりません。
- 13 ダブルスと第1シングルスに同一プレーヤーが出場する場合は、主審への申し出によりウェアの着替えのみを認めますが、速やかに行わない場合はプレーの遅延（競技規則第16条第6項）として処置します。
ダブルスと第2シングルスに同一プレーヤーが出場する場合は、ダブルスの終了から15分後に第2シングルスを始めます。
- 14 プレーの中断は、主審が認めた場合を除き一切認められません。マッチ中のケガ等の場合、コートに入ることを許されるのは、レフェリーまたはデピュティレフェリーが必要と認める医療役員等に限られています。
- 15 競技規則 第9条 サービス 第1項(5)
サーバーは、スピン（回転）を加えずにシャトルを放し、ラケットで最初にシャトルの台を打つものとする。(R7.4.30 改訂)の遵守をお願いします。
- 16 マッチ中の水分補給、汗ふきなどは主審の許可を得なければなりません。
(次のサービスの準備がされる間に瞬時の素早いタオルの使用は認める。)
- 17 コートに持ち込む物品について。
- (1) タオル・ラケット・水分補給用のボトル等は、各自コートサイドにバッグを持ち込んで、すべてを保管してください。
 - (2) 容器は倒れてもこぼれないフタ付ボトルを使用してください。
床が濡れた場合は、各チームの責任で。清掃して下さい。
 - (3) 氷嚢は、ベンチで保管してください。
 - (4) クーラーボックスを持ち込む際は、ソフトタイプの小型の物のみとし、ベンチで保管して下さい。
 - (5) 氷嚢、シューズ底のクリーナーマット等の使用は、インターバル中のみとします。

- 18 ラケットやシャトルの交換時、試打は禁止されています。
- 19 競技フロアでは、競技者（監督・プレーヤー等）の携帯電話、パソコンなどの電子機器やカメラの使用を禁止します。競技フロアでは、電源を OFF にしてください。〔公認審判員規程第5条第12項(5)(6)、第15項〕モバイル機器を使用時のマッチ中のアドバイス・コーチングは禁止されています。
- 20 ベンチ付近でのウォームアップはできません。ウォームアップ等についてはサブアリーナのウォーミングアップエリアを利用してください。ストレッチ程度であれば選手集合所横のスペースも利用できます。
- 21 プレーヤーの荷物等は、各自持参で入退場してください。
- 22 プレーヤー等のケガ等の場合、大会本部ではマッチ終了後に簡単な応急処置のみ行います。その後は各自・各チームの責任において対応してください。
- 23 観客及びTV（配信）視聴者がプレーヤーを区別しやすくするため、大会最終日（決勝戦・3位決定戦）においては、対戦相手と明らかに違う色のウェア着用にご協力ください。
- 24 その他、国民スポーツ大会バドミントン競技実施要項を遵守してください。

一 般 注 意 事 項

- (1) 上履きと下履きのエリアに注意し、必ず履き替えてください。
- (2) 盗難事故防止のため、各自で貴重品等の管理をお願いします。
- (3) ゴミは必ず各自で持ち帰ってください。

審判上の注意

- 1 審判員は、2025 年度公益財団法人日本バドミントン協会 競技規則・大会運営規程並びに公認審判員規程に則り、厳正に競技を運営・管理します。
- 2 審判は、主管者で行います。主審、サービスジャッジ、線審4名を配置します。〔大会運営規程別表2〕
- 3 競技規則の第9条(サービス)、第13条(フォルト)、第16条(プレーの継続、不品行な振舞い、罰則)については、厳正に判定します。

プレーヤーが汗を払い、散らしたりした場合〔公認審判員規程第5条第9項(1)⑥〕や、プレーヤーがインターバル終了までにコートに戻らない場合〔公認審判員規程第5条第10項(2)〕も、競技規則第16条第7項を適用し、イエローカード・レッドカードの処置を行います。
- 4 もし、出血がある場合は、出血が止まるまで、あるいは傷が適切に保護されるまで、そのゲームの再開を遅らせます。または、それ以外の場合にレフェリーが主審にゲームの再開を遅らせるよう指示することがあります。〔公認審判員規程第5条第14項(2)〕
- 5 競技規則 第9条 サービス 第1項(5)については、下記のとおり「スピンスーブ(通称)」の使用が禁止されました。

◎ サーバーは、スピン(回転)を加えずにシャトルを放し、ラケットで最初にシャトルの台を打つものとする。
- 6 シャトルがインプレーでない場合で、プレーヤーがサービスとレシーブのために位置につくまでの間に限り、プレーヤーはマッチ中、アドバイスを受けることができます。

〔競技規則第16条第5項(1)〕 監督・プレーヤーなどが、インプレー中に当該プレーヤーに対して、アドバイスをすることは認められません。
- 7 審判員の判定に対して疑問がある場合は、当該プレーヤーと監督に限り、主審に対して「質問」することが認められます。ただし、「抗議」あるいは「異議」であってはなりません。〔大会運営規程第36条〕

輸送について

1 輸送について

(1) 輸送方法

選手・監督の宿舎から競技会場及び練習会場への移動は、持込車両もしくは計画輸送（タクシー）での移動となります。

(2) 計画輸送対象

選手・監督を対象とします。

(3) 計画輸送区間

- ・「宿舎」・「競技会場（監督会議会場）」・「練習会場」が計画輸送の対象区間です。
- ・競技最終日【10月1日（水）】に離会される場合は「競技会場」から「JR瀬田駅」まで計画輸送をご利用いただけます。

(4) 留意事項

- ・来会意向調査時に、大会期間中の移動手段を「計画輸送を利用する」と回答いただいたチームには、大津市輸送センターよりタクシー配車予約のお電話を差し上げます。
- ・計画輸送は令和7年9月26日（金）～10月1日（水）のみ使用が可能です（練習日を含む。）。
- ・敗退された翌日は、計画輸送は利用できません。
- ・直接タクシー会社に連絡され乗車されたタクシー料金は自己負担となります。
- ・計画輸送は、競技終了後の買い物や食事等、プライベートな移動にはご利用になれません。実行委員会が不正と認めた場合は不正相当額を請求いたします。

2 駐車場について

(1) 競技会場

来会意向調査時に、大会期間中の移動手段を「自主移動をする」と回答いただいたチームには、「駐車許可証」を事前に配付しております。駐車許可証をお持ちのチームは指定駐車場をご利用ください。

(2) 練習会場

持込み車両のあるチームは指定の駐車場をご利用ください。

(3) 宿舎

宿舎の駐車場の有無については、各宿舎によって異なりますので、宿泊先が決まり次第、必要に応じて宿泊先へお尋ねください。

関係機関連絡先一覧

◆わたSHIGA輝く国スポ・障スポ大津市実行委員会事務局

名称	所在地	電話番号
大会総務課	大津市石場 10 番 53 号	077-528-2919


◆会場

名称	所在地	電話番号
滋賀ダイハツアリーナ	滋賀県大津市上田上中野町 779 番地	077-545-0108

◆警察・消防署等

名称	所在地	電話番号
大津警察署	大津市打出浜 12 番 7 号	077-522-1234
大津市消防局	大津市御陵町 3 番 1 号	077-522-0119
大津市消防局 東消防署	大津市大江四丁目 18 番 1 号	077-543-0119
大津市保健所	大津市浜大津四丁目 1 番 1 号 明日都浜大津 1 階	077-522-6756

◆医療

分類	名称	アクセス方法	二次元コード
近隣医療機関	医療情報ネット (ナビイ)	右記二次元コードまたは、 「医療情報ネット (ナビイ)」で検索	

◆タクシー事業者 (※)

名称	所在地	電話番号
大津第一交通株式会社	大津市柳が崎 5 番 8 号	0120-524-447 077-524-4000
滋賀ヤサカ自動車株式会社	大津市湖城が丘 6 番 11 号	077-522-6767
琵琶湖タクシー株式会社	大津市におの浜四丁目 6 番 28 号	077-522-6677
有限会社共立タクシー	大津市比叡辻二丁目 4 番 31 号	077-579-2278
有限会社湖西交通	大津市坂本七丁目 33 番 6 号	077-577-1760

※一般社団法人滋賀県タクシー協会会員事業者で、本社所在地が大津市内にある事業者

わたSHIGA輝く国スポ・障スポ実行委員会（滋賀県）へのお問合せ

コールセンター：0120-550-882

開設期間：9月1日（月）～10月31日（金）まで（9：00～18：00）

[illegible]



挑戦者たちは越えようとする。
記録を。ライバルを。自分自身を。
過去の常識も。世界の価値観さえも。
挑戦者たちこそあたらしい未来への原動力だ。
これまでも、そしてこれからも、
わたしたちは挑戦する人たちを応援します。
スポーツの持つ様々な可能性で、
望む未来へたどり着くために。



JSPO
Japan Sport Association

スポーツと、望む未来へ。

わたしたちは、JAPAN  GAMES を応援しています。



Otsuka 大塚製薬



三井住友海上

MS&AD INSURANCE GROUP

セレスポ

時事通信

NO! スポハラ

スポーツ・ハラスメント（暴力、暴言、ハラスメントなど）に、
みんなが『NO！』と言う社会を目指して

『スポハラ（スポーツ・ハラスメント）』とは？

「スポハラ（スポーツ・ハラスメント）」とは、スポーツの現場において、「暴力」、「暴言」、「ハラスメント」、「差別」など“安全・安心にスポーツを楽しむことを害する行為”のことです。

指導者と指導を受ける者との関係のみならず、スポーツの現場における関係者の誰によっても、また誰に対してであっても、スポハラは起こります。



Japanese
Olympic
Committee



『スポハラ』根絶に向けた取り組み



JSPPO

Japan Sport Association

NO! スポハラ

スポーツ・ハラスメント

(暴力・暴言・ハラスメントなど)に、

みんなが『NO!』と言う社会を目指して



ぼうりよくこういとうそうだんまどぐち スポーツにおける暴力行為等相談窓口

相談員



りょうかのう
どなたでもご利用可能!

きがる そうだん
お気軽にご相談ください

スポーツにおける暴力行為等根絶宣言・
スポーツ・インテグリティ確保に関する協力覚書»



JSPPO事業についてはこちら»»»JSPPO事業概要パンフレット「スポーツと、望む未来へ。」



『スポハラ』根絶に向けた取り組み



JSPPO

Japan Sport Association

グッドコーチとして適切に対応するための動画・ワークブックの公開

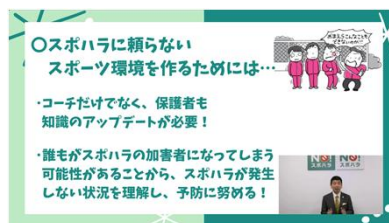


スポーツ現場におけるハラスメント防止動画・情報発信動画の公開

<スポーツ現場におけるハラスメント防止動画>



<「スポハラ」に関する情報発信動画>



ハラスメント防止・啓発セミナーの実施

<令和6（2024）年度の様子（計4会場で実施）>



「NO！スポハラ」活動に関する各種広報資料・動画の公開

<過去開催した研修会等の動画公開>



<ポスター・ロゴ等広報ツール>



アスリートの盗撮、 写真・動画の悪用、 悪質なSNS投稿は 卑劣な行為です。

スポーツは、子供から大人まで誰もが楽しめるものです。そのためにも安心してスポーツに取り組める環境を守っていく必要があります。盗撮はもちろん、アスリートの写真・動画を使用した性的目的のSNS投稿やWEB掲載は、アスリート、更には多くのファン、家族、関係者を傷つける絶対に許されない卑劣な行為です。すべてのアスリートが競技に集中し、スポーツを心から楽しめる環境を守るため、スポーツ界全体でこの問題に取り組みます。

- ▶ 大会における盗撮防止事例を共有し、各大会での防止策の取り組みを後押しします。
- ▶ 研修等を通じ、アスリート自身がネットやSNSで身を守る必要性を啓発していきます。
- ▶ SNS投稿やWEB掲載の実態把握に努め、関係機関に共有していきます。

この問題を解決するには皆様のご理解が欠かせません。

これからも安心してスポーツができる環境を守るために、ご理解ご協力をお願いいたします。

安全な環境を、すべてのスポーツ愛好者のために。 SAVE ATHLETES, SAVE SPORT.

大会会場で盗撮等が疑われる行為を見かけましたら大会主催者にお知らせください。

アスリートを傷つける性的目的のSNS投稿やWEB掲載を見かけましたら下記サイトよりご連絡ください。
今後の対応に活用するとともに、悪質な事例については当局への通報も検討します。

<https://www.joc.or.jp/about/savesport/>



- ▶ 盗撮は迷惑防止条例で犯罪として処罰される可能性があります。
- ▶ SNS等で本人の名誉を傷つける書き込みは犯罪(名誉毀損罪)として処罰される可能性があります。
- ▶ 匿名による投稿であっても、法的手続により、投稿者が特定され、損害賠償請求の対象になる可能性があります。

公益財団法人 日本オリンピック委員会 公益財団法人 日本スポーツ協会 公益財団法人 日本障がい者スポーツ協会 一般社団法人 大学スポーツ協会
公益財団法人 全国高等学校体育連盟 公益財団法人 日本中学校体育連盟 独立行政法人 日本スポーツ振興センター



勝利を超える価値がある

私たちは信じる。

正々堂々と競いあう潔さを。

相手をリスペクトすることで生まれる友情や感動を。

まっすぐ挑戦しつづける、そこに、

自分や、仲間や、社会さえ変える力があることを。

さあ、すべては、私たちの中にある

フェアネスの心からはじまる。

スポーツのフェアネスが、社会のフェアネスを支えるために。



公益財団法人 日本アンチ・ドーピング機構



Thank you !



協賛企業・団体のご紹介

 日本熱源システム株式会社

 大津市水道瓦斯工事店協同組合

 金鐘商標
げんさん®
GENSAN BEEF

 BAMBA SPORTS

 びわ湖ブルーエナジー

 JALレーク滋賀

 日伸工業

 日立システムズ

 FUJITSU

 Cloudnine
人が人を救う社会を創造する

 瀬田商工会

Pure Natural Mineral Water
いずみの甘水

 京浜北条利栄
麦菊子 志鶴

 TAKENOUCHI GROUP

 Biwako Kisen

 月の輪自動車教習所

 KOUEI HOME
株式会社 高栄ホーム

 Otsuka

 MMSQUARE
MyMall®

 ZTV
株式会社 ZTV

松田クリーンパック

株式会社大谷設備工業

株式会社竹仁興産

有限会社関西総合商社

私たちは、わたSHIGA輝く国スポ大津市開催競技を応援しています。

OTSU CITY

湖国の感動 未来へつなぐ

わたSHIGA輝く国スポ・障スポ
第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会 2025



国スポ会場で

1日たっぷり楽しもう！

国スポは、競技観戦だけじゃない！

大津市の国スポ会場には、“来場して楽しめる”コンテンツをたくさん用意しています。

子どもと一緒に楽しむ！



「OTSU DREAM IT CONTENTS」

大津市で開催するすべての競技会場で、子どもたちの思い出に残る企画を実施！！

「競技紹介」

はじめてでもわかる！！競技の見どころ解説

https://otsu-kokuspo2025.jp/kids_page

きんまいブース（PRブース）

ガイドブックやクーポンを配布！

さらにアンケートに答えると、豪華な
賞品が当たるかも！？

？

滋賀県内最多 12競技を巡るデジタル
スタンプラリーも！

手づくり のぼり旗

全国から参加する選手のために、
市内の子どもたちが心を込めて製作。
メッセージやイラストは必見！



ふるまいコーナー

大津の銘菓などが無料でもらえる！

ふるまい品のラインナップは要チェック！

※時間・数量限定

“滋賀らしい取組み”

「給水スポット」

水分補給で、暑さをしのごう！

※マイボトル持参にご協力ください

ほかにも、見どころがたくさん！

- ・売店やキッチンカー
- ・花いっぱい運動 などなど…

※会場ごとで、設置の有無が異なります

まちの歓迎装飾

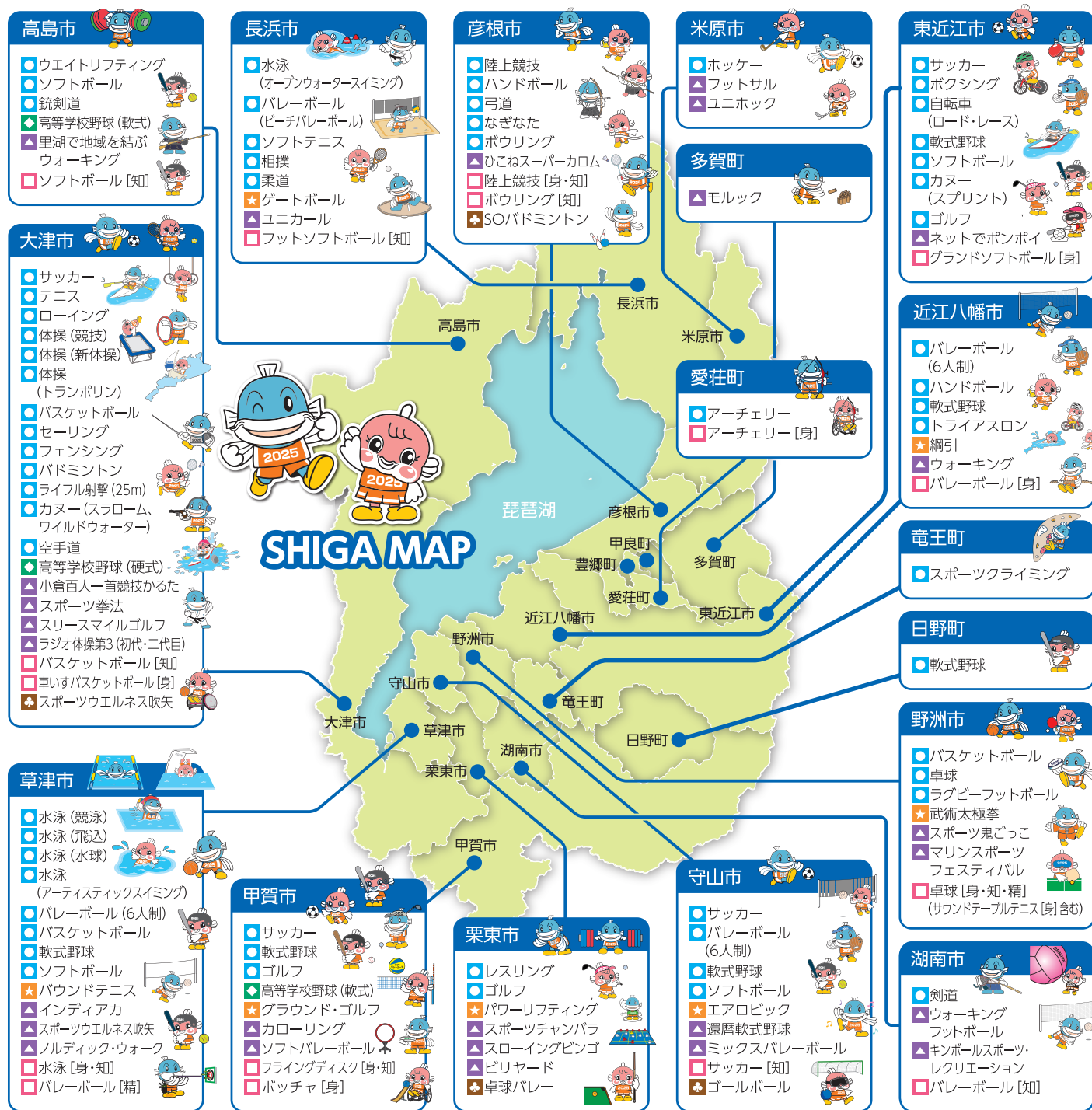
市内を走る京阪電車や駅などを彩り、
大津を訪れる人たちを歓迎！
いくつ見つけられる？



大津市観光キャラクター
おつ光ルくん

わたSHIGA輝く国スポ・障スポ 競技会場地マップ

2025年2月現在



国民スポーツ大会

- 正式競技(37競技) ◆特別競技(1競技) ★公開競技(7競技)
- ▲デモンストラティオンスポーツ(26競技)

全国障害者スポーツ大会

- 正式競技(14競技) ★オープン競技(4競技)

[身] = 身体障害者 [知] = 知的障害者 [精] = 精神障害者

※国スポ競技会の詳細については各競技会場市町にお問合せください。

※所在地と運営準備市町が異なる場合があります。

県外開催競技

京都府
向日市

- 自転車(トラック・レース)

大阪府
豊能郡能勢町

- ライフル射撃(50m、10m、BR・BP)

兵庫県
三木市

- 馬術

びわこ国体・びわこ大会から44年ぶりの開催!

- 国スポ実施期間 令和7年 9月28日(日)~10月8日(水) [11日間開催]
- 国スポ会期前実施競技 令和7年9月6日(土)~9月15日(月)、令和7年9月21日(日)~9月25日(木)
- 障スポ実施期間 令和7年10月25日(土)~10月27日(月) [3日間開催]

大会公式SNS・HPはコチラから!

滋賀2025

検索

2024年から国民体育大会(国体)は、国民スポーツ大会(国スポ)に名称変更されました。

大会PR 動画を公開!

さらなる高みを目指して、日々努力するアスリートの姿を臨場感あふれる競技音と合わせてご覧ください。



Instagram



X



大会HP



ミックス
証 | 責任ある森林
管理を営んでいます
FSC® C017322



●用紙: 責任ある木質資源や再生資源を使用したFSC® 認証用紙
●インキ: 植物油インキを使用

湖国の感動 未来へつなぐ
第79回国民スポーツ大会
わたSHIGA輝く国スポ
2025

来年は、第80回国民スポーツ大会が開催されるっくす！
オラもみんなのこと、青森県黒石市で待っているよ！くすくす



あずましの里くろいし観光大使
「ふるさと☆戦隊 KUROI SIX つゆヤキソパン」



大津市観光キャラクター
「おおつ光ルくん」

競技記録結果

開設期間

2025年9月1日（月）～12月26日（金）

▼PC・スマホ



<https://kirokukensaku.net/5NS25/index.html>

▼フィーチャーフォン（ガラケー）

← <http://kirokukensaku.net/5NS25/mob/index.html>



国スポチャンネル

国スポ競技の動画配信を行っています。

※競技によって配信スケジュールが異なります。

ホームページ：<https://japangamestv.japan-sports.or.jp/>



わたSHIGA輝く国スポ・障スポ大津市実行委員会SNSはこちらをチェック！

大津市実行委員会HP：<http://otsu-kokuspo2025.jp/>

X



Instagram



Facebook



わたSHIGA輝く国スポ・障スポ大津市実行委員会事務局

滋賀県大津市石場 10 番 53 号 TEL：077-528-2919（大会総務課）